

自動車運送事業用 自動車事故統計年報

平成 18 年 12 月



国土交通省自動車交通局

目 次

まえがき	1
自動車事故報告規則	2
第1編 自動車事故の概要	11
第1部 交通事故の現状	13
1. 交通事故発生状況	13
(1) 概 要	13
(2) 車種別事故発生状況	15
第2部 事業用自動車の重大事故	16
1. 概 要	16
(1) 重大事故発生状況の推移	17
(2) 事業用自動車台数及び走行キロ当たりの重大事故	18
(ア) 事業用自動車 1,000 台当たり重大事故件数等の推移	18
(イ) 事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数等の推移	19
2. 業態別の重大事故発生状況	20
(1) 事業種別別重大事故件数	20
(2) 業態別重大事故件数の推移	21
(3) 業態別事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数の推移	22
(4) 業態別死傷者内訳	23
(ア) 業態別重大事故 100 件当たり死者数及び重傷者数	24
(イ) 業態別重大事故 100 件当たり死者数の推移	24
3. 事故種別別の重大事故発生状況	25
4. 事故原因	26
(1) 事故原因の大別	26
(2) 運転者の健康状態	27
(3) 車両故障に起因する重大事故	29
(4) 事故種別別重大事故発生状況	32
(ア) 転覆、転落事故	32
(イ) 火災事故	33
(ウ) 踏切事故	34

(工) 衝突事故	35
(才) 車内事故	36
(力) 死傷事故	36
5. 高速道路等における重大事故発生状況	38
(1) 事業種別別重大事故件数	38
(2) 業態別重大事故件数	39
(3) 事故種別別重大事故発生状況	40
(4) 業態別死傷状況	42
(5) 乗務員に起因する重大事故発生状況	44
(ア) 業態別発生状況	44
(イ) 事業の種類別発生状況	45
(ウ) 事故種別別発生状況	48
6. 危険物等積載車両の重大事故	50
(1) 危険物等積載車両の重大事故発生状況の推移	50
(2) 積載物品別重大事故	51
(3) 事故種別別重大事故	51
7. 平成 17 年中の事業用自動車の主な重大事故、事件例	52
(1) 旅客	52
(2) 貨物	54
第 2 編 事業用自動車の重大事故統計	57
第 1 部 事業用自動車の重大事故	60
1. 事故種別別、業態別重大事故発生状況の推移	60
2. 重大事故の原因大別構成の推移	62
3. 業態別重大事故発生状況等の推移	62
4. 業態別原因別重大事故発生状況	64
5. 事故種別別、事業種別別、重大事故発生状況	66
6. 事故種別別、事業種別別、重大事故発生状況（乗務員に起因するもの）	68
7. 事故種類の細目別、業態別重大事故件数	70

第2部	高速道路等における重大事故	72
1.	高速自動車道国道における事故種別、事業種別、重大事故発生状況	72
2.	高速自動車道国道における事故種別、事業種別、重大事故発生状況 (乗務員に起因するもの)	74
3.	自動車専用道路等における事故種別、事業種別、重大事故発生状況	76
4.	自動車専用道路等における事故種別、事業種別、重大事故発生状況 (乗務員に起因するもの)	78
第3部	危険物等積載車両の重大事故	80
	積載危険物等別、事故原因別、事故種別、重大事故発生状況	80
第4部	重大事故に係る諸統計	84
1.	車両故障の係る事故件数等	84
(1)	車両故障箇所	84
(2)	損害状況	84
2.	重大事故の発生件数の推移	86
3.	重大事故の原因大別構成の推移	88
第3編	その他統計資料等	91
第1部	自動車等の交通事故	93
1.	交通事故及び自動車事故の推移	93
2.	第1当事者別交通事故件数	94
3.	第1当事者別死亡事故件数	95
第2部	業態別飲酒運転による事故件数	96
1.	バス運転者の飲酒運転による事故件数	96
2.	ハイタク運転者の飲酒運転による事故件数	97
3.	トラック運転者の飲酒運転による事故件数	98
4.	全業態運転者の飲酒運転による事故件数	99
第3部	運行管理者	100
1.	運行管理者数及び運行管理者の研修受講者数	100

ま え が き

平成 17 年に発生した全国の交通事故による死者数は 6,871 人となり、約半世紀ぶりに 6 千人台に減少しました。これは、長年にわたり各分野において、交通事故防止のための積極的な取り組みを図ってきた成果であると考えられます。

しかしながら、全国の交通事故発生件数及び負傷者数は、依然、高止まりの傾向にあり、減少のための更なる措置を講じなければなりません。

また、事業用自動車に限定しても、事故件数は、高止まりの傾向にあり、厳しい状況が続いています。輸送の安全の確保を使命とする自動車運送事業においては、事故件数並びに死傷者数の減少が早急の課題となっています。

本書は、平成 17 年に発生した事業用自動車による重大事故であって、自動車事故報告規則に基づく報告があったものについてとりまとめたものです。重大事故の防止には、発生した事故の状況を正しく把握するとともに、その事故の背景にある要因を的確に分析することが必要であり、自動車運送事業者は、その結果を踏まえた適切な措置を講じ、同種の事故を防止しなければなりません。

本書もその意味において、今後の事故防止対策に積極的に活用され、自動車運送事業における輸送の安全の確保が図られるよう切望するものです。

平成 18 年 12 月

自動車事故報告規則
(昭和26年運輸省令第104号)

(この省令の適用)

第1条 自動車の事故に関する報告については、この省令の定めるところによる。

(定義)

第2条 この省令で「事故」とは、次の各号のいずれかに該当する自動車の事故をいう。

- (1) 自動車が転覆し、転落し、火災(積載物品の火災を含む。)を起こし、又は踏切において鉄道車両と衝突し、若しくは接触したものの
- (2) 死者又は重傷者(自動車損害賠償保障法施行令(昭和30年政令第286号)第5条第2号又は第3号に掲げる傷害を受けた者をいう。)を生じたものの
- (3) 自動車の積載された次に掲げるものの全部若しくは一部が飛散し、又は漏えいしたものの
 - イ 消防法(昭和23年法律第186号)第2条第7項に規定する危険物
 - ロ 火薬類取締法(昭和25年法律第149号)第2条第1項に規定する火薬類
 - ハ 高压ガス保安法(昭和26年法律第204号)第2条に規定する高压ガス
 - ニ 原子力基本法(昭和30年法律第186号)第3条第2項に規定する核燃料物質及びそれによって汚染された物
 - ホ 放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律(昭和32年法律第167号)第2条第2項に規定する放射線同位元素及びそれによって汚染された物
 - ヘ シアン化ナトリウム又は毒物及び劇物取締法施行令(昭和30年政令第261号)別表第2に掲げる毒物又は劇物
 - ト 道路運送車両の保安基準(昭和26年運輸省令第67号)第47条第1項第3号に規定する品名の可燃物
- (4) 操縦装置又は乗降口の扉を開閉する操作装置の不適切な操作により、旅客に自動車損害賠償保障法施行令第5条第4号に掲げる傷害が生じたものの
- (5) 運転者の疾病により、事業用自動車の運転を継続することができなくなったものの
- (6) 自動車の装置(道路運送車両法(昭和26年法律第185号)第41条各号に掲げる装置をいう。)の故障により、自動車が運行できなくなったものの
- (7) 前各号に掲げるもののほか、自動車事故の発生を防止を図るために国土交通大臣が特に必要と認めて報告を指示したものの

(報告書の提出)

第3条 旅客自動車運送事業者、貨物自動車運送事業者(貨物軽自動車運送事業者を除く。以下同じ。)、特定第二種貨物利用運送事業者及び自家用有償旅客運送者並びに道路運送車両法第50条に規定する整備管理者を選任しなければならない自家用自動車の使用者は、その使用する自動車(自家用自動車(自家用有償旅客運送の用に供するものを除く。))にあつては、軽自動車、小型特殊自動車及び二輪の小型自動車を除く。)について前条各号の事故があつた場合には、30日以内に、当該事故ごとに自動車事故報告書(別記様式による。以下「報告書」という。)3通を当該自動車の使用の本拠の

該事故ごとに自動車事故報告書（別記様式による。以下「報告書」という。）3通を当該自動車の使用の本拠の位置を管轄する運輸監理部長又は運輸支局長（以下「運輸監理部長又は運輸支局長」という。）を經由して、国土交通大臣に提出しなければならない。

2 前条第6号に掲げる事故の場合には、報告書に次に掲げる事項を記載した書面及び故障の状況を示す略図又は写真を添付しなければならない。

(1) 当該自動車の自動車検査証の有効期間

(2) 当該自動車の使用開始後の総走行距離

(3) 最近における当該自動車についての大規模な改造の内容、施行期日及び施行工場名

(4) 故障した部品及び当該部品の故障した部位の名称（前後左右の別がある場合は、前進方向に向かつて前後左右の別を明記すること。）

(5) 当該部品を取りつけてから事故発生までの当該自動車の走行距離

(6) 当該部品を含む装置の整備及び改造の状況

(7) 当該部品の製作者（製作者不明の場合は販売者）の氏名又は名称及び住所

3 運輸監理部長又は運輸支局長は、報告書を受け付けたときは、遅滞なく、地方運輸局長を經由して、国土交通大臣に進達しなければならない。

（速報）

第4条 旅客自動車運送事業者、貨物自動車運送事業者、特定第二種貨物利用運送事業者及び自家用有償旅客運送者並びに前条の自家用自動車の使用者は、その使用する自動車（自家用自動車（自家用有償旅客運送の用に供するものを除く。）にあつては、軽自動車、小型特殊自動車及び二輪の小型自動車を除く。）につき、第2条第1号に該当する事故であり、かつ、同条第2号に該当する事故若しくは同条第3号に該当する事故があつたとき又は国土交通大臣の指示があつたときは、第3条第1項の規定によるほか、電話、電報その他適当な方法により、24時間以内に、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

2 前条第3項の規定は、前項の規定により運輸監理部長又は運輸支局長が速報を受けた場合について準用する。

（事故警報）

第5条 国土交通大臣又は地方運輸局長は、報告書又は速報に基づき必要があると認めるときは、事故防止対策を定め、自動車使用者、自動車分解整備事業者その他の関係者にこれを周知させなければならない。

自動車損害賠償保障法施行令
(昭和30年政令第286号)

(保険会社の仮渡金の金額)

第5条 法第17条第1項の仮渡金の金額は、死亡した者又は傷害を受けた者1人につき、次のとおりとする。

(1) 死亡した者 290万円

(2) 次の傷害を受けた者 40万円

イ 脊柱の骨折で脊髄を損傷したと認められる症状を有するもの

ロ 上腕又は前腕の骨折で合併症を有するもの

ハ 大腿又は下腿の骨折

ニ 内臓の破裂で腹膜炎を併発したもの

ホ 14日以上病院に入院することを要する傷害で、医師の治療を要する期間が30日以上のも

(3) 次の傷害(前号イからホまでに掲げる傷害を除く。)を受けた者 20万円

イ 脊柱の骨折

ロ 上腕又は前腕の骨折

ハ 内臓の破裂

ニ 病院に入院することを要する傷害で、医師の治療を要する期間が30日以上のもの

ホ 14日以上病院に入院することを要する傷害

(4) 11日以上医師の治療を要する傷害(第2号イからホまでおよび前号イからホまでに掲げる傷害を除く。)を受けた者 5万円

自動車事故報告書等の取扱要領

(平成元年3月29日付け、地車第44号、地備第53号)

1 自動車事故報告規則(昭和26年運輸省令第104号。以下「規則」という。)第2条第6号に規定する「自動車の装置の故障により、自動車が運行できなくなったもの」とは次に掲げるものをいう。

イ. 装置の不具合により自動車の運行を中止したものであって、運行を再開することができなかったもの

ロ. 装置の不具合により自動車の運行を中止したものであって、乗務員以外の者の修理等により運行を再開したもの

2 次の各号に掲げるものは、規則第2条第7号の「国土交通大臣が特に必要と認めて報告を指示したもの」の例とする。

イ. 20人以上の軽傷者を生じたもの

ロ. 鉄道の橋脚、架線等を損傷し、鉄道の運行を3時間以上停止させたもの

ハ. 高速自動車国道又は指定自動車専用道路等を3時間以上通行止めにしたもの

ニ．10台以上の多重衝突を生じたもの

ホ．飲酒、酒気帯び、無免許、無資格、覚せい剤等薬物の乱用、居眠り等悪質な法令違反により事故を生じたもの

ヘ．車輪の脱落、トレーラの離脱等、他の交通に対して危害を及ぼすおそれがある故障を生じたもの（1に該当するものを除く。）

自動車事故報告書の記入等の取扱いについて

（平成元年3月29日付け、地車第45号、地備第58号）

第1 報告書の記入

報告書の記入は、次に掲げる取扱いによること。

1 事故の種類

（1）区分欄

（ア）2種類以上の事故を併発した場合は、最も大きな被害を発生した事故を当該事故の種類とすること。

（イ）自動車又は原動機付自転車と衝突又は接触して当該車両に乗っている者を死傷させた場合は「衝突」とし、自転車に乗っている者を死傷させた場合は「死傷」とすること。

（ウ）走行中の車両への飛び乗り又は飛び降り等によって死傷した場合は「死傷」とすること。ただし、乗務員の不注意（扉の開口走行等）によって乗客等が当該車両より転落して死傷した場合は、「車内」とすること。

（エ）家屋その他の物件と衝突して付近にいた人を死傷させた場合は「衝突」とすること。

（2）衝突等の状態欄

（ア）自動車が相手方と対面して接近し、衝突又は接触した場合は「正面衝突」とすること。

（イ）自動車が相手方と対面方向又は同方向以外の方向に進行（一方が停止している場合を含む。以下同じ。）して衝突又は接触した場合は「側面衝突」とすること。

（ウ）自動車が相手方と同方向に進行していて衝突又は接触した場合で次の「接触」以外の場合は「追突」とすること。

（エ）自動車が相手方と並進中又は後続車が先行者を追い抜き、もしくは並進しようとして接触した場合は「接触」とすること。

（オ）自動車が家屋、その他の物と衝突した場合は「物件衝突」とすること。

2 当該自動車の概要

（1）「車名」、「型式」、「車体の形状」及び「初度登録年又は初度検査年」は、けん引車が被けん引車を連結した状態で事故を引き起こした場合には、それぞれの車両について記載すること。

（2）「貸渡」は、道路運送法施行規則（昭和26年運輸省令第75号）第52条の規定により受けた許可に係る自家用自動車とすること。

（3）「積載危険物等の品名」は、規則別様式（注）（10）各号のそれぞれの法令に定められた名称とすること。

3 道路等の状況

「警戒標識」は、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令（昭和35年総理府・建設省令第3号）第1条第2号に定めるものとし、同標識が設置されており、当該警戒標識によって運転上注意の必要があると認められる箇所において当該事故が発生した場合に「有」とし、それ以外の場合は「無」とすること。

4 損害の程度

「損害の程度」は、当該事故があったときの医師の診断結果に基づき記入することを原則とするが、死亡については、当該事故の発生後24時間以内に死亡したものとすること。

5 当時の状況

(1) 当該自動車の事故時の走行等の態様欄

(ア)「追越」は、自動車が進路を変え前車の側方を通過してその前方にでるまでとすること。

(イ)「左(右)折」は、直進の状態からハンドルを左(右)に切り、さらに直進の状態に戻るまでとすること。

(ウ)「その他」は、蛇行、割り込み等とすること。

(2) 事故発生地点欄

(ア) 事故発生地点の区分は、当該事故が発生したときに、当該自動車の大部分が位置していた場所によるものとすること。

(イ) 交差点、バス停留所、トンネル等において、当該事故が発生した場合は、車道、路側帯等と重複することがあるが、その場合には、上記(ア)に係わず該当する両方を で囲むこと。

(ウ)「歩道」は、歩行者の通行の用に供するため縁石線又は柵その他これに類する工作物によって区画された道路の部分とすること。

(エ)「路側帯」は、歩行者の通行の用に供し、又は車道の効用を保つため、歩道の設けられていない道路又は道路の歩道の設けられていない側の路端寄りに設けられた道路標識によって区画された帯状の道路の部分とすること。

(オ)「路肩」は、道路の主要部分を保護するため車道、歩道等に接続して設けられた部分であって「路側帯」以外のものとすること。

(カ)「交差点」は、2以上の道路(歩道を除く。)の交わる部分(車両停止線のある場合にあっては、車両停止線を対向車線に延長した線によって囲まれた道路の部分)とすること。

(キ)「バス停留所」は、乗合バス停留所の前後20mの道路の部分とすること。

6 乗務員

(1)「経験年数」は、当該自動車を運転することができる資格を得たときからの運転経験の期間とすること。

(2)「本務・臨時の別」は、自動車運送事業者から当該運送事業の用に供する自動車の運転者として選任されている者を「本務」とし、それ以外の者は「臨時」とすること。

(3)「乗務開始から事故発生までの乗務時間及び乗務距離」は、当日の最初の乗務から事故発

生までの乗務時間及び乗務キロ数のそれぞれの総和とすること。ただし、乗務が2日以上にわたって継続して行われた場合は、当該乗務の開始から事故発生までの乗務時間及び乗務キロ数とすること。この場合において、乗務員がその途中で8時間以上事業用自動車を離れた場合は、そこで乗務が終了したものとする。

(4)「交替運転者の配置」は、運転を交替するための者が当該自動車に同乗しているか否にかかわらず、当該運行計画において、運転を交替する者が配置されている場合は「有」とし、それ以外は「無」とすること。なお、交替運転者が運転を交替した後に事故を惹起した場合にあっては、当該交替運転者が運転を交替してから事故発生までの乗務キロ数を記載すること。

(5)「過去3年間の事故の状況」及び「過去3年間の道路交通法の違反の状況」は、事業用自動車の乗務時のものを記載すること。

7 再発防止対策

事故の原因が明らかになってから講ずることとしている場合には、「原因究明結果待ち」を記入するとともに、緊急的に講じた対策についても記入すること。

別記様式（第3条関係）

（表）

自動車事故報告書			
国土交通大臣		殿	
自動車の使用者の氏名又は名称 住所			
年 月 日 提出			
発生日時	年 月 日 時 分	路線名 又は 道路名	道 線
天 候	1 晴れ 2 曇 3 雨 4 雪 5 霧 6 その他		
発生場所	都道 区市 区町 番地 府県 郡 村		
当該自動車の使用の本拠の名称及び位置		自動車登録番号 又は車両番号	
当時の状況			
現場の略図（道路上の事故の場合には車線の区分を明らかにして図示すること。）			
当時の処置			
事故の原因			
再発防止策			
備考			

（日本工業規格 A 列4番）

(注)

- (1) 印欄は、具体的に記入すること。ただし、不明の場合は該当欄に「不明」と記入し、記入の要のない場合は該当欄に斜線を引くこと。
なお、欄内に記入し得ないときは、別紙に記入し、これを添付すること。
- (2) 印欄は、記入しないこと。
- (3) 印欄及び 印欄以外の欄は、該当する事項を で囲むこと。
- (4) 印欄は、事故が第2条第6号のみに該当する場合には、記入を要しない。
- (5) 時刻の記入は、24時間制によること。
- (6) 「区分」の記入は、次の区分によること。
 - 1 転覆 当該自動車が道路上において路面と35度以上傾斜したとき。
 - 2 転落 当該自動車が道路外に転落した場合で、その落差が0.5メートル以上のとき。
 - 3 路外逸脱 当該自動車の車輪が道路(車道と歩道の区分がある場合は、車道)外に逸脱した場合で、「転落」以外のとき。
 - 4 火災 当該自動車又は積載物品に火災が生じたとき。
 - 5 踏切 当該自動車が踏切において、鉄道車両と衝突し、又は接触したとき。
 - 6 衝突 当該自動車が鉄道車両、トロリーバス、自動車、原動機付自転車、荷牛馬車、家屋その他の物件に衝突し、又は接触したとき。
 - 7 死傷 死傷者を生じたとき(9に該当する場合を除く。)
 - 8 危険物等 第2条第3号に該当する事故
 - 9 車内 操縦装置又は乗降口の扉を開閉する装置の不適切な操作により、旅客(乗降する際の旅客を含む。)を死傷させたとき。
 - 10 健康起因 第2条第5号に該当する事故
 - 11 車両故障 第2条第6号に該当する事故
 - 12 その他 1から11までに該当しないとき。
- (7) 2種類以上の事故が生じたときには、「発生順」の欄に発生順に番号を記入すること。
- (8) 「転落の状態」の欄の「落差」は、路面から落下地点までの垂直距離とする。
ただし、水中に転落した場合で水深を記入する必要がある場合には、路面から水面までの垂直距離とする。
- (9) 「車体の形状」の欄は、道路運送車両法第58条の自動車検査証に記載されている車体の形状を記入すること。
- (10) 「積載危険物等」とは、次に掲げるものであって事故当時に当該自動車に積載していたものをいう。
 - 1 危険物 消防法第2条第7項に規定する危険物
 - 2 火薬類 火薬類取締法第2条第1項に規定する火薬類
 - 3 高圧ガス 高圧ガス保安法第2条に規定する高圧ガス
 - 4 核 原子力基本法第3条第2号に規定する核燃料物質及びそれによって汚染された物
 - 5 R I 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律第2条第2項に規定する放射性同位元素及びそれによって汚染された物
 - 6 毒劇物 シアン化ナトリウム又は毒物及び劇物取締法施行令別表第二に掲げる毒物又は劇物
 - 7 可燃物 道路運送車両の保安基準第1条第1項第11号に規定する可燃物
- (11) 「許可等の必要性」及び「許可等の取得状況」の欄は、当該自動車の運行について次の許可等の必要性の有無及びその取得状況に該当するものを で囲むこと。
 - 1 制限外許可 道路交通法(昭和35年法律第105号)第57条の規定による許可
 - 2 特殊車両通行許可 道路法(昭和27年法律第180号)第47条の2の規定による許可
 - 3 保安基準の緩和 道路運送車両の保安基準第55条の規定による基準の緩和であって、道路運送車両の保安基準第2条第1項、第4条及び第4条の2に係るもの
- (12) 「イエローカード」とは、当該積載危険物等の取扱方法を記載した書類をいう。
- (13) 「種類」の欄の「口 自動車専用道路等」は、道路法第48条の2第1項又は第2項の規定による指定を受けた道路及び道路運送法による自動車道とし、「2 その他の場所」は、構内、営業所等一般交通の用に供しない場所とする。
- (14) 「道路の幅員」は、路肩部分を含む道路(車道と歩道の区別がある場合は、車道)の総幅員とする。
- (15) 「道路の形態」の欄の「交差」は、当該自動車前方30メートル以内に交差点があった場合とする。
- (16) 「運行管理者」は、事故について最も責任のあると考えられる運行管理者のことである。
- (17) 「統括運行管理者」とは、旅客自動車運送事業運輸規則第48条の2第1項又は貨物自動車運送事業輸送安全規則第21条第1項に規定する業務を統括する運行管理者をいう。
- (18) 「過去3年間の事故の状況」の欄は、当該運転者が引き起こした道路交通法第72条第1項の交通事故に関して記入する。
- (19) 「過去3年間の適性診断の受診状況」の欄は、当該運転者の過去3年間の運転適性診断の受診の有無について、該当する事項を で囲むこと。また、「適性診断受診場所」は、「最近の受診年月日」に受診した受診場所(又は受診機関)を具体的に記入すること。
- (20) 「最近の健康診断の受診年月日」の欄は、第2条第5号に該当する事故を引き起こした当該運転者が受診した労働安全衛生法第66条に規定する健康診断の最近の受診年月日を記入すること。
- (21) 「運行計画」には、運行管理者が与えた指示を含むものとする。
- (22) 「下請運送」とは、貨物自動車運送事業者からの運送の依頼により行う貨物運送をいう。

第 1 編 自動車事故の概要

第1部 交通事故の現状

第2部 事業用自動車の重大事故

第1部 交通事故の現状

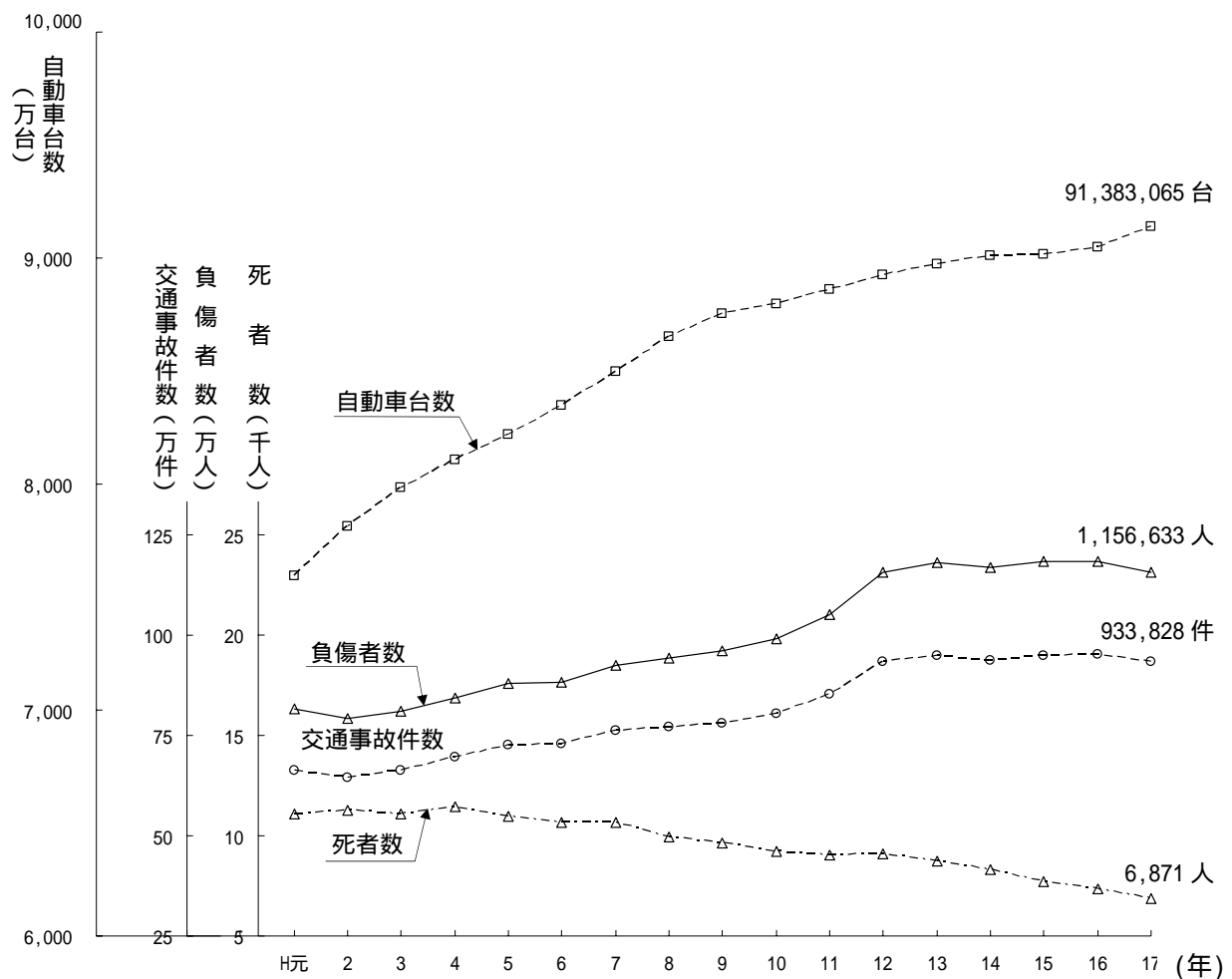
1. 交通事故発生状況

(1) 概要

平成17年中に全国の道路上で発生した交通事故は933,828件で、前年に比べ18,363件(-1.9%)減少している。また、交通事故による死者数は、487人(-6.6%)減少し6,871人、負傷者数は、26,487人(-2.2%)減少し、1,156,633人となっている。

一方、自動車台数は図1に示すとおり増加を続け、平成17年12月末には91,383,065台に達し、前年同期に比べ926,971台(+1.02%)増加している。

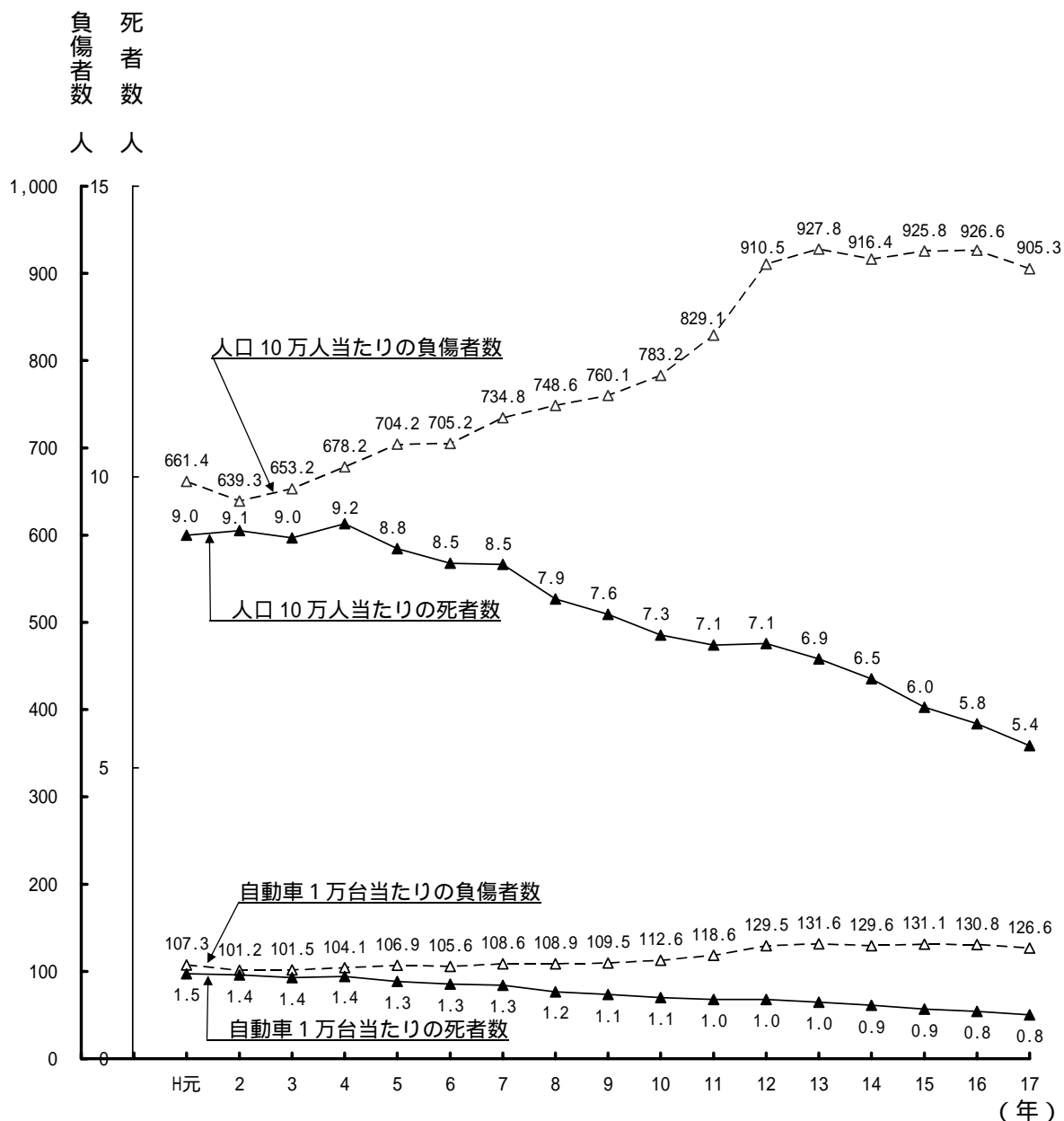
〔図1〕 交通事故発生状況等



- (注) 1. 交通事故件数及び死傷者は警察庁資料による。ただし人身事故のみである。
 2. 自動車台数は、各年12月末の自動車(第1種原動機付自転車、第2種原動機付自転車及び小型特殊自動車にあっては各年4月1日)の数値である。

また、交通事故による死傷率をみると図2に示すとおり、人口10万人当たりの死者数は5.4人と減少しており、負傷者数は905.3人で前年に比べて21.3人(-2.3%)減少している。また、自動車1万台当たりの死者数は横ばいで、負傷者数は前年に比べて4.2人(-3.2%)減少している。

〔図2〕 交通事故による死傷率の推移



(注) 1. 警察庁資料による。

2. 自動車台数は、各年12月末の自動車(第1種原動機付自転車、第2種原動機付自転車及び小型特殊自動車にあっては各年4月1日)の数値である。

(2) 車種別事故発生状況

平成 17 年中に発生した交通事故件数を車種別にみると表 1 に示すとおりであり、普通・小型乗用、普通・小型貨物、軽乗用及び軽貨物で大部分を占めているが、自動車台数 1,000 台当たりの事故発生率ではバスが一番高く、普通・小型貨物、普通・小型乗用の順で続いている。また、これらの傾向はここ数年同様である。

〔表 1〕 車種別事故発生状況

	事故発生状況		自動車台数 (17年12月末)	自動車台数 1,000台当たりの 事故発生件数
	事故件数	構成比(%)		
普通・小型貨物	105,428 (31,988)	11.9% (46.8%)	7,217,457 (1,124,539)	14.6 (28.4)
普通・小型乗用	495,344 (27,794)	56.1% (40.6%)	42,889,678 (272,523)	11.5 (102.0)
バ　　ス	4,680 (3,833)	0.5% (5.6%)	231,733 (105,662)	20.2 (36.3)
軽　　貨　物	73,084 (4,794)	8.3% (7.0%)	9,666,330 (-)	7.6 (-)
軽　　乗　用	145,332 (-)	16.4% (-)	14,201,714 (-)	10.2 (-)
小型・軽二輪	13,646 (-)	1.5% (-)	3,369,846 (-)	4.0 (-)
特　　殊	736 (-)	0.1% (-)	2,581,403 (-)	0.3 (-)
原　　付 (含むミニカー)	45,261 (-)	5.1% (-)	9,920,345 (-)	4.6 (-)
計	883,511 (68,409)	100.0% (100.0%)	90,078,506 (1,502,724)	9.8 (45.5)

(注) 1. 警察庁資料による。

2. () 内の数値は事業用自動車の数値(内数)である。

3. 自動車台数は、特種用途車の台数(1,304,559)を除いた数値であり、特種及び原付については、平成 17 年 4 月 1 日現在の数値である。

第2部 事業用自動車の重大事故

1. 概要

平成17年中に自動車事故報告規則（昭和26年運輸省令第104号）に基づき報告があった事業用自動車の重大事故の件数及び死傷状況等は、表1-1に示すとおりであり、事故件数は、5,689件で、これらによる人身被害は死者数1,282人、負傷者4,482人で、前年と比較して死者数が33人増加、負傷者は469人増加している。

また、事故件数5,689件のうち、乗務員に起因するものは2,310件であり、前年と比較して171件増加している。

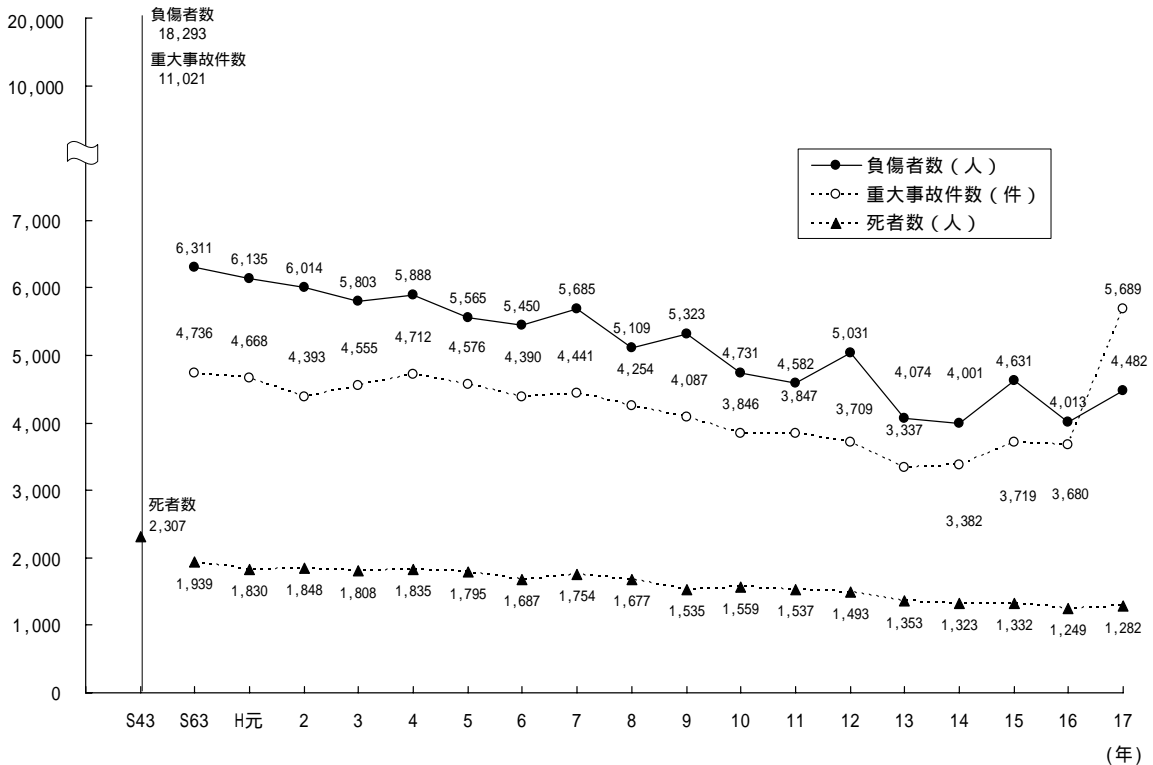
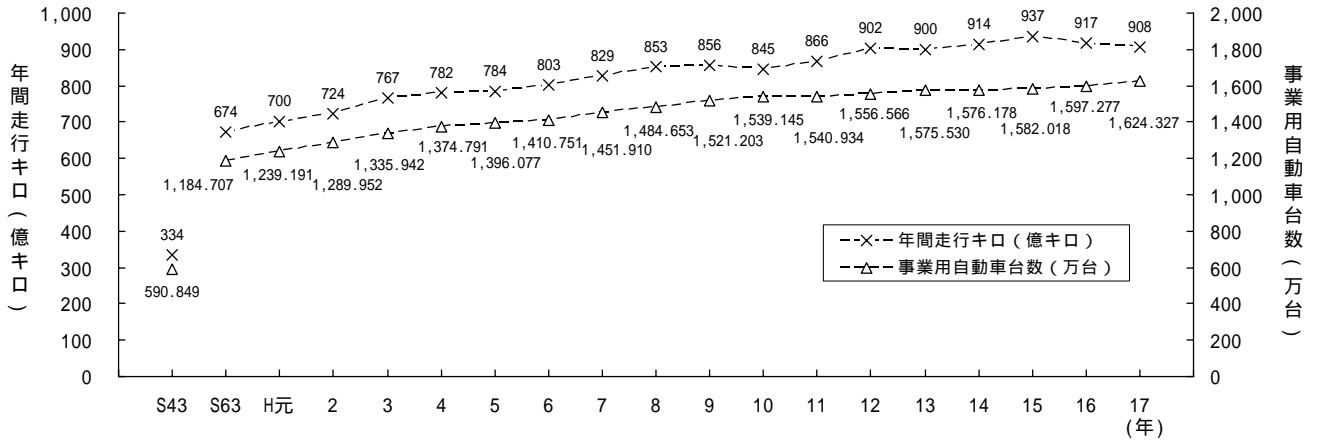
〔表1-1〕 17年中の重大事故発生状況

項 目		内 訳	全 報 告 件 数	対前年増減
件		数 (件)	5,689	+ 2,009
死傷状況等	死 者 数 (人)		1,282	+ 33
	重 傷 者 数 (人)		2,196	+ 143
	軽 傷 者 数 (人)		2,286	+ 326
乗務員に起因する事故件数 (件)			2,310	+ 171

(1) 重大事故発生状況の推移

事業用自動車の重大事故発生状況の推移は、図 1 - 1 に示すとおりであり、前年と比較して重大事故件数、死者数及び負傷者数はともに増加している。

〔図 1 - 1〕 事業用自動車の重大事故発生状況等の推移



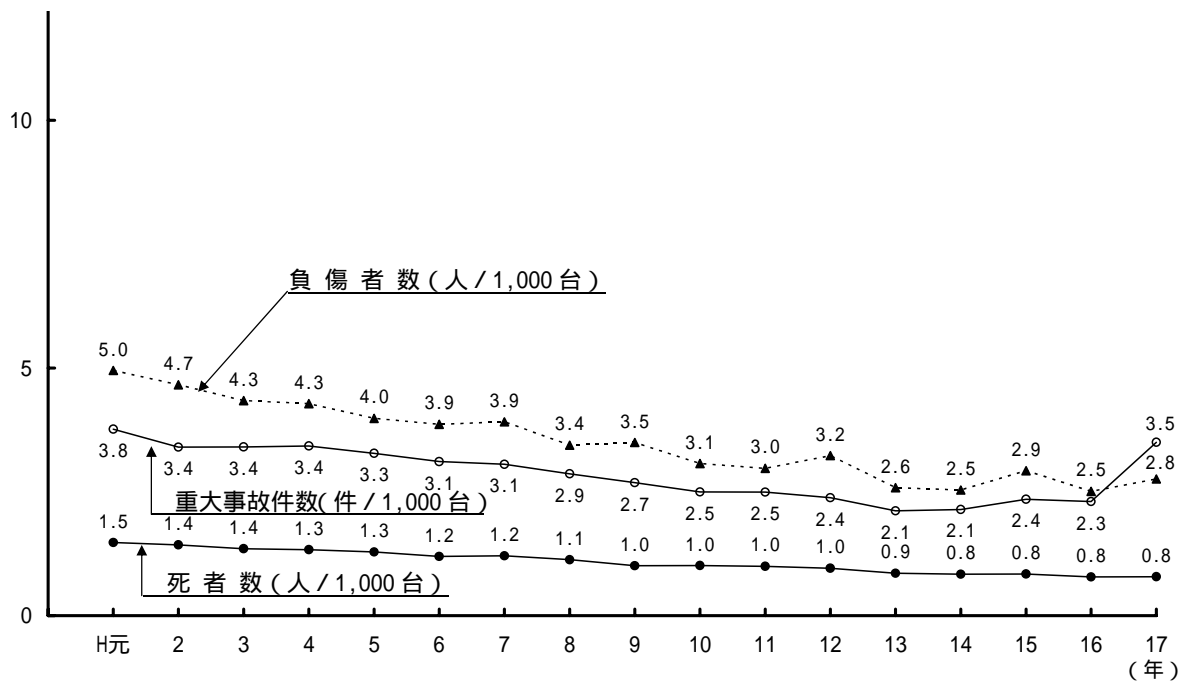
(注) 事業用自動車台数は、国土交通省自動車交通局調べで各年 6 月末の自動車 (被けん引車を除く。) 台数である。

(2) 事業用自動車台数及び走行キロ当たりの重大事故

(ア) 事業用自動車 1,000 台当たり重大事故件数等の推移

事業用自動車の重大事故発生状況を事業用自動車 1,000 台当たりで見ると、図 1 - 2 に示すとおりである。

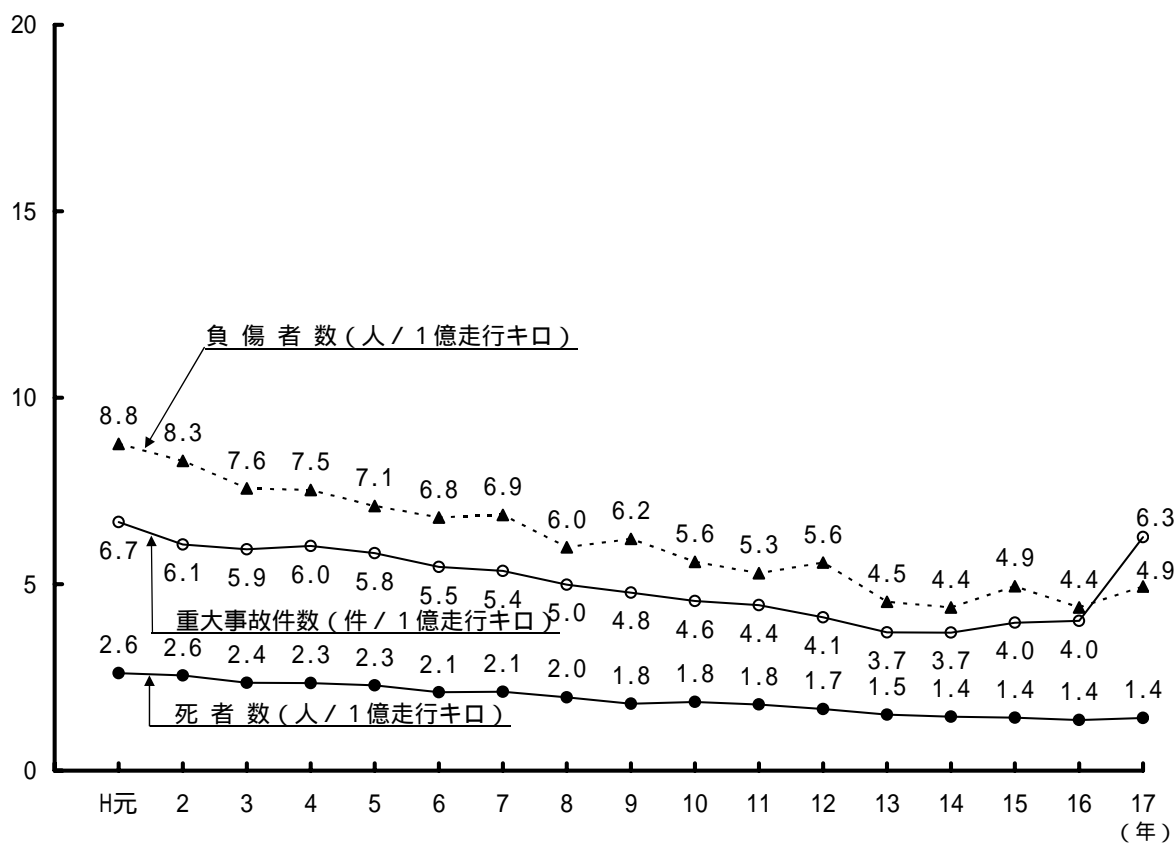
〔図 1 - 2〕 事業用自動車 1,000 台当たり重大事故件数等の推移



(イ) 事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数等の推移

事業用自動車の重大事故発生状況について、事業用自動車 1 億走行キロ当たりでみると、図 1 - 3 に示すとおりであり、前年と比較して、重大事故件数が大幅に増加し、負傷者数も増加しているが、死者数については横ばいを続けている。

〔図 1 - 3〕 事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数等の推移



2. 業態別の重大事故発生状況

平成 17 年中における事業用自動車の重大事故発生状況を業態別にみると、表 2 - 1 に示すとおりであり、バスが 2,369 件（前年比 + 255.7%）、ハイ・タクが 757 件（前年比 + 2.9%）及びトラックが 2,563 件（前年比 + 12.5%）となっている。

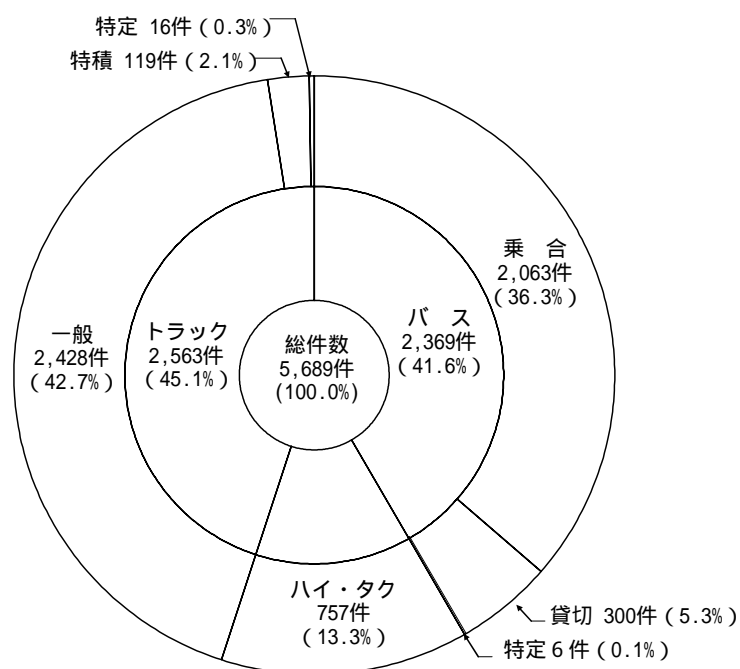
〔表 2 - 1〕 業態別の重大事故発生状況

項 目	内 訳		バス	ハイ・タク	トラック	合計
	数	(件)				
件			2,369	757	2,563	5,689
死傷状況等	死 者 数	(人)	75	108	1,099	1,282
	重 傷 者 数	(人)	444	640	1,112	2,196
	軽 傷 者 数	(人)	903	227	1,156	2,286
	計	(人)	1,422	975	3,367	5,764
乗務員に起因する事故件数		(件)	414	502	1,394	2,310

(1) 事業種類別重大事故件数

平成 17 年中の事業種類別の重大事故件数は図 2 - 1 に示すとおりであり、トラックのうちの一般が 2,428 件で全体の 42.7% を占め、次いでバスの乗合が 2,063 件(36.3%)、ハイ・タクが 757 件 (13.3%) の順となっている。

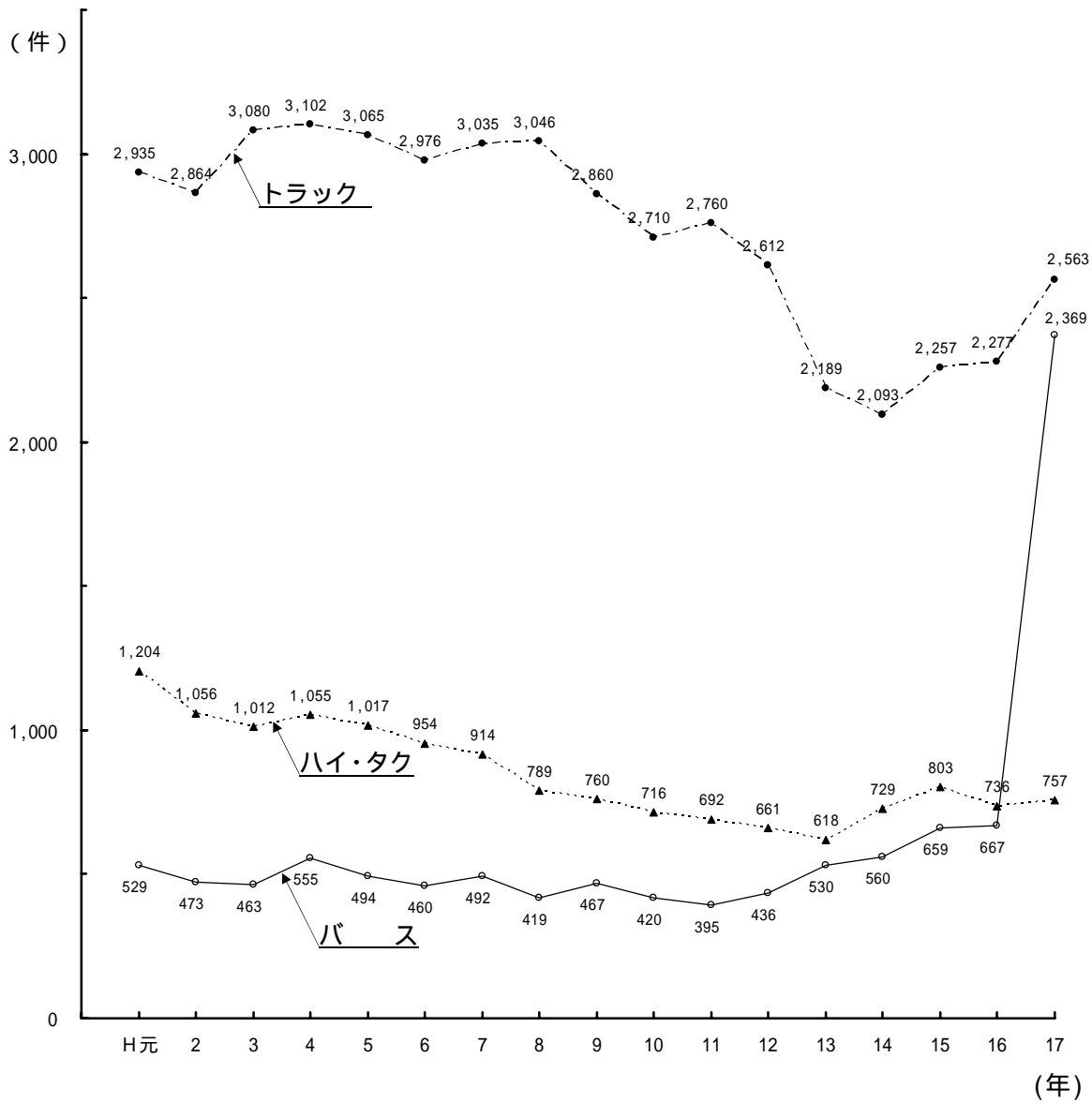
〔図 2 - 1〕 事業種類別重大事故件数



(2) 業態別重大事故件数の推移

業態別重大事故件数の推移をみると、図2-2に示すとおりであり、前年と比較して全業態ともに増加している。

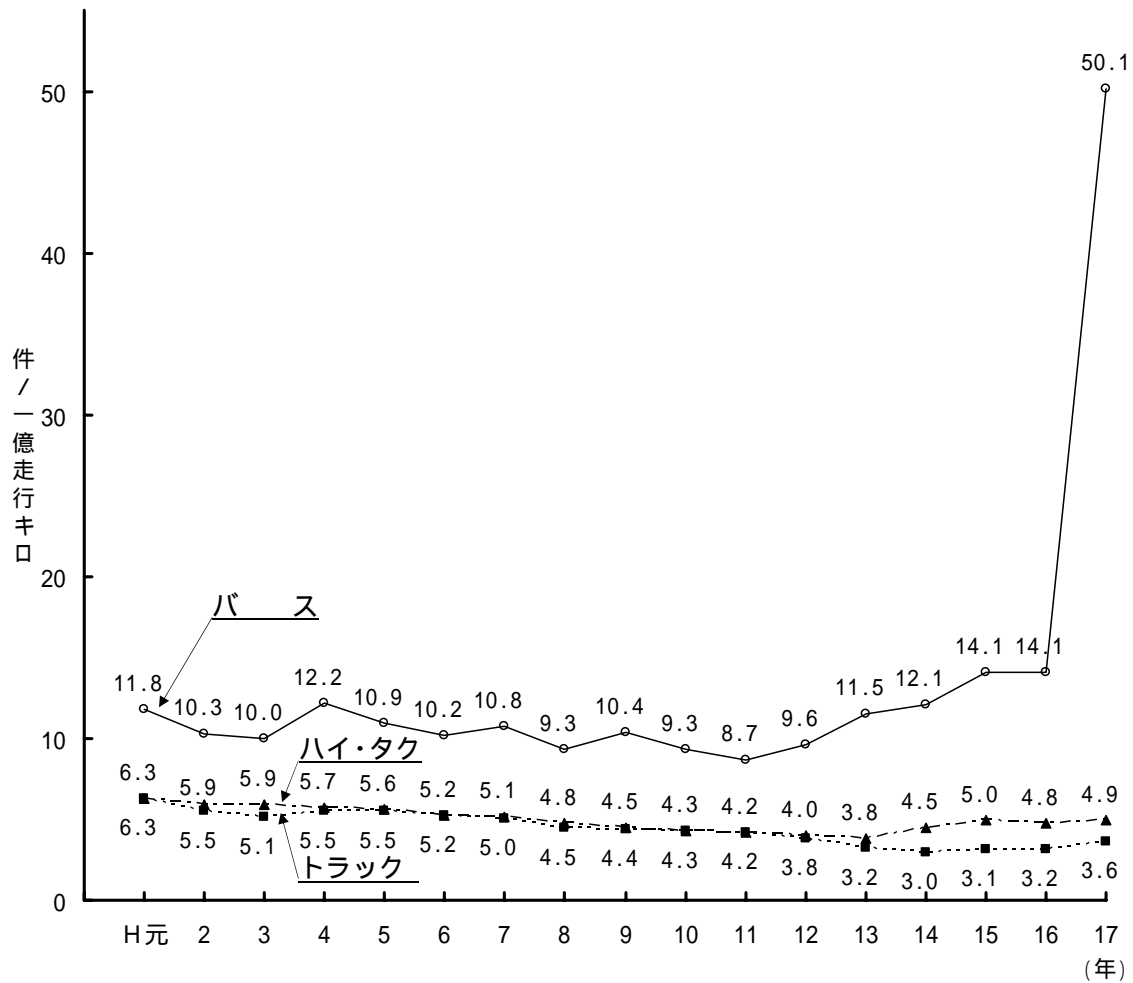
〔図2-2〕業態別重大事故件数の推移



(3) 業態別事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数の推移

業態別事業用自動車 1 億走行キロ当たりの重大事故件数の推移をみると、図 2 - 3 に示すとおりであり、前年と比較してバスが大幅に増加し、トラック、ハイ・タクにも増加が見られる。

〔図 2 - 3〕業態別事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数の推移

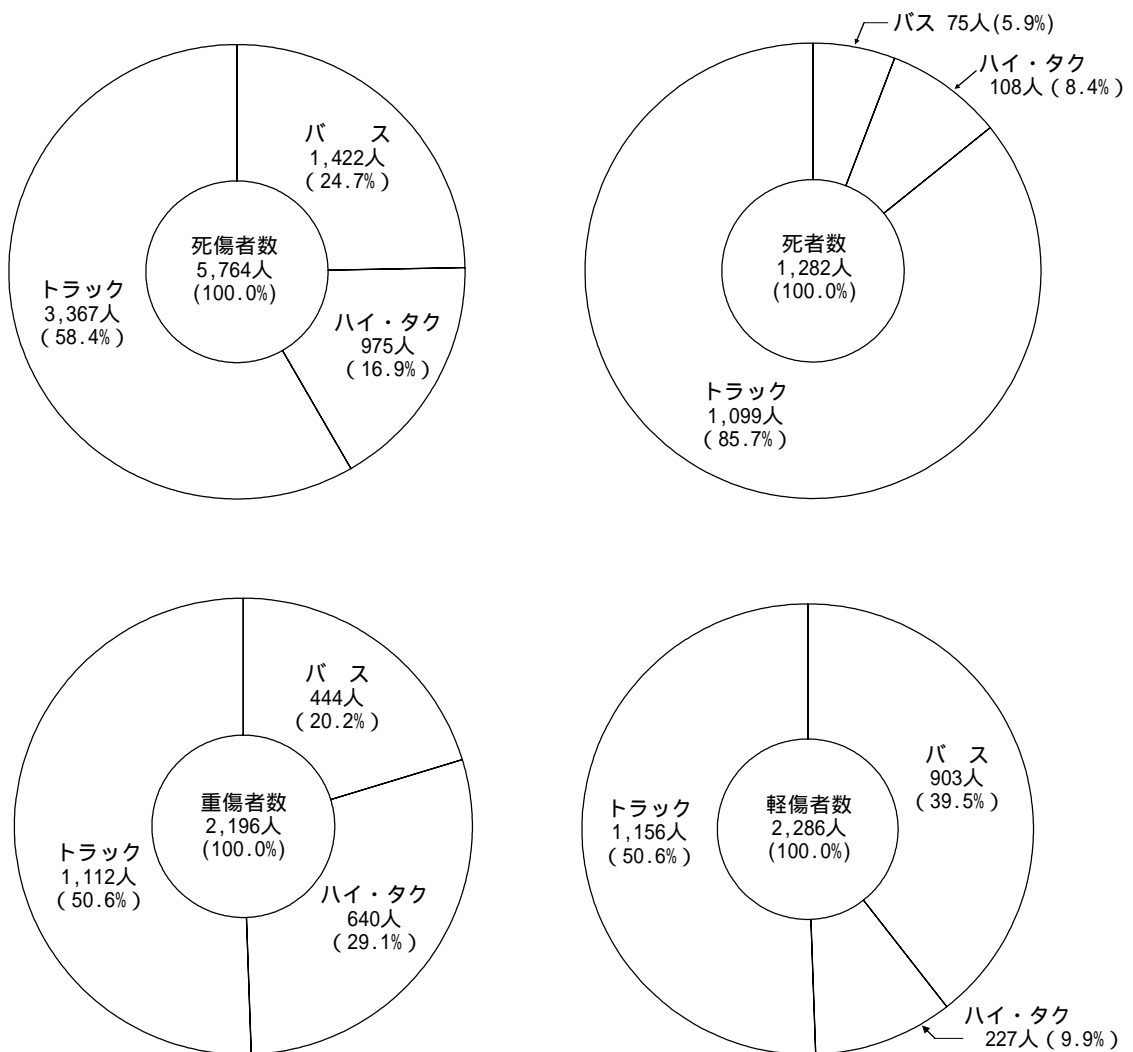


(4) 業態別死傷者内訳

業態別に死傷者の発生状況をみると、図2-4に示すとおりであり、トラックが3,367人(58.4%)、バスが1,422人(24.7%)、ハイ・タクが975人(16.9%)となっている。

また、トラックは死者数1,099人、重傷者数1,112人及び軽傷者数1,156人でいずれも最上位を占めている。

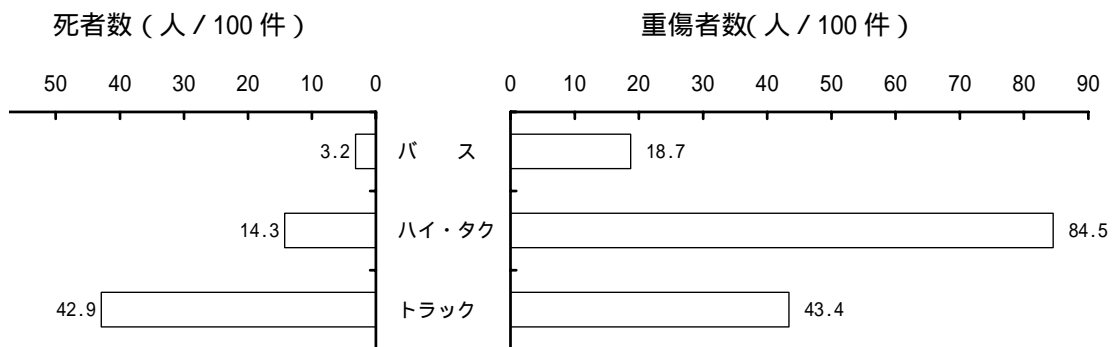
〔図2-4〕 業態別死傷者内訳



(ア) 業態別重大事故 100 件当たり死者数及び重傷者数

業態別重大事故 100 件当たり死者数及び重傷者数は、図 2 - 5 に示すとおりであり、死者数はトラックが 42.9 人（- 4.2 人）、次いでハイ・タクが 14.3 人（前年比 +0.2 人）、バスが 3.2 人（前年比 - 7.6 人）となっている。また、重傷者ではハイ・タクが 84.5 人（前年比 +0.3 人）、次いでトラック 43.4 人（前年比 - 3.8 人）、バスが 18.7 人（前年比 - 34.9 人）となっている。

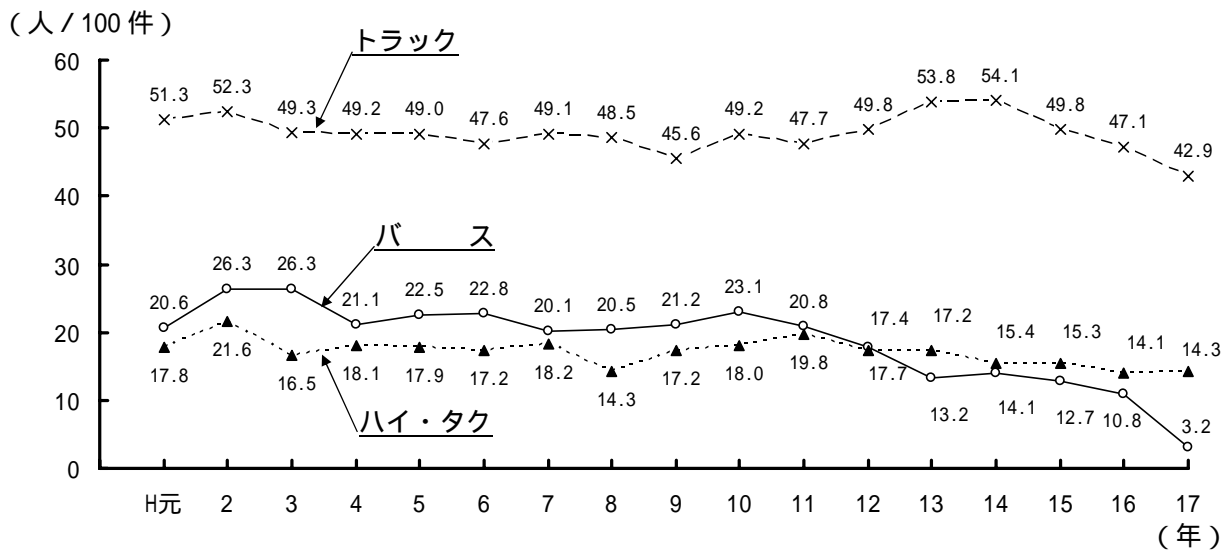
〔図 2 - 5〕 重大事故 100 件当たり死傷者数



(イ) 業態別重大事故 100 件当たり死者数の推移

業態別重大事故 100 件当たり死者数の推移は、図 2 - 6 に示すとおりであり、前年と比較してハイ・タクで若干の増加が見られるものの、トラック・バスともに減少している。

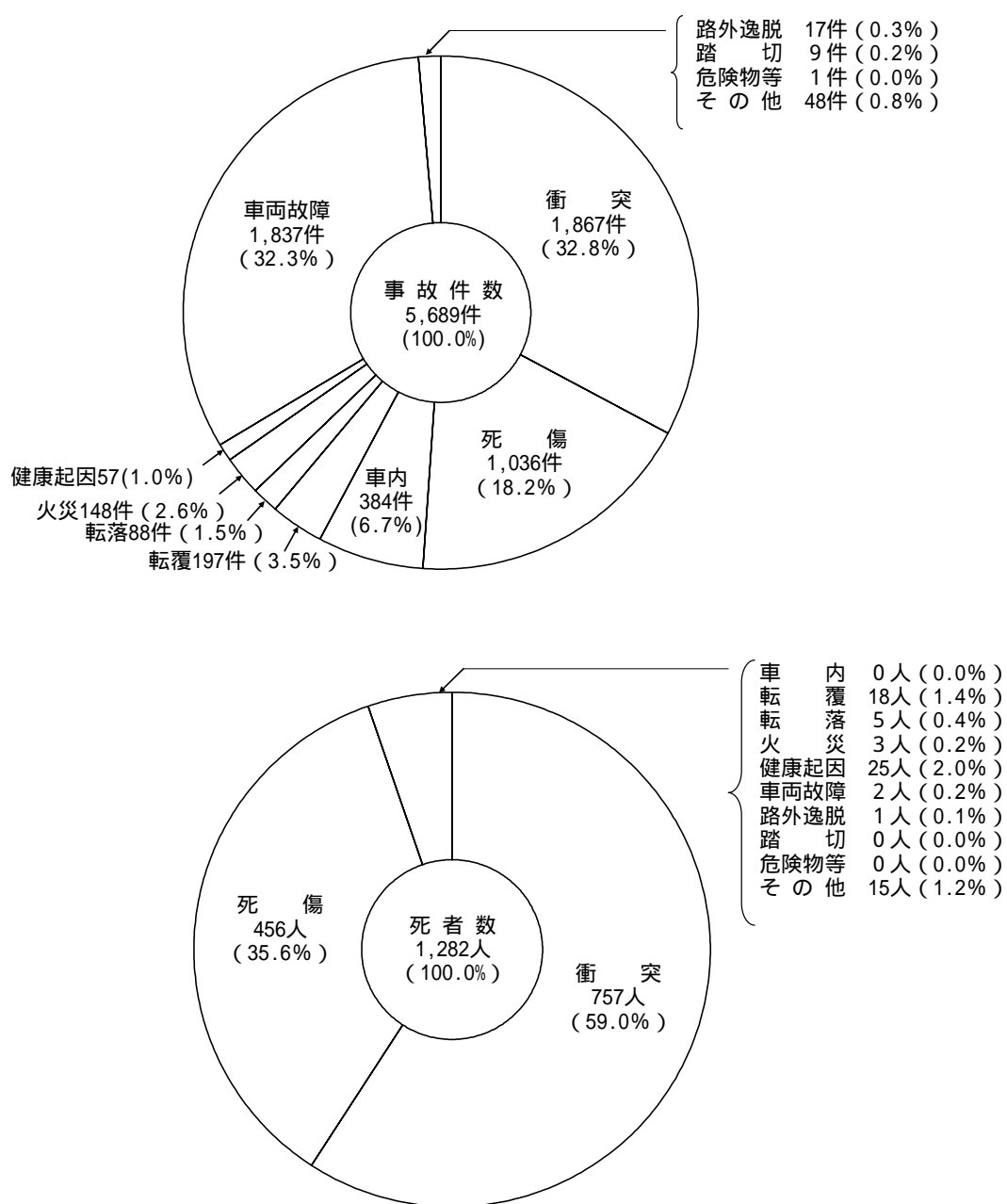
〔図 2 - 6〕 業態別重大事故 100 件当たり死者数の推移



3. 事故種類別の重大事故発生状況

平成 17 年中の重大事故発生状況を事故種類別にみると、図 3 - 1 に示すように、衝突事故が全体の 32.8%と最も多く、次いで車両故障、死傷事故の順となっている。また、死者数にあつては、衝突が 757 人（59.0%）、死傷が 456 人（35.6%）で、合計すると 1,213 人になり、全体の 94.6%と大部分を占めている。

〔図 3 - 1〕 事故種類別の重大事故発生状況



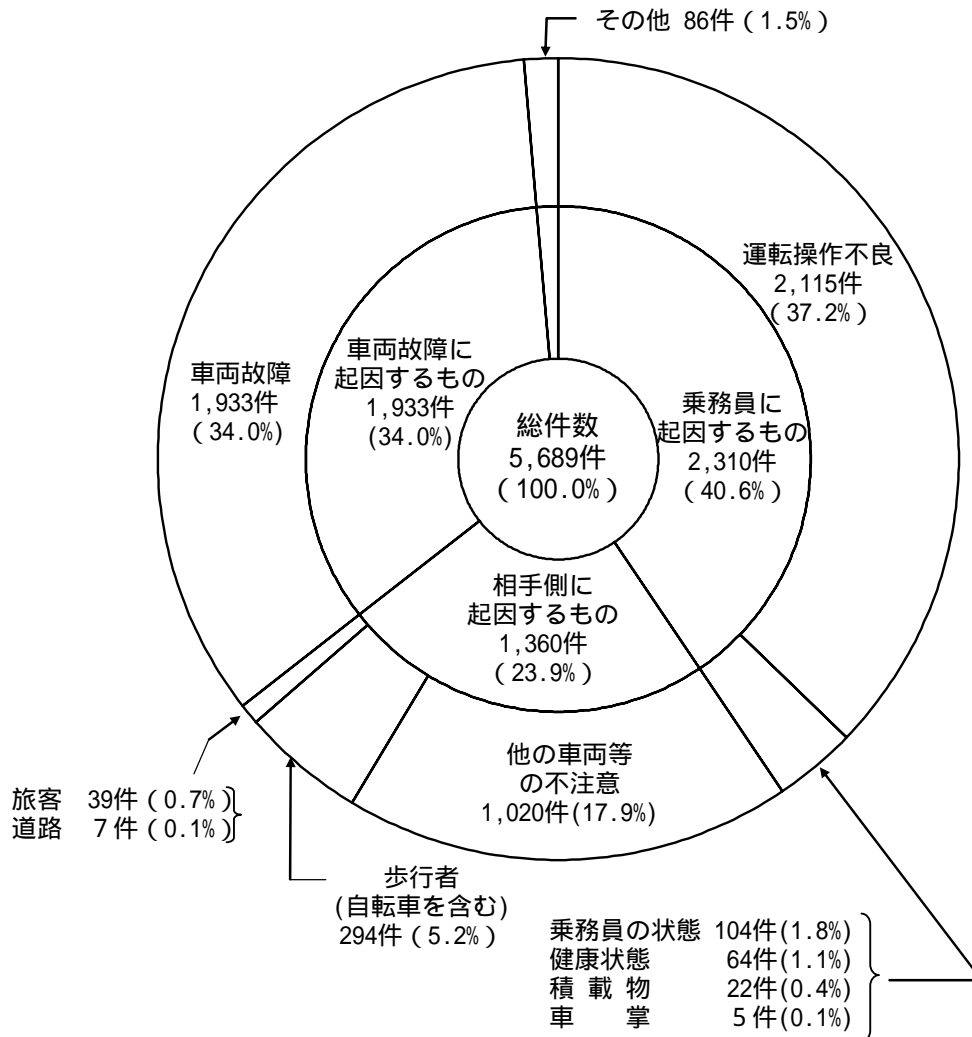
4. 事故原因

(1) 事故原因の大別

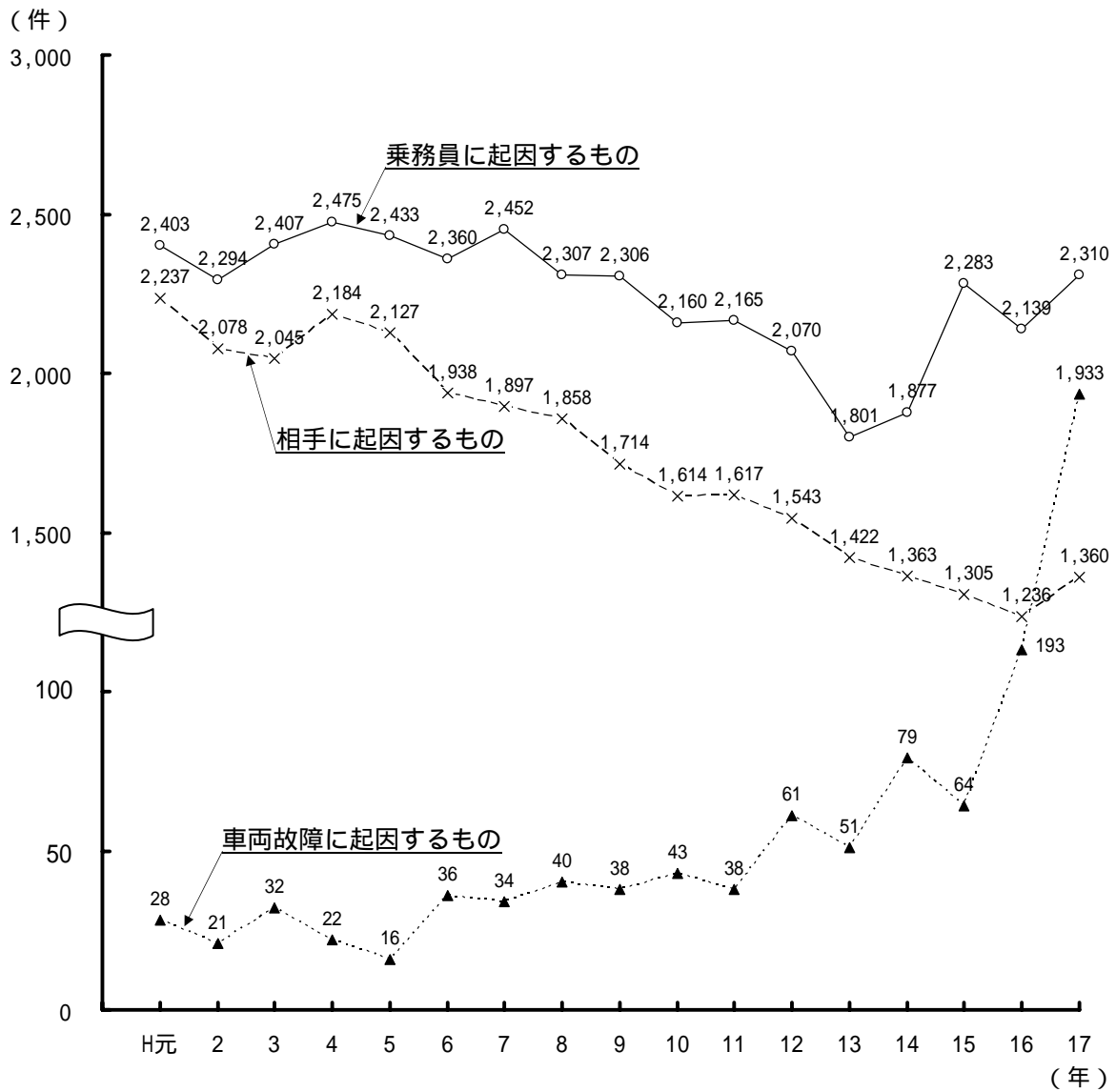
平成17年中の重大事故の発生状況を原因別にみると、図4-1に示すとおりであり、乗務員に起因するものが2,310件(40.6%)で、その多くを占めている。また、乗務員に起因するものの内訳をみると、運転操作不良が2,115件(37.2%)となっており、大部分が運転者の不適切な運転操作によるものと推測できる。

また、原因別重大事故の発生件数の推移は、図4-2に示すとおりである。

〔図4-1〕 原因別重大事故発生状況



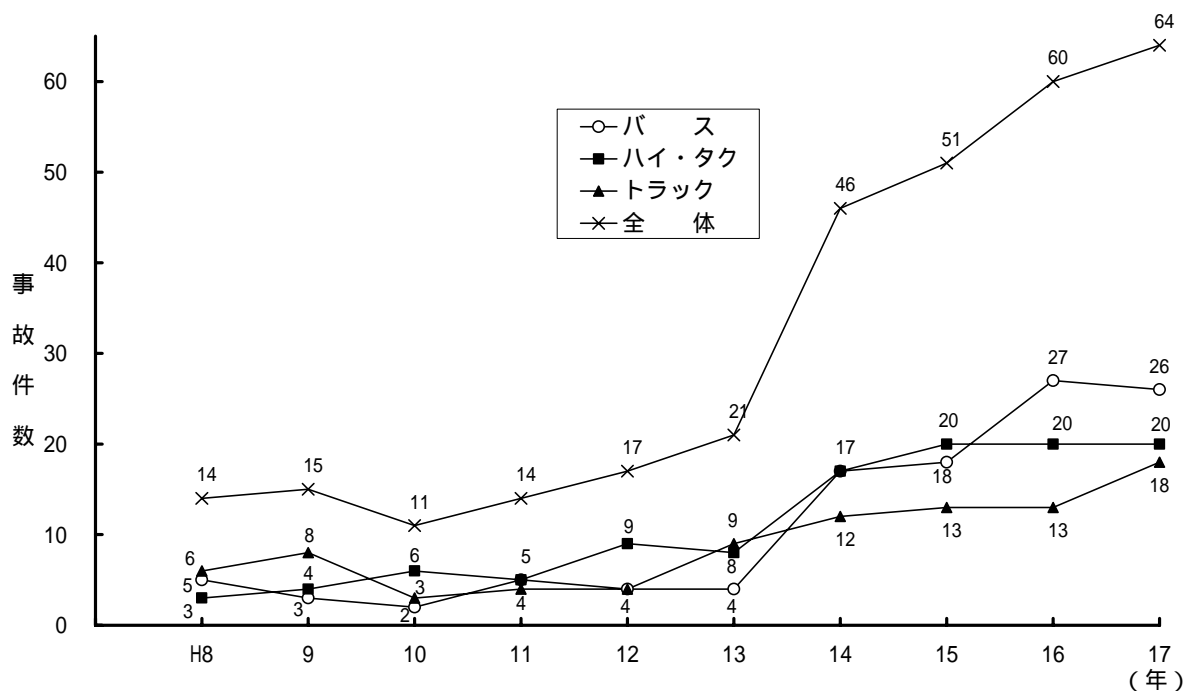
〔図4-2〕 原因別重大事故発生件数の推移



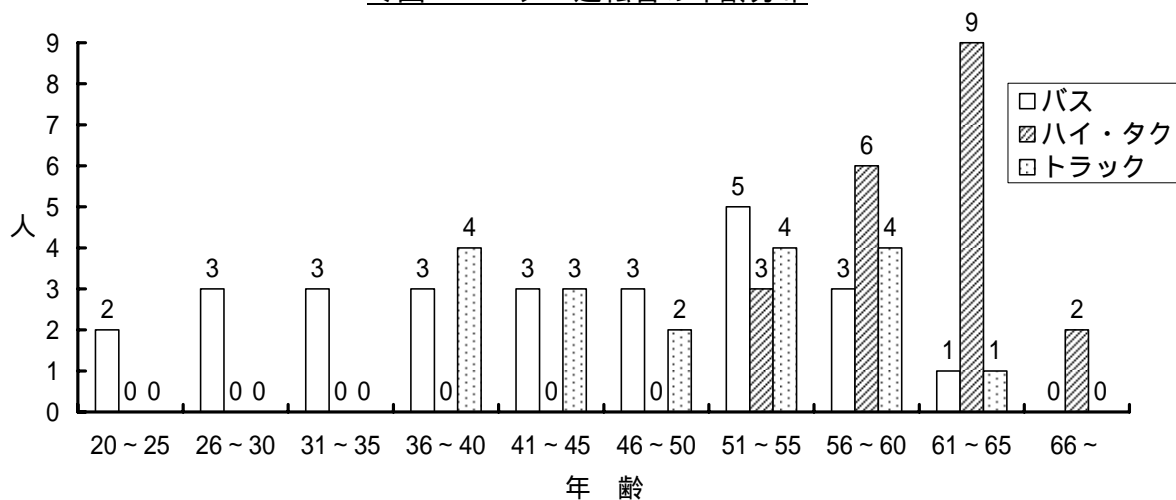
(2) 運転者の健康状態

運転者の健康状態に起因する事故の発生状況の推移及び運転者の年齢分布（平成17年中）は、図4-3及び図4-4に示すとおりである。また、病名別の運転者数は表4-1に示すとおりである。

〔図4-3〕 運転者の健康状態に起因する重大事故の発生状況の推移



〔図4-4〕 運転者の年齢分布



〔表4-1〕 病名別の運転者数

	運転者数	死亡運転者数
くも膜下出血	10	7
脳血栓	3	0
脳(その他)	10	2
心筋梗塞	11	11
心臓(その他)	6	5
失神	4	0
その他	20	1
計	64	26

(3) 車両故障に起因する重大事故

車両故障による重大事故の発生状況は、表 4 - 2 に示すとおりであり、平成 17 年中においては 1,933 件で、全重大事故件数の 34.0% となっている。また、死傷状況等は表 4 - 3 に、業態別・装置別件数は表 4 - 4 に、業態別・事故種別件数は表 4 - 5 及び図 4 - 5 に示すとおりである。

〔表 4 - 2〕 車両故障事故件数の推移

年	総事故件数 (A)	車両故障事故件数(B)	B / A × 100 (%)
元	4,668	28	0.6
2	4,393	21	0.5
3	4,555	32	0.7
4	4,712	22	0.5
5	4,576	16	0.3
6	4,390	36	0.8
7	4,441	34	0.8
8	4,254	40	0.9
9	4,087	38	0.9
10	3,846	43	1.1
11	3,847	38	1.0
12	3,709	61	1.6
13	3,337	51	1.5
14	3,382	79	2.3
15	3,719	64	1.7
16	3,680	193	5.2
17	5,689	1,933	34.0

〔表 4 - 3〕 車両故障に起因する重大事故発生状況

項 目		内 訳			
		バス	ハイ・タク	トラック	合計
件	数 (件)	1,648	10	275	1,933
死傷状況等	死 者 数 (人)	0	0	2	2
	重 傷 者 数 (人)	0	0	4	4
	軽 傷 者 数 (人)	7	1	19	27

〔表4-4〕 車両故障事故の業態別・装置別件数

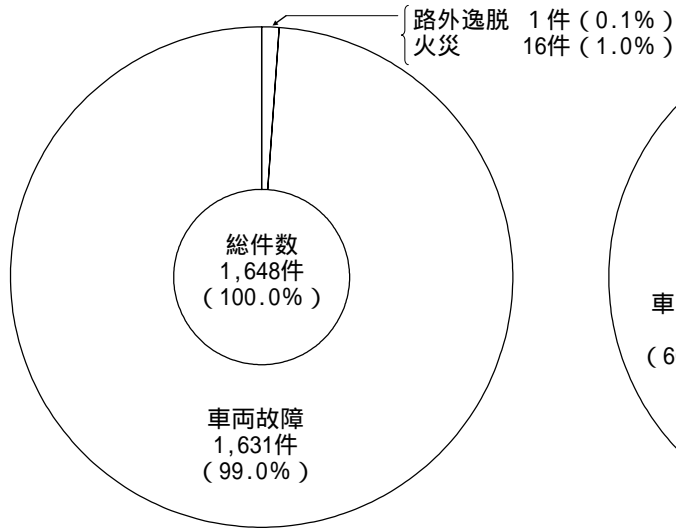
装置 \ 業態	バス	ハイ・タク	トラック	合計
制 動 装 置	69	0	23	92
車 軸	3	0	25	28
車輪（タイヤ除く）	9	2	68	79
電 気 装 置	282	4	12	298
原 動 機	328	1	31	360
動 力 伝 達 装 置	332	0	31	363
そ の 他	625	3	85	713
合 計	1,648	10	275	1,933

〔表4-5〕 車両故障事故の業態別・事故種類別件数

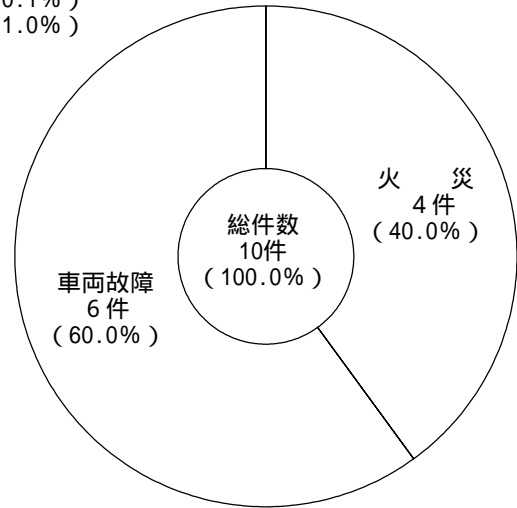
事故種類 \ 業態	バス	ハイ・タク	トラック	合計
転 覆	0	0	3	3
転 落	0	0	0	0
路 外 逸 脱	1	0	0	1
火 災	16	4	71	91
踏 切	0	0	0	0
衝 突	0	0	0	0
車 内	0	0	0	0
死 傷	0	0	0	0
車 両 故 障	1,631	6	200	1,837
そ の 他	0	0	1	1
合 計	1,648	10	275	1,933

〔図4-5〕 車両故障事故の業態別・事故種別件数

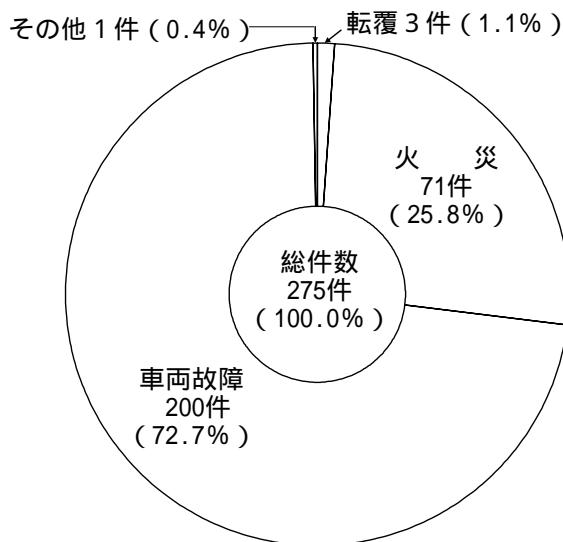
〔バス〕



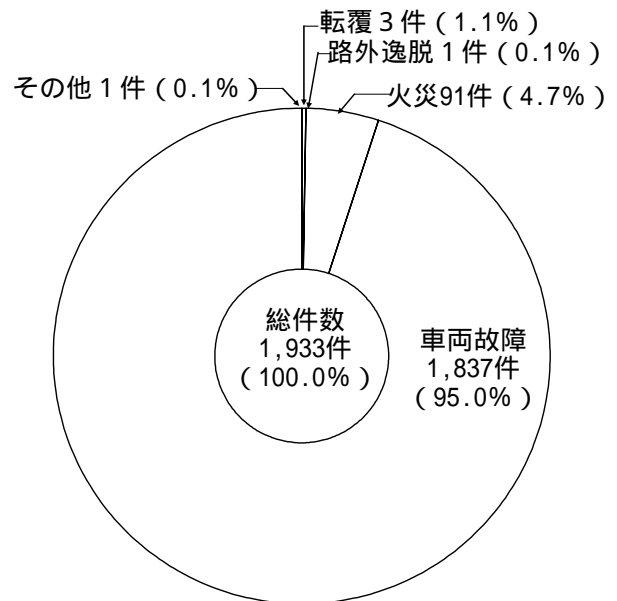
〔ハイ・タク〕



〔トラック〕



〔合計〕



(4) 事故種類別重大事故発生状況

(ア) 転覆、転落事故

平成 17 年中の転覆、転落の事故発生状況は、表 4 - 6 に示すとおりであり、事故件数が 285 件、死者数が 25 人及び負傷者数が 275 人となっている。

〔表 4 - 6〕 事業種類別転覆、転落事故発生状況

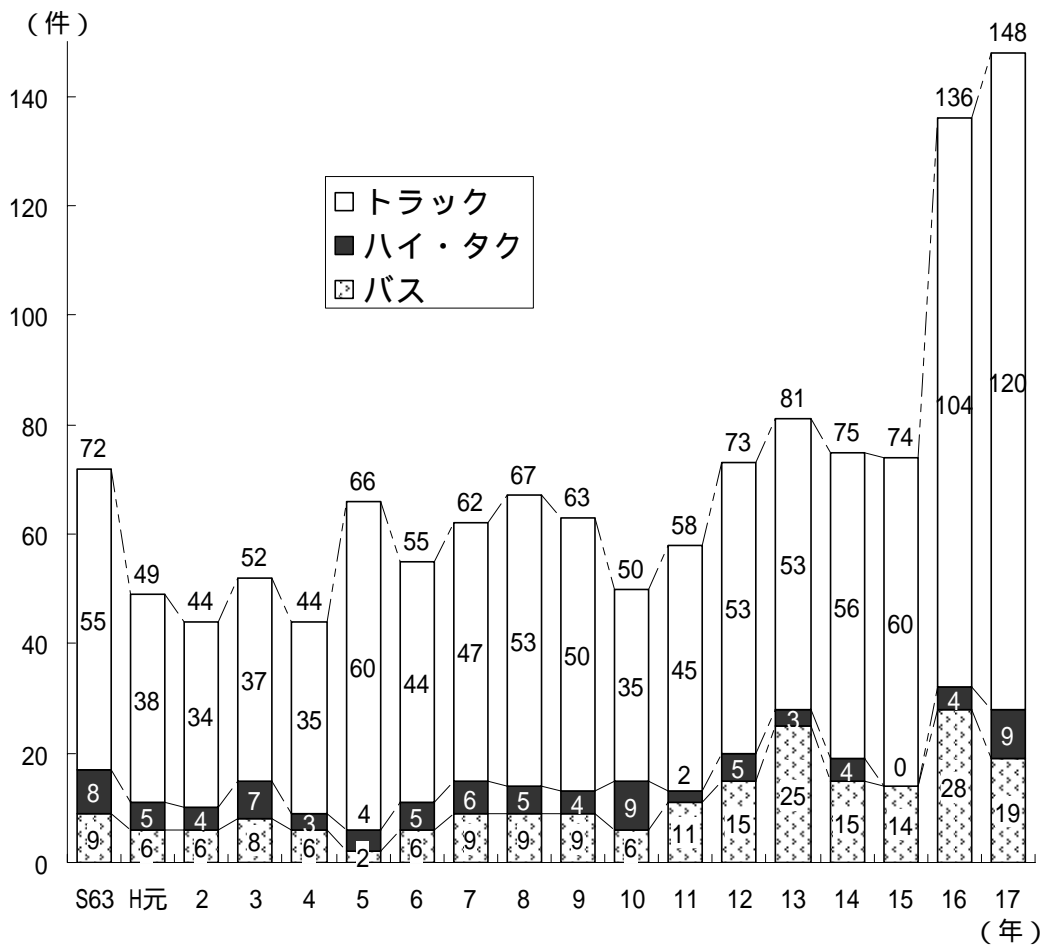
事業種類 \ 事故状況	事故件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)
乗 合 バ ス	2	3	38
貸 切 バ ス	5	0	25
ハイ・タク(法人)	18	0	18
ハイ・タク(個人)	3	0	8
特 積 ト ラ ッ ク	13	1	15
一 般 ト ラ ッ ク	240	19	169
特 定 貨 物	4	2	2
計	285	25	275

(イ) 火災事故

平成 17 年中の火災事故件数は図 4 - 6 に示すとおりであり、全業態で 148 件発生しており、その殆どがトラックとなっている。

また、発生原因別の推移は表 4 - 7 に示すとおりである。

〔図 4 - 6〕 業態別火災事故発生件数の推移



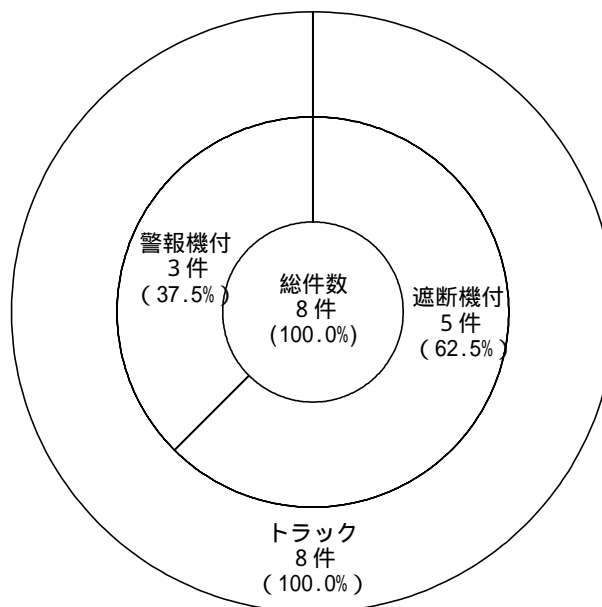
〔表4-7〕 業態別火災事故発生件数の推移

年 原因 業態	8		9		10		11		12		13		14		15		16		17	
	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他
バス	6	3	8	1	5	1	8	3	12	3	22	3	11	4	4	10	19	9	13	6
ハイ・タク	3	2	0	4	6	3	0	2	3	2	0	3	2	2	0	0	1	3	5	4
トラック	27	26	21	29	18	17	22	23	30	23	16	37	28	28	23	37	59	45	73	47
計	36	31	29	34	29	21	30	28	45	28	38	43	41	34	27	47	79	57	91	57

(ウ) 踏切事故

平成 17 年中の踏切事故件数は図 4 - 7 に示すとおり 8 件発生しており、全てトラックによるものである。

〔図4-7〕 踏切種類別、業態別踏切事故発生状況



(エ) 衝突事故

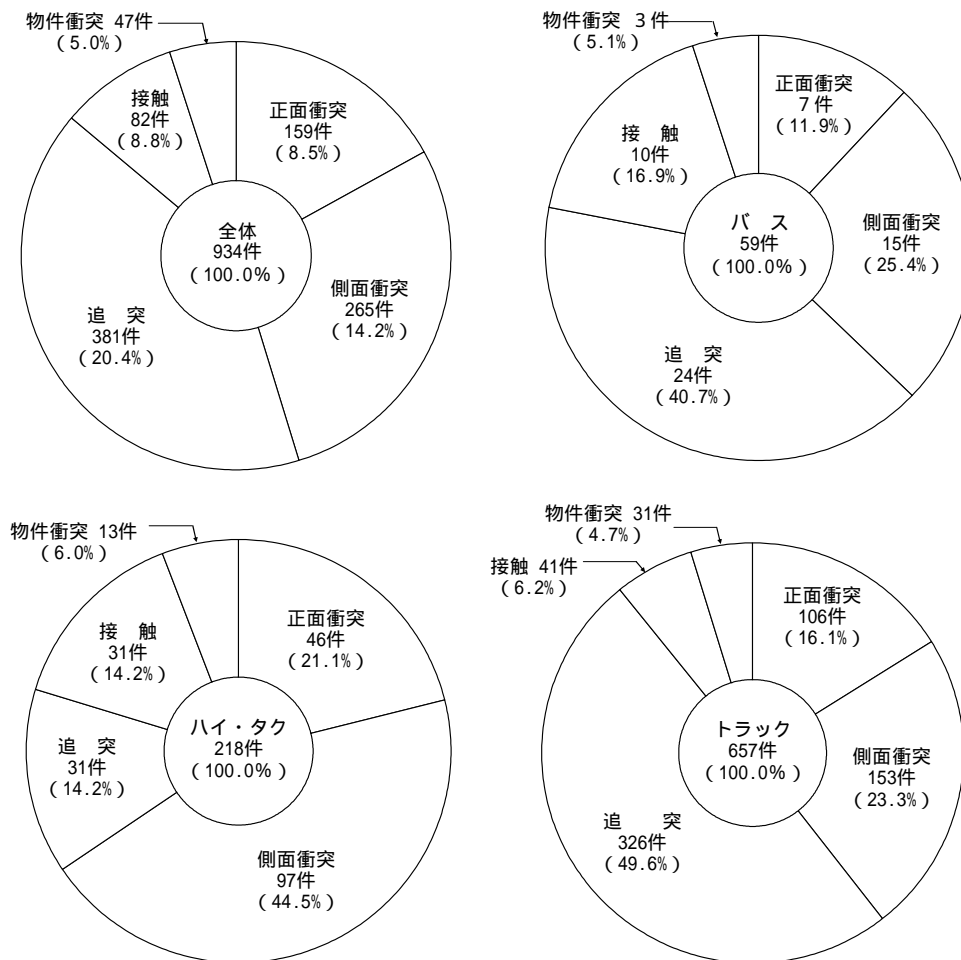
平成 17 年中の衝突事故件数は表 4 - 8 に示すとおりであり全業態で 1,867 件発生し、全重大事故件数の 32.8% で最も多く、その業態別内訳は、トラックが 1,310 件で 70.2% を占めている。

乗務員に起因する衝突事故 934 件について、業態別に衝突の状態別の発生状況を見ると、図 4 - 8 のとおりであり、バス及びトラックの双方で、追突による事故が最も多く発生している。しかしながら、ハイ・タクにおいては側面衝突による事故が最も多く、他の業態と違った傾向を示している。

〔表 4 - 8〕 業態別衝突事故件数

業態別	件数	構成比(%)
バス	201	10.8
ハイ・タク	356	19.1
トラック	1,310	70.2
計	1,867	100.0

〔図 4 - 8〕 業態別、衝突の状態別衝突事故発生状況 (乗務員に起因するもの)

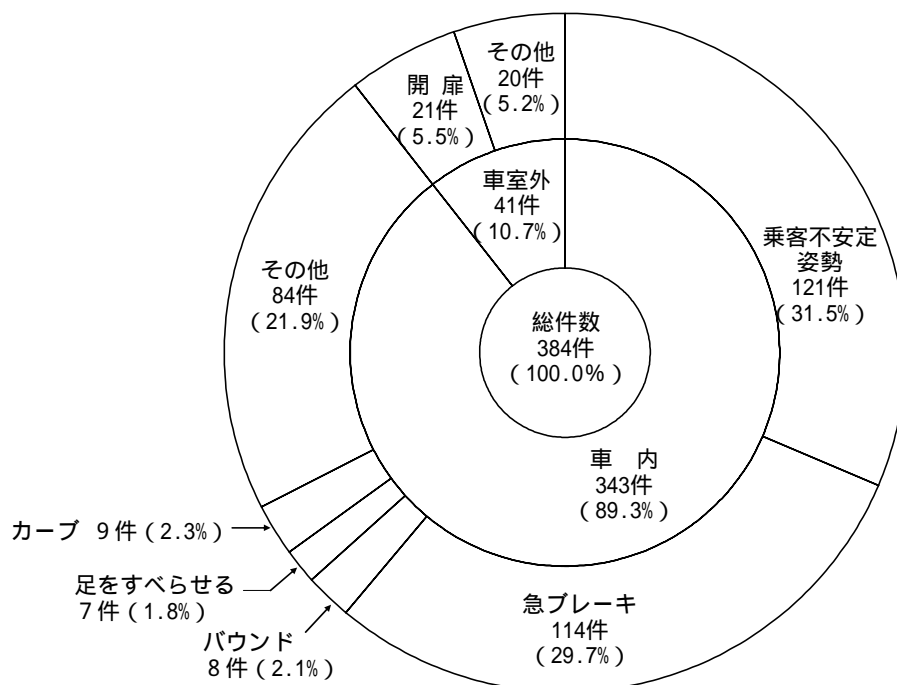


(オ) 車内事故

平成 17 年中の車内事故件数は、バス及びハイ・タクで 384 件発生しており、全重大事故件数の 6.7%となっている。

また、バス等の車内事故（乗降中の乗客を含む。）の原因別発生状況は、図 4 - 9 のとおりであり、そのうち 343 件（89.3%）は車内で生じたものである。また、原因についてみると乗客の不安定姿勢が 121 件（31.5%）で最も多く、次いで急ブレーキが 114 件（29.7%）の順となっている。

〔図 4 - 9〕 バス等の車内事故の原因別重大事故発生状況



(カ) 死傷事故

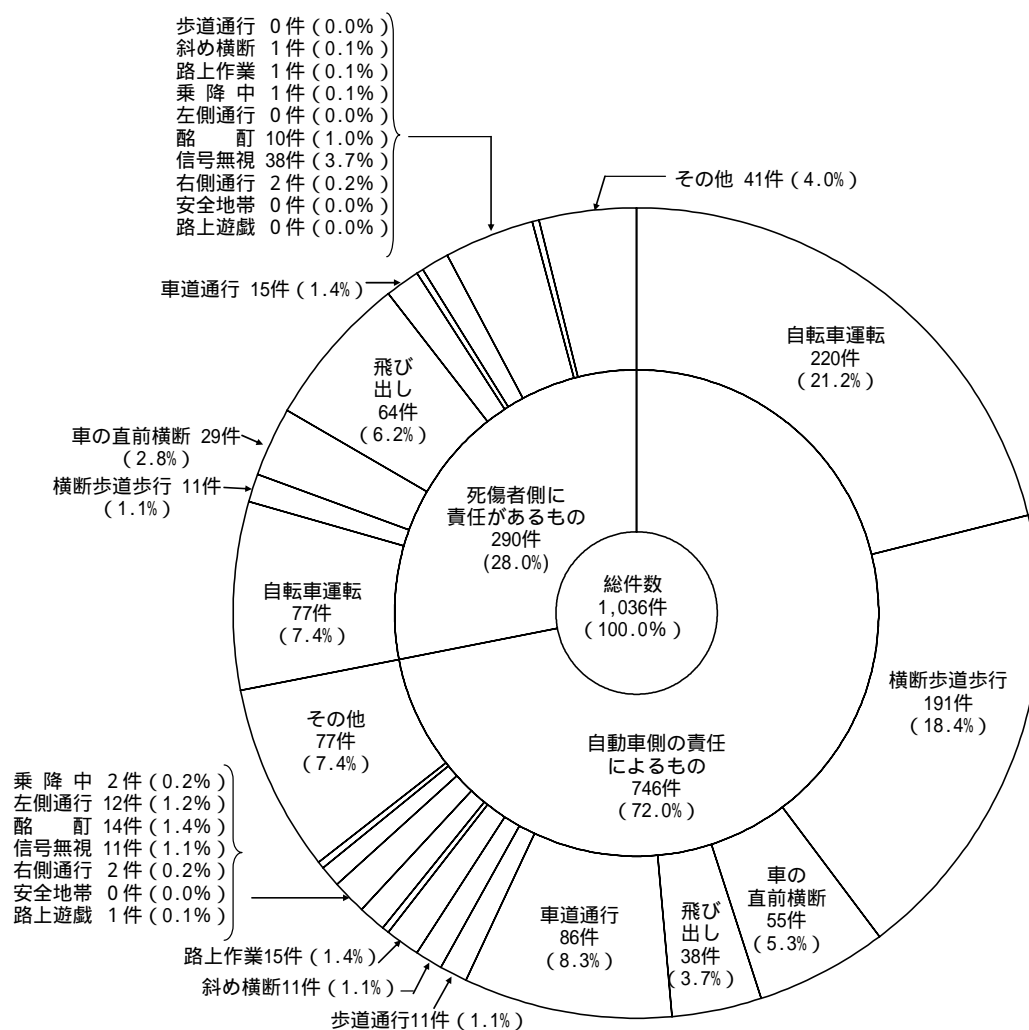
平成 17 年中の死傷事故件数は 1,036 件で全重大事故件数の 18.2%となっており、これは衝突、車両故障に次いで 3 番目に多い件数である。業態別の発生件数は、表 4 - 9 のとおり、バス 116 件、ハイ・タク 319 件、トラック 601 件となっている。

その発生状況は図4-10のとおりであり、自動車側の責任がある事故が全体の72.0%あり、このうち、死傷者側が自転車を運転している場合が多く、次に横断歩道走行中、車道通行の順となっている。

〔表4-9〕 業態別死傷事故件数

業態別	件数	構成比 (%)
バス	116	11.2
ハイ・タク	319	30.8
トラック	601	58.0
計	1036	100.0

〔図4-10〕 死傷事故当時の死傷者側の状態



5 . 高速道路等における重大事故発生状況

平成 17 年中の高速自動車国道及び自動車専用道路等に重大事故発生状況は表 5 - 1 に示すとおりであり、全業態で 892 件発生し、全重大事故件数の 15.7%を占めている。

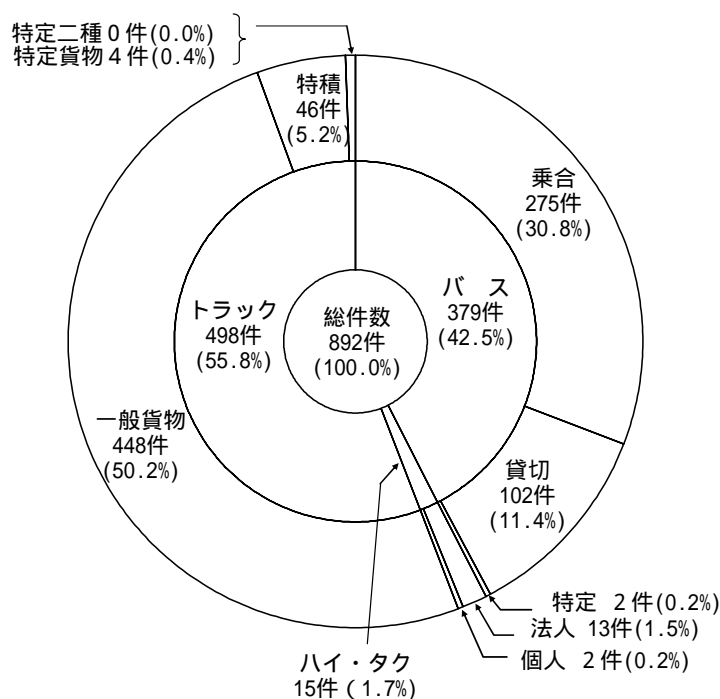
〔表 5 - 1〕 業態別高速道路等における重大事故発生状況

項目	業態 道路	バス		ハイ・タク		トラック		計		合計
		高速	専用	高速	専用	高速	専用	高速	専用	
重大事故件数	(件)	320	59	8	7	382	116	710	182	892
死傷 状況 等	死者数	16	1	3	2	122	43	141	46	187
	重傷者数	20	4	8	3	125	47	153	54	207
	軽傷者数	143	28	4	1	227	98	374	127	501
	計	179	33	15	6	474	188	668	227	895

(1) 事業種類別重大事故件数

平成 17 年中の高速自動車国道及び自動車専用道路等の事業種類別重大事故発生件数は、図 5 - 1 に示すとおりであり、トラックが 498 件で 56.0%、バスが 379 件で 42.5%、ハイ・タクが 15 件で 1.7%となっている。また、トラックの一般貨物が全体の 50.3%を占めている。

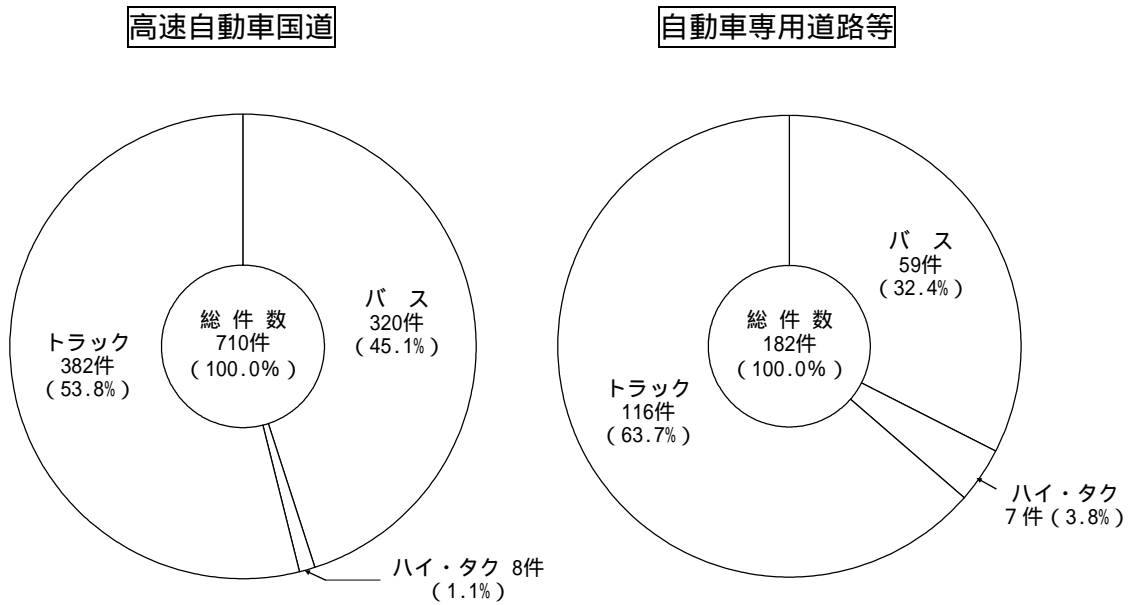
〔図 5 - 1〕 事業種類別重大事故件数



(2) 業態別重大事故件数

高速自動車国道及び自動車専用道路等における業態別重大事故件数は図 5 - 2 に示すとおりであり、比較の利用率の多いトラック、バスが大部分を占めている。

〔 図 5 - 2 〕 業態別重大事故件数



(3) 事故種類別重大事故発生状況

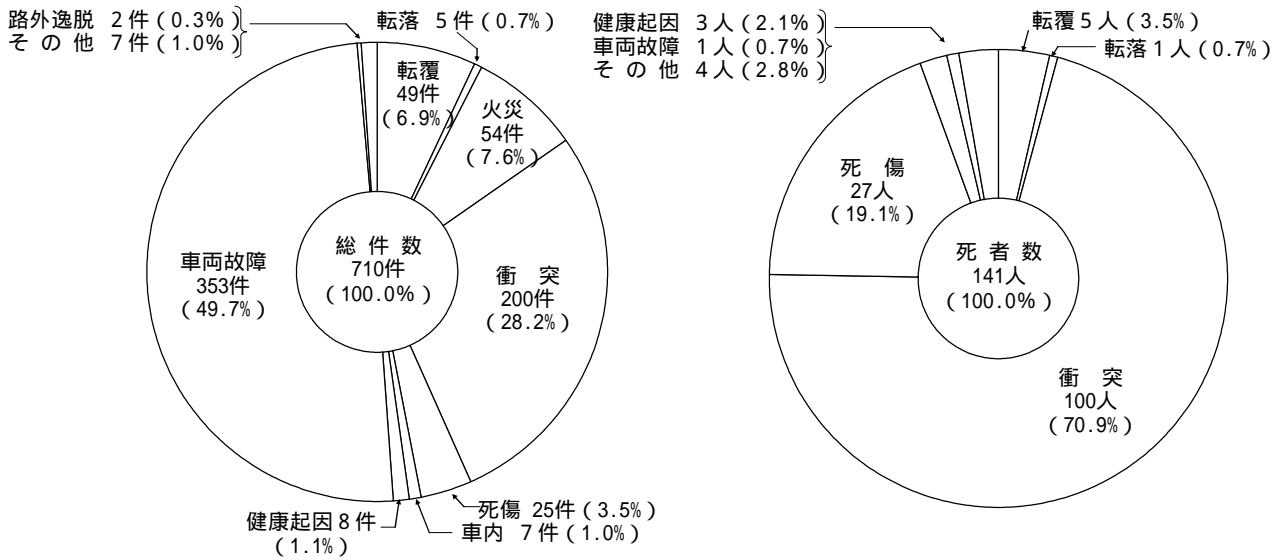
高速自動車国道及び自動車専用道路等における事故種類別重大事故発生状況は図5-3に示すとおりであり、高速自動車国道においては車両故障が353件(49.7%)で最も多く発生しているが、自動車専用道路では衝突事故が69件(37.9%)で最も多く、異なる傾向を示している。

〔表5-2〕 事故種類別重大事故発生状況

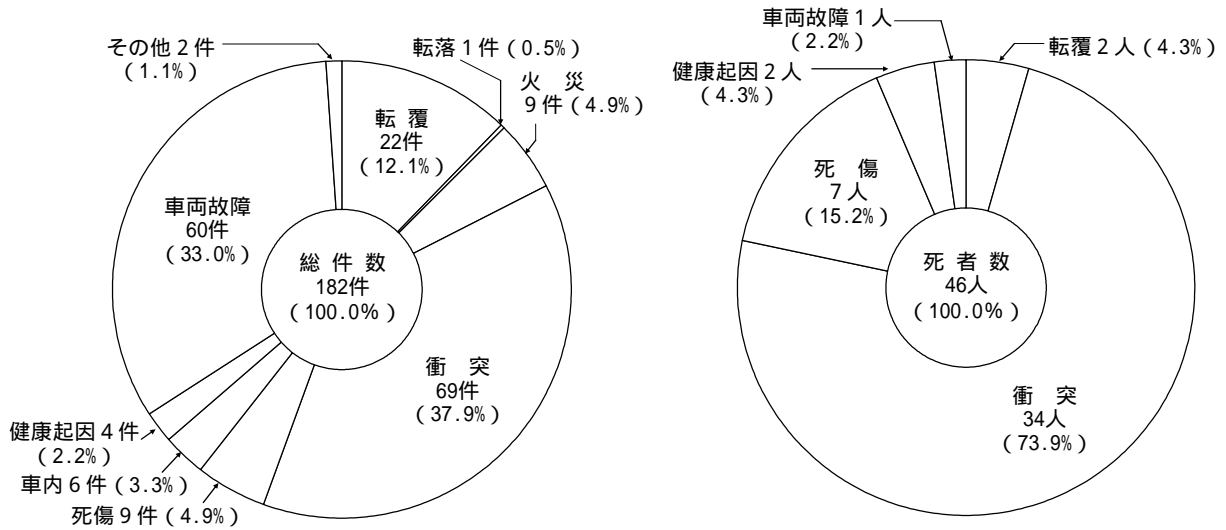
項目 事故種類	高速自動車国道				自動車専用道路等			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
転覆	49	5	13	53	22	2	4	14
転落	5	1	1	4	1	0	0	0
火災	54	0	2	2	9	0	0	0
衝突	200	100	124	297	69	34	44	104
死傷	25	27	5	6	9	7	2	0
車内	7	0	2	5	6	0	2	4
健康起因	8	3	2	0	4	2	1	0
車両故障	353	1	0	2	60	1	1	2
路外逸脱	2	0	1	1	0	0	0	0
危険物等	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	7	4	3	4	2	0	0	3
計	710	141	153	374	182	46	54	127

〔図5 - 3〕 事故種類別重大事故発生状況

高速自動車国道



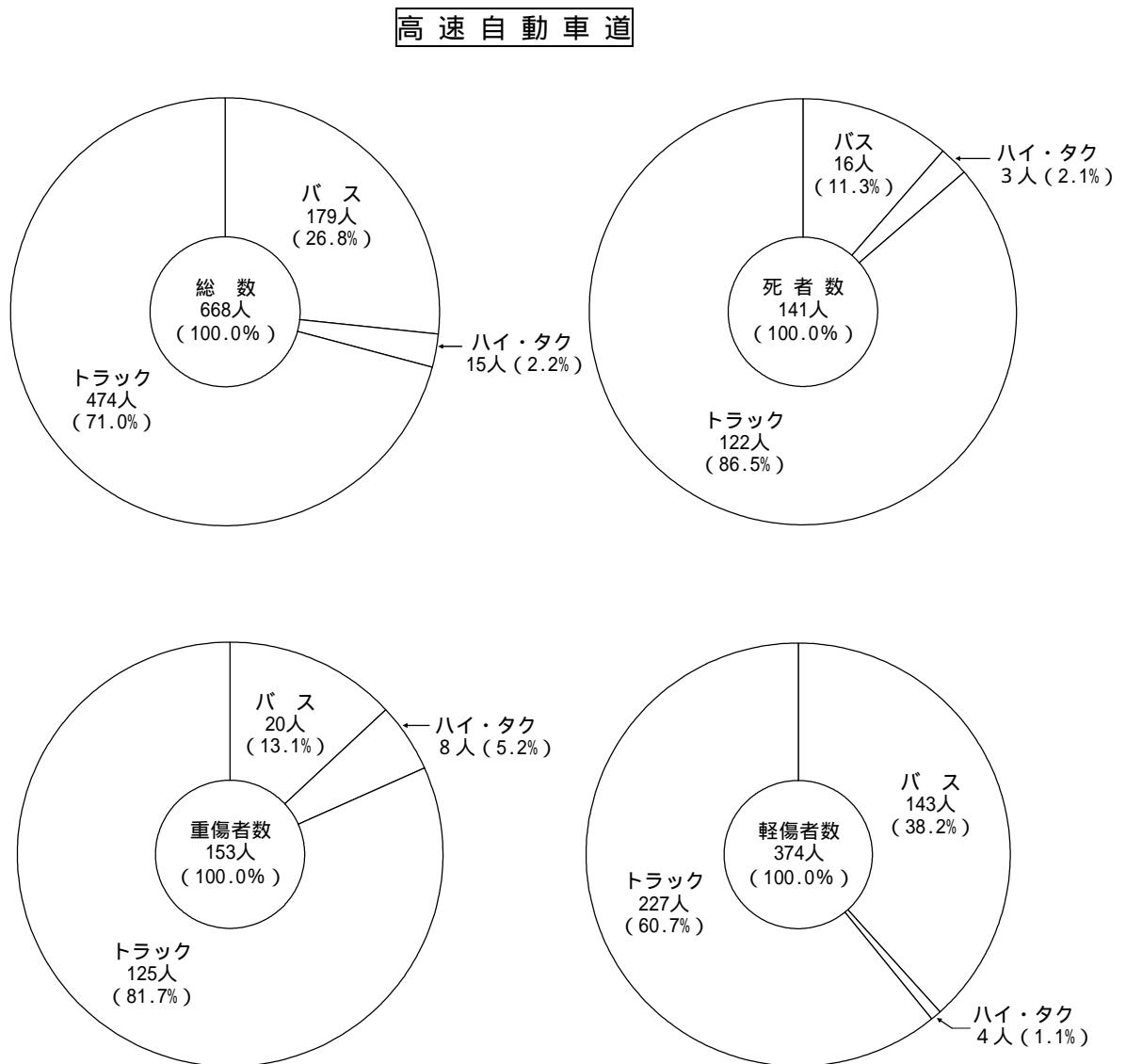
自動車専用道路等



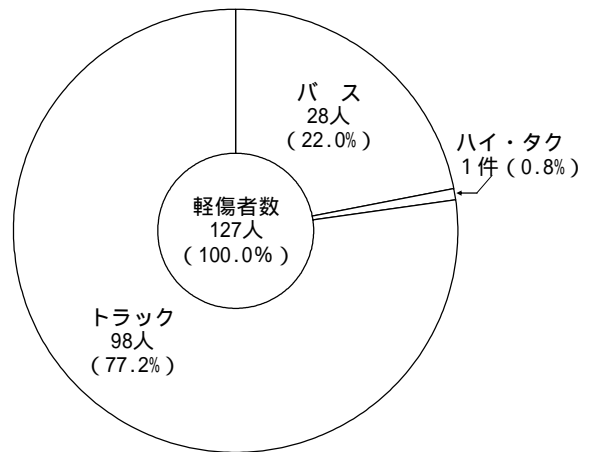
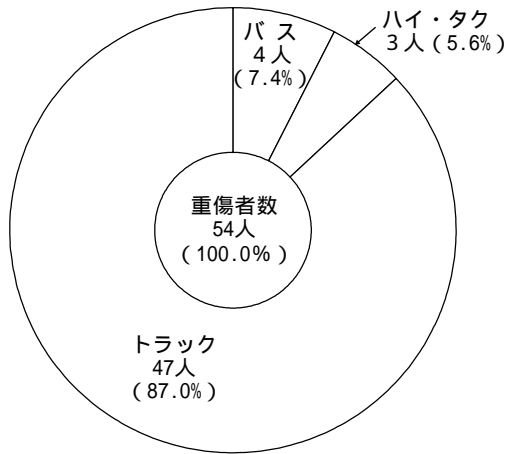
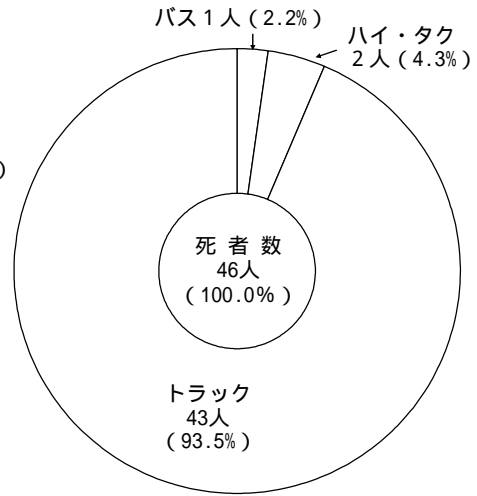
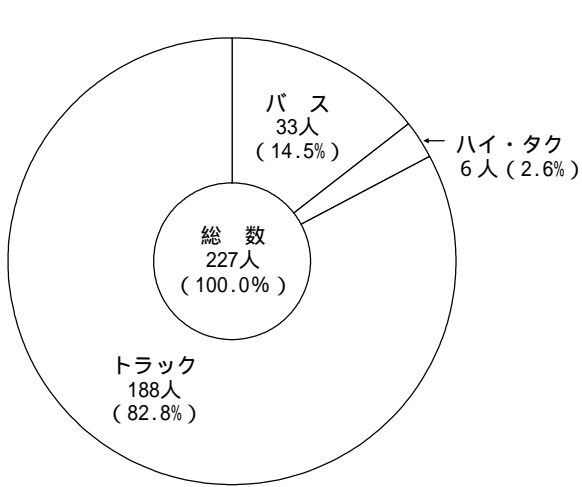
(4) 業態別死傷状況

高速自動車国道及び自動車専用道路等における業態別重大事故の死傷状況は図5-4に示すとおりであり、高速自動車国道及び自動車専用道路等のいずれかの項目においてもトラックが最も多い数値を示している。

〔図5-4〕 業態別死傷状況



自動車専用道路等



(5) 乗務員に起因する重大事故発生状況

(ア) 業態別発生状況

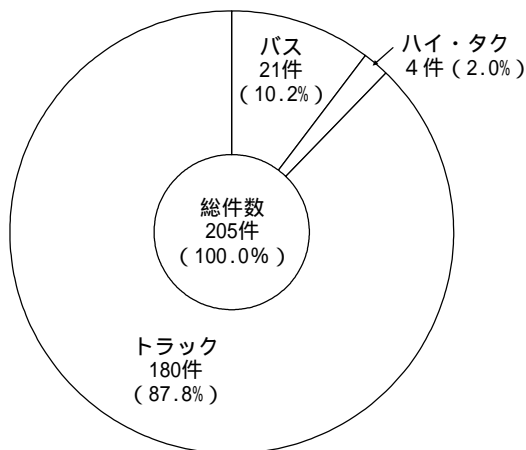
高速自動車国道及び自動車専用道路等における重大事故 892 件のうち、乗務員に起因するものは 281 件 (31.5%) であり、業態別の発生状況は、表 5 - 3 及び図 5 - 5 に示すとおりその多くをトラックが占めている。

〔表 5 - 3〕 乗務員に起因する業態別重大事故発生状況

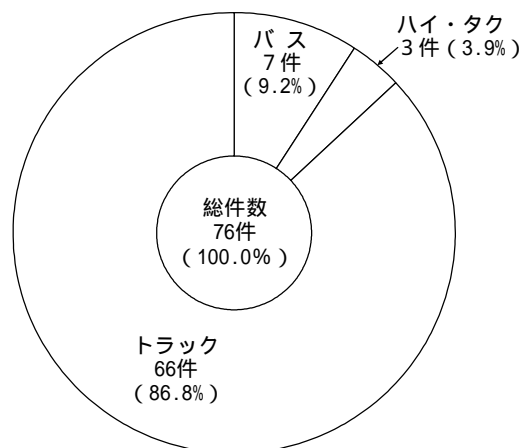
項 目		業 態			合計
		バス	ハイ・タク	トラック	
重大事故件数 (件)		28	7	246	281
死傷状況等	死者数 (人)	5	0	101	106
	重傷者数 (人)	15	7	117	139
	軽傷者数 (人)	125	2	238	365
	計 (人)	145	9	456	610

〔図 5 - 5〕 乗務員に起因する業態別重大事故件数

高速自動車道



自動車専用道路等



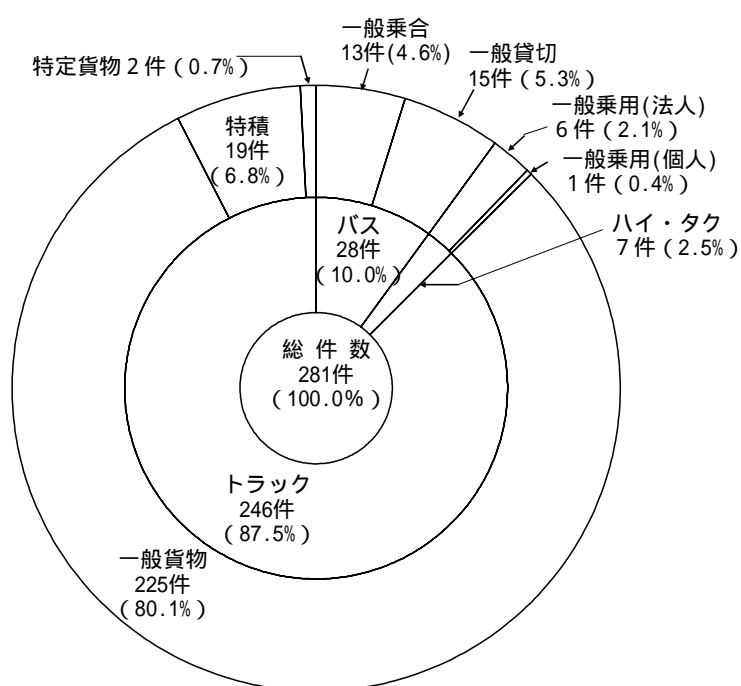
(イ) 事業の種類別発生状況

高速自動車国道及び自動車専用道路等における乗務員に起因する重大事故発生状況を事業の種類別にみると、表5 - 4 及び図5 - 6 に示すとおり、高速自動車国道で 162 件 (79.0%)、自動車専用道路等で 63 件 (82.9%) と、いずれも一般貨物の件数が最も多い。

〔表5 - 4〕 事業の種類別重大事故件数

事業の種類	高速自動車国道	自動車専用道路等	計
一般乗合	10	3	13
一般貸切	11	4	15
一般乗用(法人)	3	3	6
一般乗用(個人)	1	0	1
特積貨物	17	2	19
一般貨物	162	63	225
特定貨物	1	1	2
特定第2種	0	0	0
計	205	76	281

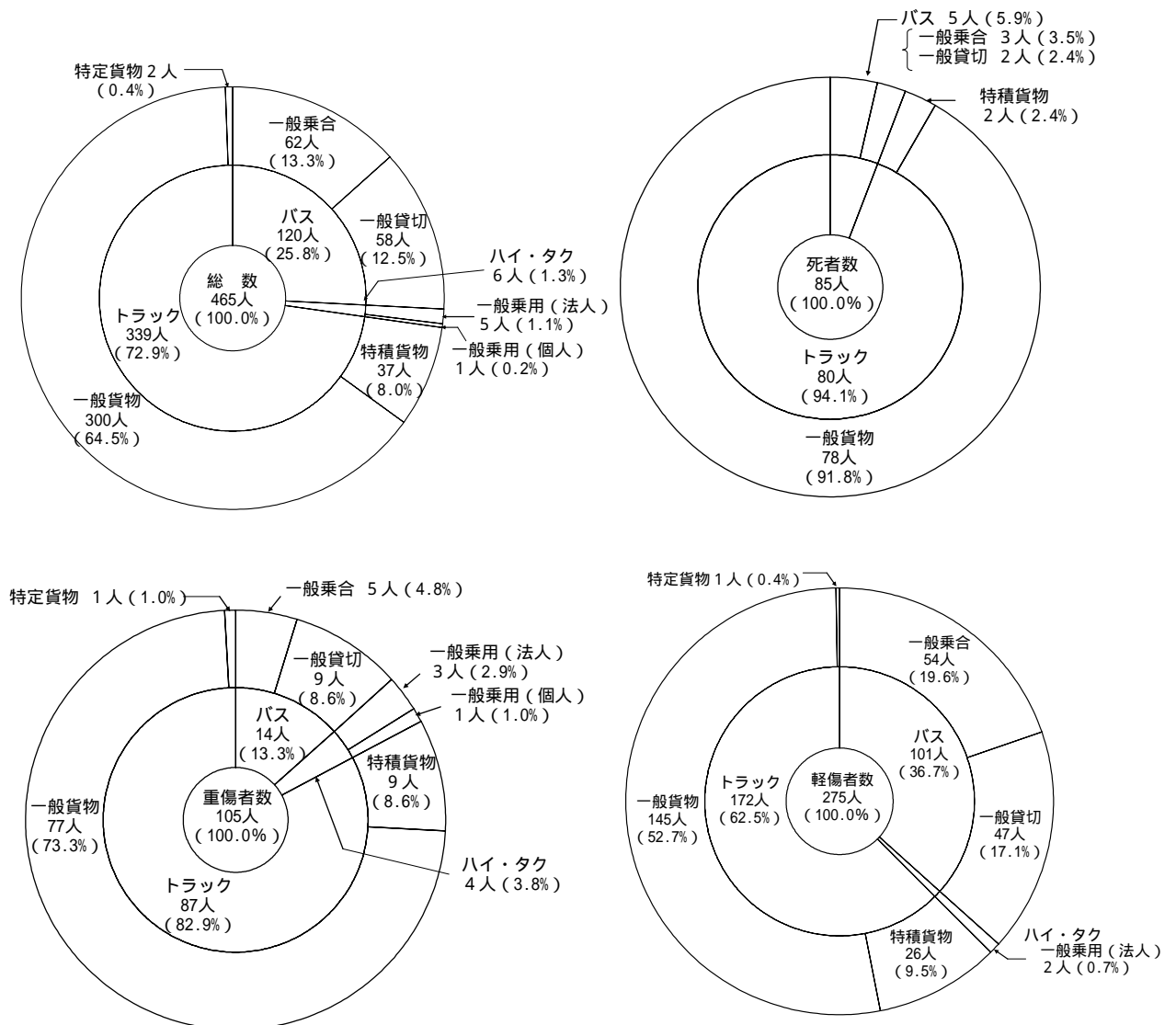
〔図5 - 6〕 事業の種類別重大事故件数



〔表5-5〕 高速自動車国道における事業の種類別死傷者内訳

事業の種類	死者	重傷	軽傷	計
一般乗合	3	5	54	62
一般貸切	2	9	47	58
一般乗用(法人)	0	3	2	5
一般乗用(個人)	0	1	0	1
特積貨物	2	9	26	37
一般貨物	78	77	145	300
特定貨物	0	1	1	2
計	85	105	275	465

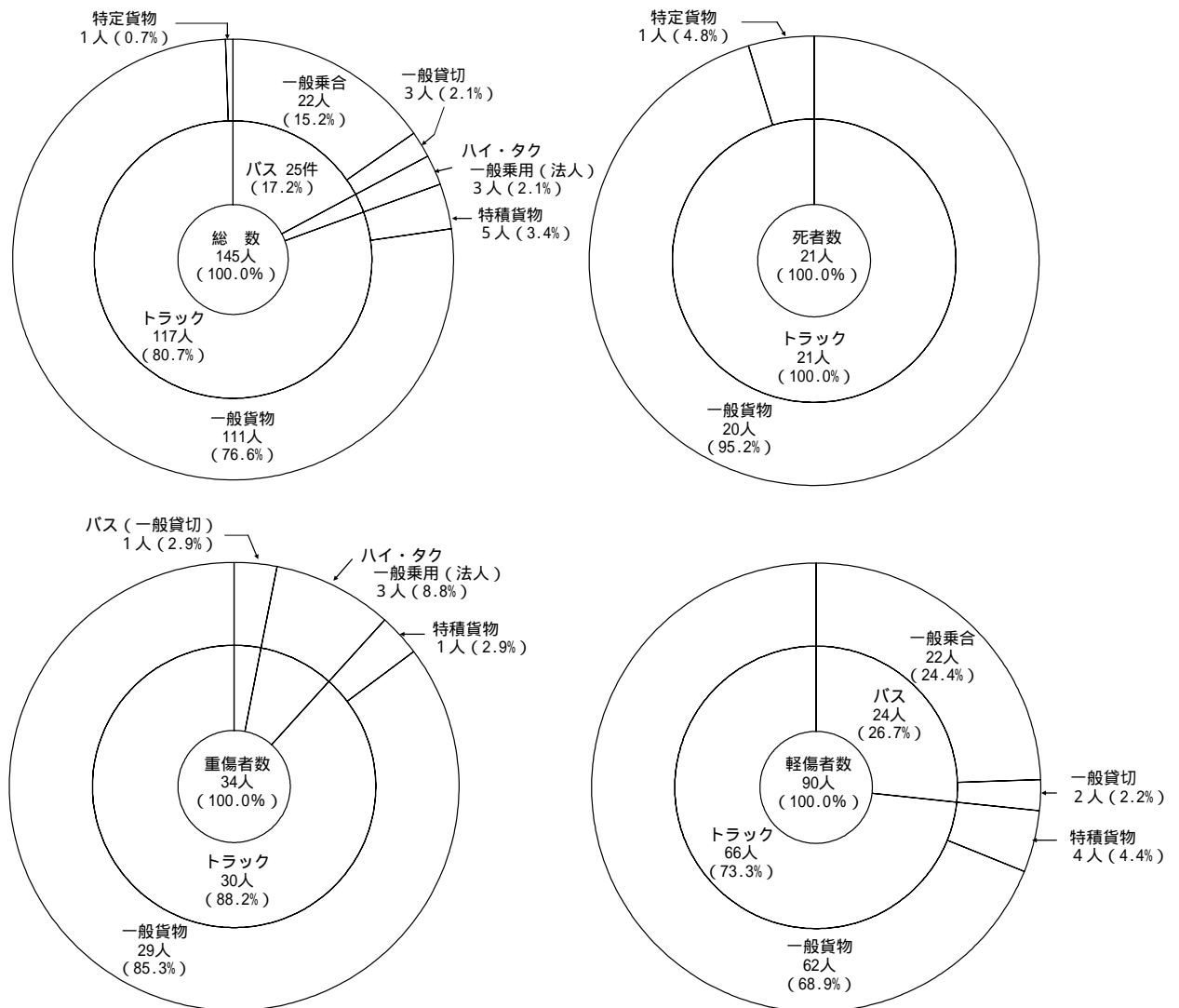
〔図5-7〕 高速自動車国道における業態別死傷者内訳



〔表5 - 6〕 自動車専用道路等における事業の種類別死傷者内訳

事業の種類	死者	重傷	軽傷	計
一般乗合	0	0	22	22
一般貸切	0	1	2	3
一般乗用(法人)	0	3	0	3
一般乗用(個人)	0	0	0	0
特積貨物	0	1	4	5
一般貨物	20	29	62	111
特定貨物	1	0	0	1
計	21	34	90	145

〔図5 - 8〕 自動車専用道路等における業態別死傷者内訳



(ウ) 事故種別発生状況

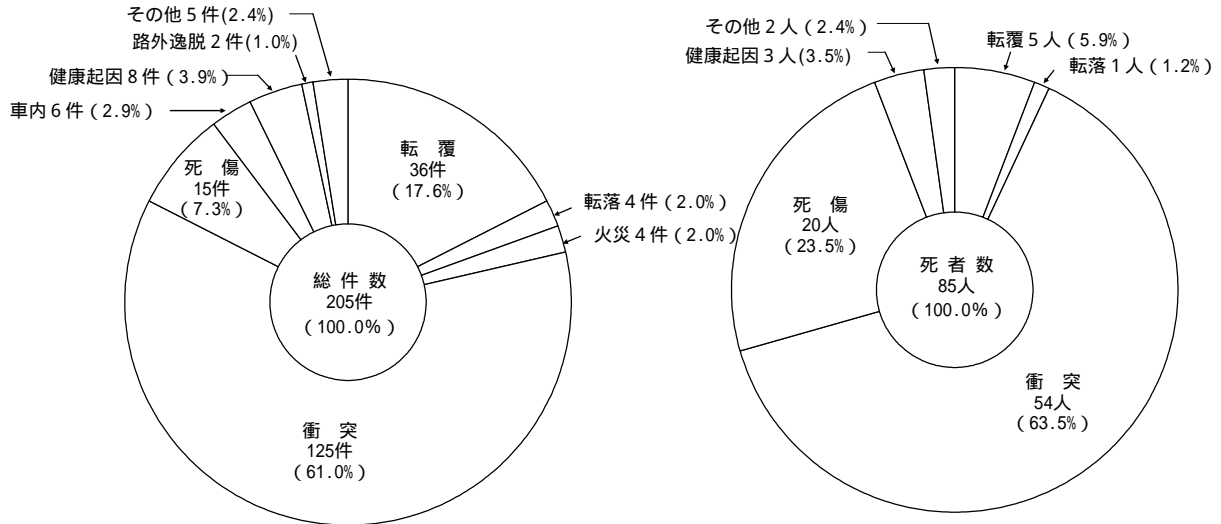
高速自動車国道及び自動車専用道路等における乗務員に起因する重大事故発生状況を事故種別にみると、表5 - 7及び図5 - 9に示すとおりであり、衝突事故が発生件数及び死傷者についても大部分を占めている。

〔表5 - 7〕 事故種別重大事故発生状況

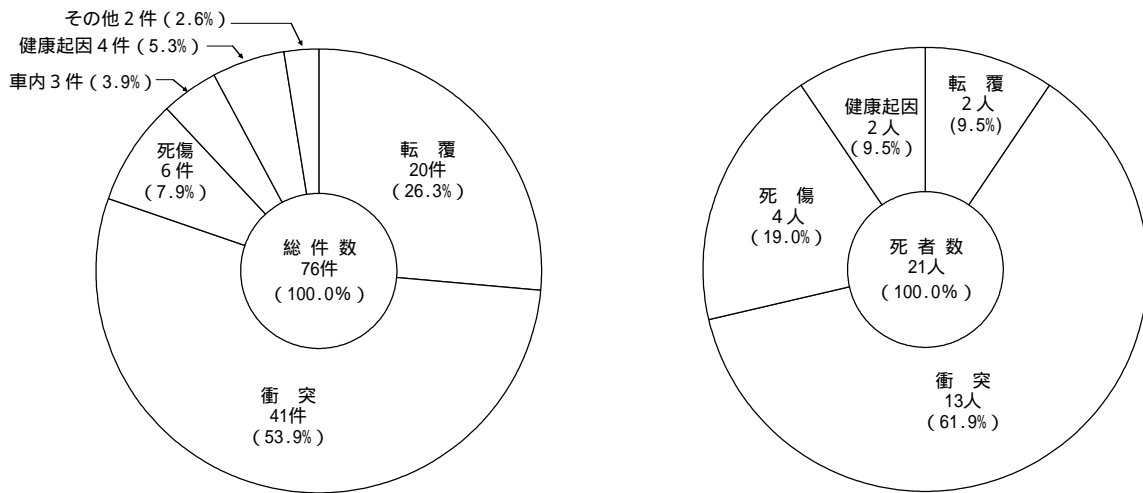
事故種類	項目	高速自動車国道				自動車専用道路等			
		件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
転覆		36	5	8	43	20	2	4	11
転落		4	1	1	2	0	0	0	0
火災		4	0	1	1	0	0	0	0
衝突		125	54	85	216	41	13	27	73
死傷		15	20	2	5	6	4	2	0
車内		6	0	2	4	3	0	0	3
健康起因		8	3	2	0	4	2	1	0
車両故障		0	0	0	0	0	0	0	0
路外逸脱		2	0	1	1	0	0	0	0
危険物等		0	0	0	0	0	0	0	0
その他		5	2	3	3	2	0	0	3
計		205	85	105	275	76	21	34	90

〔図5 - 9〕 事故種別別重大事故発生状況

高速自動車国道



自動車専用道路等

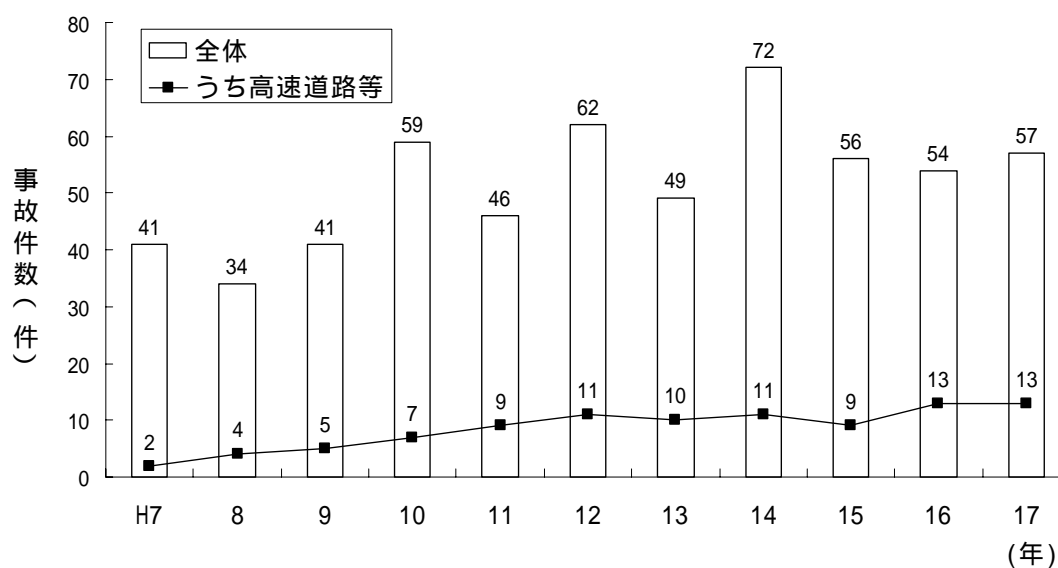


6 . 危険物等積載車両の重大事故

(1) 危険物等積載車両の重大事故発生状況の推移

事業用自動車の危険物運搬車両の重大事故発生状況の推移は図 6 - 1 に示すとおりであり、平成 17 年中の事業用自動車の重大事故のうち危険物等積載車両によるものは 57 件で、重大事故件数の 1.0% を占めている。また、このうち高速道路等においては 13 件で、高速道路等における重大事故件数の 4.6% を占めている。

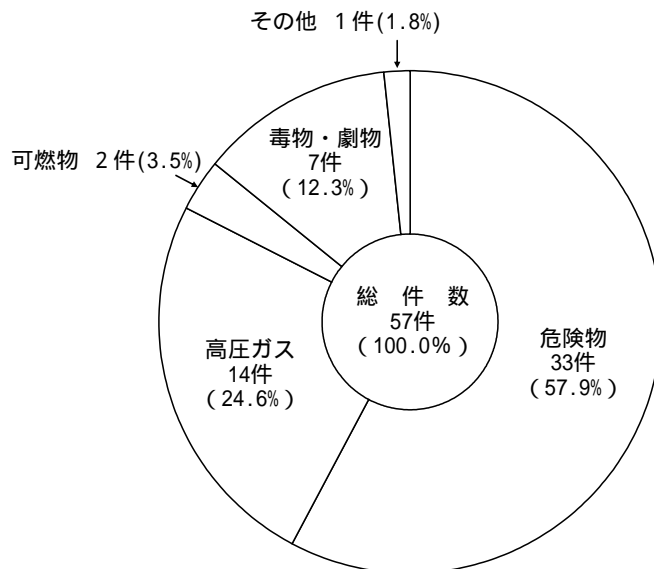
〔図 6 - 1〕 危険物等積載運搬車両の重大事故発生状況の推移



(2) 積載物品重大事故

積載物品重大事故発生状況は、図6-2のとおりであり、危険物が33件で57.9%を占めている。

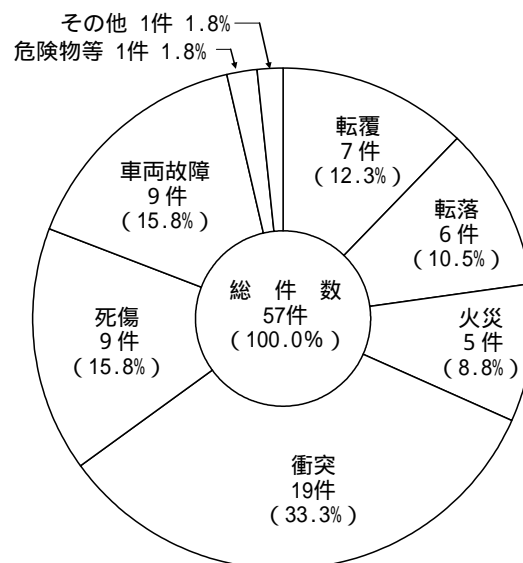
〔図6-2〕 積載危険物等別重大事故発生状況



(3) 事故種別別重大事故

事故種別別重大事故発生状況は、図6-3のとおりであり、衝突が19件と最も多く、次いで死傷、車両故障が9件、転覆7件となっている。

〔図6-3〕 事故種別別重大事故発生状況



7.平成17年中の事業用自動車の主な重大事故、事件例

(1) 旅客

発生日	場所	事業の種類	事業の種類	死傷状況		
				死亡	重傷	軽傷
17.1.18 (14:40)	千代田区皇居外苑 (内堀通り)	一般旅客	衝突	0	0	8
17.3.26 (22:03)	三重県亀山市白木町	一般乗合	衝突	2	0	10
17.4.28	福島県猪苗代町	一般乗合	転覆	3	4	16
17.6.24 (14:15)	横浜市中区 (山下・本牧・磯子線)	一般旅客	車死 内傷	0	1	0
17.7.2 (7:45)	大分県豊後大野市	一般乗合	衝突	0	0	0
17.7.3 (14:35)	北海道旭川市東旭川	貸切旅客	その他 衝突	0	0	1
17.7.24 (20:35)	群馬県高崎市 (国道354号線)	一般乗合	車内	0	1	0
17.8.22 (7時頃)	富山県小矢部市 (北陸自動車道上り)	一般乗合	車両故障	0	0	0
17.1.6	北海道釧路市	一般乗用	覚せい剤	0	0	0
17.9.4 (9:53)	高知市鴨部 (マンション駐車場内)	一般乗用	死傷	1	0	0
17.10.8 (2:28)	東京都文京区大塚	一般乗用	衝突	1	1	2

当時の状況
<p>交差点を右折しようとした際、荷物が床に落下し、その音に驚き振り返ったところ、右前方の中央分離帯に乗り上げ街燈に衝突した。</p>
<p>当該バスと大型トラックが点滅信号のある交差点で出会い頭に衝突し、バスが横転した。バスの乗客2名が死亡。信号はバス側が赤の点滅、トラック側が黄色の点滅であった。</p>
<p>高速バスが高速道路を走行中、運転者が運転席横にある棚の扉を閉めようとして脇見をしたためハンドル操作を誤り、中央分離帯に衝突後横転した。</p>
<p>バス停で降車扱い中、ギアがニュートラルに入っていると思いこみ左足を離したところ、三速に入っていたため車両が振られ、降車中の乗客が左足を取られ歩道上に転倒し、右腕を骨折した。</p>
<p>当該バスは信号を見落とし交差点に進入したため、左方向より走行してきた乗用車の後部と衝突した。バス運転者から酒の臭いがしたので、警察官がアルコール検査をした結果、運転者からアルコールが検出された。</p>
<p>動物園前の急勾配の坂道で停車していたところ、運転者のいないバスが動きだし、駐車中の乗用車2台に衝突した。さらに動物園の鉄製フェンスと電柱を倒し、園内に約300m進入して停車した。事故現場は傾度11度くらいあり、サイドブレーキの引きが足りなかったと思われる。動き出したバスを避けようとした女性が軽傷を負っている。</p>
<p>バス停において乗客を降車させた後に扉を閉めたところ、降車した乗客が持っていたキャリーバックを挟んでしまい、そのまま発車したところ乗客が転倒し、後輪で轢過して重傷を負わせたもの。</p>
<p>SA付近で左後輪タイヤがクリップボルト折損により脱落し、走行車線上で走行不能になった。後部タイヤは左右に2本ずつあり、左側の2本を固定する8本のボルトがすべて折れていた。同日朝の点検では異常はなかった。</p>
<p>タクシー運転者が道路の路肩において、車内で暴れていたのが警察官に職務質問された。その後、警察にて尿検査を受けた結果、覚せい剤の陽性反応が確認された。</p>
<p>乗客4名を降車させた後、乗客のうちの1人（幼児）が車両の後方にいたことに気付かず後退して撥ね、死亡させたもの。</p>
<p>乗客1名を乗せ片側3車線道路を走行中、前方の車両を追い越そうとしたところ、道路工事のためセンターライン寄りの車線に積み上げられていた鉄板に衝突し、工事現場にいた作業員の上に落下させたもの。</p>

(2) 貨物

発生日	場所	事業の種類	事業の種類	死傷状況		
				死亡	重傷	軽傷
17.3.8 (4:15)	島根県江津市 (国道9号線)	一般貨物	横転	0	0	1
17.3.9 (11:07)	山形市片谷地内	一般貨物	その他	0	0	0
17.4.3 (12:7)	茨城県筑西市	一般貨物	死傷	1	0	0
17.4.26	茨城県東美野里町	一般貨物	衝突	0	0	0
17.5.9 (6:50)	東京都江戸川区 (首都高速道路)	一般貨物	転覆	0	0	0
17.5.25 (17:10)	福岡県二丈町 (国道202号線)	一般貨物	固縛不良	0	1	1
17.7.9 (6:20)	埼玉県鶴ヶ島市 (関越自動車道)	一般貨物	衝突 転落	1	0	0
17.7.24 (10:50)	群馬県勢多郡富士見村(県道)	一般貨物	転覆	0	1	0
17.9.21 (4:00)	静岡県焼津市 (東名高速下り焼津IC付近)	一般貨物	衝突	4	0	1
17.10.7 (4:25)	東京都江東区 (首都高速湾岸線下り新木場出入口 付近)	一般貨物	衝突	2	1	0
17.10.28 (1:25)	鳥取市河原町 (国道53号線)	一般貨物	その他	1	1	0
17.12.26 (12:35)	埼玉県川越市新宿町 (国道16号線)	一般貨物	死傷	1	0	0

当時の状況
<p>H形鋼材20tを積載し時速60kmで走行中、右カーブに進入した際、道路の轍にハンドルをとられ横転した。積載物が散乱し、車体が道路をふさいだため、約6時間にわたり全面通行止めとなった。</p>
<p>当該トラック運転者は、交差点を右折しようとした際、トラクタとトレーラの連結部が外れて分離した。</p>
<p>当該運転者は、集合住宅敷地内においてトラックを発車しようとした際、車両の前後確認を怠ったため、車両の前方にいた幼児をはねて死亡させた。</p>
<p>前方の道幅が狭いため、踏切において立ち往生していたトレーラと、特急列車が衝突して先頭車両が脱線した。当時、運転手が酒気帯び状態であったため逮捕された。なお、当該踏切は大型貨物車の通行禁止の踏切であった。</p>
<p>当該トラック運転者は、緩やかな左カーブを曲がろうとハンドルを切ったところ、積み荷が荷崩れを起こし横転し、積み荷のベニヤ板が散乱した。</p>
<p>クレーン車用の重り3個を積んでいたトレーラの荷台から重り2個が落下し、対向車線を走ってきた4tトラックに直撃した。この事故により、相手運転者が重傷を負い、同乗者が軽傷を負った。この事故で荷台に重りを十分に固定しなかったとして、運転手が現行犯逮捕された。</p>
<p>当該トラックは、圏央道から関越に合流するJCTにおいて、左カーブを曲がりきれずにガードレールを突き破り3.5m下の下り線に転落し、本線を走行してきた乗用車と衝突。積み荷のプラスチックパレット約2t分が上下線に散乱し、約18km渋滞した。この事故により当該運転者が死亡している。</p>
<p>当該トラック運転者は、下り勾配の県道を走行中、左カーブを曲がりきれずに転覆した。</p>
<p>当該トラック運転者は、渋滞のため最後尾で止まっていた乗用車に追突し、押し出された乗用車がさらに前方の大型トレーラに追突した。この事故により乗用車の3名と当該運転者が死亡し、トレーラ運転者が軽傷を負った。</p>
<p>当該トラックは高速道路を走行中、路肩に停車中だった高速隊の覆面パトカーに追突した。パトカー内にいた隊員1名と車内で取締りを受けていた男性が車外に投げ出され死亡し、別の隊員が重傷を負った。</p>
<p>当該トレーラは国道を走行中、荷台に積んでいた木材が落下し、対向してきた別のトラックのフロントガラスを突き破り、相手方運転者に直撃した。当該運転者はそのまま現場を離れて逃走したが、後の調べで、事故当時に酒気帯びであったことが発覚している。</p>
<p>当該運転者は、交差点を左折しようとした際、横断歩道を渡っていた自転車乗りを撥ね、トラックを放置してそのまま現場を離れた。</p>

第 2 編 事業用自動車の重大事故統計

第 1 部 事業用自動車の重大事故

第 2 部 高速道路等における重大事故

第 3 部 危険物等積載車両の重大事故

第 4 部 重大事故に係る諸統計

第1部 事業用自動車の重大事故

1. 事故種類別、業態別重大事故発生状況の推移

事故の種類 年及び業態	合計			転覆			転落			路外逸脱			火災			踏切		
	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
バス	419	86	1,121	2	0	17	12	1	100	5	0	18	9	0	0	0	0	0
ハイ・タク	789	113	959	6	0	5	8	3	7	1	0	2	5	0	0	2	2	0
トラック	3,046	1,478	3,029	119	19	80	98	17	62	13	3	8	53	3	11	8	0	49
8年計	4,254	1,677	5,109	127	19	102	118	21	169	19	3	28	67	3	11	10	2	49
バス	467	99	1,268	1	0	18	7	0	111	3	0	24	9	0	1	0	0	0
ハイ・タク	760	131	939	6	1	5	6	1	12	0	0	0	4	0	5	2	0	2
トラック	2,860	1,305	3,116	109	13	98	71	8	54	17	5	8	50	3	10	4	0	21
9年計	4,087	1,535	5,323	116	14	121	84	9	177	20	5	32	63	3	16	6	0	23
バス	420	97	1,130	0	0	0	5	0	15	1	0	1	6	0	0	0	0	0
ハイ・タク	716	129	876	8	0	17	5	1	6	4	1	3	9	0	0	4	1	2
トラック	2,710	1,333	2,725	109	14	80	68	17	40	18	3	13	35	4	5	3	0	7
10年計	3,846	1,559	4,731	117	14	97	78	18	61	23	4	17	50	4	5	7	1	9
バス	395	82	904	1	0	14	7	0	18	3	1	21	11	0	1	0	0	0
ハイ・タク	692	137	853	8	1	14	6	1	5	1	0	1	2	1	0	1	0	0
トラック	2,760	1,318	2,825	143	13	106	94	20	58	23	7	19	45	6	10	10	0	32
11年計	3,847	1,537	4,582	152	14	134	107	21	81	27	8	41	58	7	11	11	0	32
バス	436	77	1,504	4	1	51	4	0	29	2	0	3	15	0	0	0	0	0
ハイ・タク	661	115	801	4	0	8	3	1	3	3	0	2	5	0	2	2	0	0
トラック	2,612	1,301	2,726	150	24	108	92	25	52	9	2	6	53	14	26	7	0	6
12年計	3,709	1,493	5,031	158	25	167	99	26	84	14	2	11	73	14	28	9	0	6
バス	530	70	1,149	0	0	0	9	0	82	1	0	0	25	0	1	0	0	0
ハイ・タク	618	106	737	7	0	10	9	0	21	0	0	0	3	0	1	3	0	2
トラック	2,189	1,177	2,188	151	13	125	86	21	48	3	0	2	53	2	16	10	0	4
13年計	3,337	1,353	4,074	158	13	135	104	21	151	4	0	2	81	2	18	13	0	6
バス	560	79	1,194	1	0	1	7	1	55	3	1	37	15	0	0	0	0	0
ハイ・タク	729	112	835	7	2	7	12	3	6	2	0	4	4	0	1	1	0	0
トラック	2,093	1,132	1,972	127	15	74	74	15	29	16	5	4	56	1	2	3	0	0
14年計	3,382	1,323	4,001	135	17	82	93	19	90	21	6	45	75	1	3	4	0	0
バス	659	84	1,374	3	0	55	11	0	69	0	0	0	14	0	1	1	0	0
ハイ・タク	803	123	951	8	0	14	6	0	7	5	1	5	0	0	0	1	0	0
トラック	2,257	1,125	2,306	125	14	93	80	9	40	6	2	5	60	2	6	9	0	8
15年計	3,719	1,332	4,631	136	14	162	97	9	116	11	3	10	74	2	7	11	0	8
バス	667	72	1,126	3	0	27	4	0	5	2	1	27	28	0	0	0	0	0
ハイ・タク	736	104	848	8	0	9	6	0	8	1	0	1	4	0	0	0	0	0
トラック	2,277	1,073	2,040	151	12	104	72	10	33	9	2	5	104	2	2	4	0	4
16年計	3,680	1,249	4,014	162	12	140	82	10	46	12	3	33	136	2	2	4	0	4
バス	2,369	75	1,347	2	3	41	5	0	22	4	0	1	19	0	1	0	0	0
ハイ・タク	757	108	867	8	0	11	13	0	15	1	0	3	9	1	2	0	0	0
トラック	2,563	1,099	2,268	187	15	146	70	5	40	12	1	4	120	2	12	9	0	12
17年計	5,689	1,282	4,482	197	18	198	88	5	77	17	1	8	148	3	15	9	0	12

衝突			車内			死傷			健康起因			危険物等			車両故障			その他			
件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	
192	53	770	90	0	118	105	30	87										4	2	11	8年
414	49	641	1	0	1	347	58	299										5	1	4	
2,018	1,011	2,474	0	0	0	720	418	333										17	7	12	
2,624	1,113	3,885	91	0	119	1,172	506	719										26	10	27	
245	59	923	89	0	90	108	39	99										5	1	2	9年
409	69	627	2	0	2	322	58	280										9	2	6	
1,928	931	2,565	0	0	0	663	337	352										18	8	8	
2,582	1,059	4,115	91	0	92	1,093	434	731										32	11	16	
211	67	914	91	1	113	101	28	82										5	1	5	10年
374	77	572	4	0	4	303	49	267										5	0	5	
1,817	933	2,251	0	0	0	637	356	306										23	6	23	
2,402	1,077	3,737	95	1	117	1,041	433	655										33	7	33	
195	52	669	86	0	113	87	28	63										5	1	5	11年
376	62	595	1	1	0	289	69	232										8	2	6	
1,832	922	2,301	0	0	0	588	339	279										25	11	20	
2,403	1,036	3,565	87	1	113	964	436	574										38	14	31	
235	52	1,252	84	0	101	83	24	64										9	0	4	12年
365	63	544	3	0	3	272	50	237										4	1	2	
1,711	904	2,247	0	0	0	567	324	271										23	8	10	
2,311	1,019	4,043	87	0	104	922	398	572										36	9	16	
172	41	727	212	0	249	102	29	81	3	0	5	0	0	0	1	0	0	5	0	4	13年
351	52	501	3	0	2	228	49	188	8	5	5	0	0	0	0	0	0	6	0	7	
1,353	808	1,768	0	0	0	503	321	211	5	5	3	1	0	2	6	0	5	18	7	4	
1,876	901	2,996	215	0	251	833	399	480	16	10	13	1	0	2	7	0	5	29	7	15	
173	53	714	235	0	299	103	24	85	12	0	1	0	0	0	7	0	0	4	0	2	14年
358	57	495	8	0	8	308	46	280	16	4	28	0	0	0	1	0	0	12	0	6	
1,289	780	1,612	0	0	0	468	307	190	8	6	9	3	0	1	26	1	6	23	2	45	
1,820	890	2,821	243	0	307	879	377	555	36	10	38	3	0	1	34	1	6	39	2	53	
180	55	775	291	1	353	117	26	99	18	2	13	0	0	0	14	0	0	10	0	9	15年
393	55	577	14	0	17	346	59	315	18	7	9	0	0	0	1	0	0	11	1	7	
1,391	763	1,891	0	0	0	532	323	232	12	8	11	3	0	0	21	1	5	18	3	15	
1,964	873	3,243	305	1	370	995	408	646	48	17	33	3	0	0	36	1	5	39	4	31	
172	43	557	300	0	381	103	25	105	27	3	19	0	0	0	25	0	4	3	0	1	16年
369	42	518	15	0	16	306	51	271	20	11	19	0	0	0	0	0	0	7	0	6	
1,276	716	1,601	0	0	0	541	317	249	13	9	25	4	0	1	94	2	9	9	3	7	
1,817	801	2,676	315	0	397	950	393	625	60	23	63	4	0	1	119	2	13	19	3	14	
201	47	709	364	0	459	116	22	103	22	2	3	0	0	0	1,631	0	6	5	1	2	17年
356	35	528	20	0	23	319	62	268	19	10	11	0	0	0	6	0	0	6	0	6	
1,310	675	1,699	0	0	0	601	372	284	16	13	27	1	0	0	200	2	18	37	14	26	
1,867	757	2,936	384	0	482	1,036	456	655	57	25	41	1	0	0	1,837	2	24	48	15	34	

2. 重大事故の原因大別構成の推移

年	原因 業態	車両故障に起因するもの		乗務員に起因するもの		その他の原因に起因するもの(被害者の不注意、道路の不良等)	
		件数	%	件数	%	件数	%
8年	バス	6	1.4	199	47.5	214	51.1
	ハイ・タク	3	0.4	457	57.9	329	41.7
	トラック	31	1.0	1,651	54.2	1,364	44.8
	8年計	40	0.9	2,307	54.2	1,907	44.8
9年	バス	11	2.4	213	45.6	243	52.0
	ハイ・タク	1	0.1	459	60.4	300	39.5
	トラック	26	0.9	1,634	57.1	1,200	42.0
	9年計	38	0.9	2,306	56.4	1,743	42.6
10年	バス	8	1.9	202	48.1	210	50.0
	ハイ・タク	6	0.8	414	57.8	296	41.3
	トラック	29	1.1	1,544	57.0	1,137	42.0
	10年計	43	1.1	2,160	56.2	1,643	42.7
11年	バス	10	2.5	187	47.3	198	50.1
	ハイ・タク	1	0.1	411	59.4	280	40.5
	トラック	27	1.0	1,567	56.8	1,166	42.2
	11年計	38	1.0	2,165	56.3	1,644	42.7
12年	バス	17	3.9	201	46.1	218	50.0
	ハイ・タク	3	0.5	371	56.1	287	43.4
	トラック	41	1.6	1,498	57.4	1,073	41.1
	12年計	61	1.6	2,070	55.8	1,578	42.5
13年	バス	24	4.5	291	54.9	215	40.6
	ハイ・タク	0	0.0	343	55.5	275	44.5
	トラック	27	1.2	1,167	53.3	995	45.5
	13年計	51	1.5	1,801	54.0	1,485	44.5
14年	バス	18	3.2	302	53.9	240	42.9
	ハイ・タク	3	0.4	434	59.5	292	40.1
	トラック	58	2.8	1,141	54.5	894	42.7
	14年計	79	2.3	1,877	55.5	1,426	42.2
15年	バス	18	2.7	400	60.7	241	36.6
	ハイ・タク	1	0.1	552	68.7	250	31.1
	トラック	45	2.0	1,331	59.0	881	39.0
	15年計	64	1.7	2,283	61.4	1,372	36.9
16年	バス	44	6.6	373	55.9	250	37.5
	ハイ・タク	0	0.0	482	65.5	254	34.5
	トラック	149	6.5	1,285	56.4	843	37.1
	16年計	193	5.2	2,140	58.2	1,347	36.6
17年	バス	1,648	69.6	414	17.5	307	13.0
	ハイ・タク	10	1.3	502	66.3	245	32.4
	トラック	275	10.7	1,394	54.4	894	34.9
	17年計	1,933	34.0	2,310	40.6	1,446	25.4

3. 業態別重大事故発生状況等

年	業態	件数	死者数	負
				重傷
8年	バス	419	86	328
	ハイ・タク	789	113	720
	トラック	3,046	1,478	1,670
	計	4,254	1,677	2,718
9年	バス	467	99	337
	ハイ・タク	760	131	689
	トラック	2,860	1,305	1,592
	計	4,087	1,535	2,618
10年	バス	420	97	330
	ハイ・タク	716	129	622
	トラック	2,710	1,333	1,453
	計	3,846	1,559	2,405
11年	バス	395	82	267
	ハイ・タク	692	137	623
	トラック	2,760	1,318	1,474
	計	3,847	1,537	2,364
12年	バス	436	77	338
	ハイ・タク	661	115	579
	トラック	2,612	1,301	1,367
	計	3,709	1,493	2,284
13年	バス	530	70	351
	ハイ・タク	618	106	539
	トラック	2,189	1,177	1,080
	計	3,337	1,353	1,970
14年	バス	560	79	392
	ハイ・タク	729	112	633
	トラック	2,093	1,132	988
	計	3,382	1,323	2,013
15年	バス	659	84	424
	ハイ・タク	803	123	670
	トラック	2,257	1,125	1,144
	計	3,719	1,332	2,238
16年	バス	667	72	358
	ハイ・タク	736	104	620
	トラック	2,277	1,073	1,076
	計	3,680	1,249	2,054
17年	バス	2,369	75	444
	ハイ・タク	757	108	640
	トラック	2,563	1,099	1,112
	計	5,689	1,282	2,196

(注)1. 事業用自動車数は、国土交通省被けん引車は除かれている。
2. 年間総走行キロは、国土交通省

の推移

傷者数		1,000台当たり			1億走行キロ当たり			重大事故100件当たり					事業用 自動車数	年間総 走行キロ (1,000km)
軽傷	計	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	死者	負傷者数					
									重傷	軽傷	計			
793	1,121	4.4	0.9	11.8	9.3	1.9	24.8	20.5	78.3	189.3	267.5	95,167	4,520,198	
239	959	3.1	0.4	3.7	4.5	0.6	5.4	14.3	91.3	30.3	121.5	255,894	17,626,132	
1,359	3,029	2.7	1.3	2.7	4.8	2.3	4.8	48.5	54.8	44.6	99.4	1,133,592	63,134,652	
2,391	5,109	2.9	1.1	3.4	5.0	2.0	6.0	39.4	63.9	56.2	120.1	1,484,653	85,280,982	
931	1,268	4.9	1.0	13.4	10.4	2.2	28.2	21.2	72.2	199.4	271.5	94,959	4,500,144	
250	939	3.0	0.5	3.7	4.4	0.8	5.5	17.2	90.7	32.9	123.6	256,250	17,185,136	
1,524	3,116	2.4	1.1	2.7	4.5	2.0	4.9	45.6	55.7	53.3	109.0	1,169,994	63,955,667	
2,705	5,323	2.7	1.0	3.5	4.8	1.8	6.2	37.6	64.1	66.2	130.2	1,521,203	85,640,947	
800	1,130	4.4	1.0	11.8	9.3	2.2	25.1	23.1	78.6	190.5	269.0	95,725	4,494,112	
254	876	2.8	0.5	3.4	4.3	0.8	5.2	18.0	86.9	35.5	122.3	258,021	16,773,376	
1,272	2,725	2.3	1.1	2.3	4.3	2.1	4.3	49.2	53.6	46.9	100.6	1,185,399	63,225,010	
2,326	4,731	2.5	1.0	3.1	4.6	1.8	5.6	40.5	62.5	60.5	123.0	1,539,145	84,492,498	
637	904	4.1	0.9	9.4	8.7	1.8	20.0	20.8	67.6	161.3	228.9	96,001	4,514,751	
230	853	2.7	0.5	3.3	4.2	0.8	5.2	19.8	90.0	33.2	123.3	257,792	16,444,400	
1,351	2,825	2.3	1.1	2.4	4.2	2.0	4.3	47.8	53.4	48.9	102.4	1,187,141	65,641,366	
2,218	4,582	2.5	1.0	3.0	4.4	1.8	5.3	40.0	61.5	57.7	119.1	1,540,934	86,600,517	
1,166	1,504	4.5	0.8	15.5	9.6	1.7	33.2	17.7	77.5	267.4	345.0	96,908	4,525,733	
222	801	2.6	0.4	3.1	4.0	0.7	4.9	17.4	87.6	33.6	121.2	256,845	16,429,964	
1,359	2,726	2.2	1.1	2.3	3.8	1.9	3.9	49.8	52.3	52.0	104.4	1,202,813	69,203,737	
2,747	5,031	2.4	1.0	3.2	4.1	1.7	5.6	40.3	61.6	74.1	135.6	1,556,566	90,159,434	
798	1,149	5.3	0.7	11.6	11.6	1.5	25.1	13.2	66.2	150.6	216.8	99,131	4,574,046	
198	737	2.4	0.4	2.9	3.8	0.7	4.6	17.2	87.2	32.0	119.3	256,049	16,091,037	
1,108	2,188	1.8	1.0	1.8	3.2	1.7	3.2	53.8	49.3	50.6	100.0	1,220,350	69,344,313	
2,104	4,074	2.1	0.9	2.6	3.7	1.5	4.5	40.5	59.0	63.1	122.1	1,575,530	90,009,396	
802	1,194	5.6	0.8	11.8	12.1	1.7	25.8	14.1	70.0	143.2	213.2	100,830	4,619,942	
202	835	2.8	0.4	3.2	4.5	0.7	5.2	15.4	86.8	27.7	114.5	260,178	16,174,335	
984	1,972	1.7	0.9	1.6	3.0	1.6	2.8	54.1	47.2	47.0	94.2	1,215,170	70,652,403	
1,988	4,001	2.1	0.8	2.5	3.7	1.4	4.4	39.1	59.5	58.8	118.3	1,576,178	91,446,680	
950	1,374	6.5	0.8	13.5	14.1	1.8	29.3	12.7	64.3	144.2	208.5	102,034	4,683,120	
281	951	3.0	0.5	3.6	5.0	0.8	5.9	15.3	83.4	35.0	118.4	263,894	16,099,999	
1,162	2,306	1.9	0.9	1.9	3.1	1.5	3.2	49.8	50.7	51.5	102.2	1,216,090	72,897,444	
2,393	4,631	2.4	0.8	2.9	4.0	1.4	4.9	35.8	60.2	64.3	124.5	1,582,018	93,680,563	
768	1,126	6.4	0.7	10.9	14.1	1.5	23.8	10.8	53.7	115.1	168.8	103,633	4,726,792	
228	848	2.7	0.4	3.2	4.8	0.7	5.5	14.1	84.2	31.0	115.2	267,674	15,404,983	
964	2,040	1.9	0.9	1.7	3.2	1.5	2.8	47.1	47.3	42.3	89.6	1,225,970	71,606,634	
1,960	4,014	2.3	0.8	2.5	4.0	1.4	4.4	33.9	55.8	53.3	109.1	1,597,277	91,738,409	
903	1,347	22.5	0.7	12.8	49.4	1.6	28.1	3.2	18.7	38.1	56.9	105,150	4,792,775	
227	867	2.8	0.4	3.2	5.0	0.7	5.7	14.3	84.5	30.0	114.5	271,291	15,252,520	
1,156	2,268	2.1	0.9	1.8	3.6	1.6	3.2	42.9	43.4	45.1	88.5	1,247,886	70,828,793	
2,286	4,482	3.5	0.8	2.8	6.3	1.4	4.9	22.5	38.6	40.2	78.8	1,624,327	90,874,088	

自動車交通局技術安全部管理課調べによる各年6月末日現在の数を示し、トラックには特種(殊)車を含み、

総合政策局情報管理部資料による。

4. 業態別原因別重大事故発生状況

業 態		バス	構成比 (%)	ハイ・タク	構成比 (%)	トラック	構成比 (%)	計	構成比 (%)
原 因									
乗 務 員 に 起 因 す る も の	【乗務員の状態】								
	・ 資格要件に関する政令違反（無免許）	0	0.0%	0	0.0%	6	0.4%	6	0.3%
	・ 居眠運転	0	0.0%	2	0.4%	31	2.2%	33	1.4%
	・ 飲酒時の運転	3	0.7%	6	1.2%	40	2.9%	49	2.1%
	・ その他	1	0.2%	2	0.4%	13	0.9%	16	0.7%
	【運転操作】								
	・ 発車時の安全確認の不良又は不履行	107	25.8%	20	4.0%	23	1.6%	150	6.5%
	・ 歩行者に対する不注意	22	5.3%	104	20.7%	168	12.1%	294	12.7%
	・ 安全速度の不履行	5	1.2%	8	1.6%	85	6.1%	98	4.2%
	・ 車間距離不適切	13	3.1%	1	0.2%	33	2.4%	47	2.0%
	・ 漫然運転	17	4.1%	16	3.2%	121	8.7%	154	6.7%
	・ 脇見運転	13	3.1%	23	4.6%	242	17.4%	278	12.0%
	・ 信号無視	4	1.0%	16	3.2%	59	4.2%	79	3.4%
	・ 制動操作不適切	43	10.4%	5	1.0%	9	0.6%	57	2.5%
	・ 左折、右折不適切	31	7.5%	107	21.3%	149	10.7%	287	12.4%
	・ 一時停止又は徐行不履行	5	1.2%	30	6.0%	28	2.0%	63	2.7%
	・ 運転操作粗暴	2	0.5%	0	0.0%	7	0.5%	9	0.4%
	・ 追越不適切	7	1.7%	2	0.4%	33	2.4%	42	1.8%
	・ 悪路における運転操作不適切	5	1.2%	11	2.2%	28	2.0%	44	1.9%
	・ 後退方法不適切	2	0.5%	9	1.8%	18	1.3%	29	1.3%
	・ 最高速度制限の不履行	2	0.5%	28	5.6%	64	4.6%	94	4.1%
	・ 運転者の健康状態	26	6.3%	20	4.0%	18	1.3%	64	2.8%
	・ 駐車操作不適切	3	0.7%	1	0.2%	8	0.6%	12	0.5%
	・ 積載物固縛不良等	0	0.0%	0	0.0%	22	1.6%	22	1.0%
	・ 下り坂運転不注意	0	0.0%	0	0.0%	14	1.0%	14	0.6%
	・ 携帯電話の操作	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%	2	0.1%
	・ 停留所における停車方法の不適切	17	4.1%	0	0.0%	0	0.0%	17	0.7%
・ 乗降口扉の開閉不適切（ワンマン）	32	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	32	1.4%	
・ 乗降口扉の開閉不適切（車掌）	5	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	5	0.2%	
・ その他	49	11.8%	91	18.1%	173	12.4%	313	13.5%	
小 計		414	100.0%	502	100.0%	1,394	100.0%	2,310	100.0%
相 手 側	【歩行者等】	63		95		136		294	
	【他の車両の不注意】	170		132		657		959	
	【その他】	25		5		31		61	
	小 計	258		232		824		1,314	
	旅客	38		1		0		39	
	車両故障	1,648		10		275		1,933	
	道路	0		2		5		7	
	その他	11		10		65		86	
	総 合 計	2,369		757		2,563		5,689	

5. 事故種類別、事業種類別、重大事故発生状況

事故種類 事業種類	転 覆				転 落			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	1	3	4	21	1	0	4	9
貸切旅客	1	0	0	16	4	0	0	9
乗用旅客(法人)	7	0	1	8	11	0	4	5
乗用旅客(個人)	1	0	0	2	2	0	1	5
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	9	1	1	11	4	0	0	3
一般貨物	174	14	25	107	66	5	7	30
特定貨物	4	0	0	2	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	197	18	31	167	88	5	16	61

事故種類 事業種類	衝 突				車 内			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	132	27	100	291	354	0	166	279
貸切旅客	66	19	62	251	10	0	7	7
乗用旅客(法人)	340	34	341	158	20	0	8	15
乗用旅客(個人)	16	1	21	8	0	0	0	0
特定旅客	3	1	2	3	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	52	19	38	40	0	0	0	0
一般貨物	1,250	653	769	842	0	0	0	0
特定貨物	8	3	4	6	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,867	757	1,337	1,599	384	0	181	301

事故種類 事業種類	車 両 故 障				そ の 他			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	1,451	0	0	2	3	1	1	0
貸切旅客	177	0	0	2	2	0	1	0
乗用旅客(法人)	5	0	0	0	6	0	3	3
乗用旅客(個人)	1	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	3	0	0	2	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	24	0	0	3	1	0	0	0
一般貨物	176	2	2	13	36	14	10	16
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,837	2	2	22	48	15	15	19

路外逸脱				火 災				踏 切			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
1	0	0	1	7	0	0	1	0	0	0	0
3	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	3	7	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
11	1	2	2	118	2	4	8	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	1	2	6	148	3	5	10	0	0	0	0

死 傷				健康起因				危険物等			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
96	15	81	6	17	2	1	0	0	0	0	0
20	7	14	2	5	0	1	1	0	0	0	0
297	54	239	15	17	9	6	4	0	0	0	0
22	8	14	0	2	1	1	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	11	13	1	2	0	1	15	0	0	0	0
574	359	234	35	14	13	1	10	1	0	0	0
3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,036	456	596	59	57	25	11	30	1	0	0	0

合 計			
件数	死者	重傷	軽傷
2,063	48	357	610
300	26	85	288
711	97	602	211
46	11	38	16
6	1	2	5
0	0	0	0
119	31	53	77
2,428	1,063	1,054	1,071
16	5	5	8
0	0	0	0
5,689	1,282	2,196	2,286

6. 事故種類別、事業種類別、重大事故発生状況（乗務員に起因するもの）

事故種類 事業種類	転 覆				転 落			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	1	3	4	21	0	0	0	0
貸切旅客	1	0	0	16	3	0	0	6
乗用旅客(法人)	4	0	1	3	11	0	4	5
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	1	0	0	5
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	6	1	1	8	2	0	0	1
一般貨物	134	11	16	73	60	5	7	25
特定貨物	2	0	0	1	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	148	15	22	122	77	5	11	42

事故種類 事業種類	衝 突				車 内			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	36	2	23	93	250	0	118	178
貸切旅客	22	2	21	95	9	0	6	7
乗用旅客(法人)	210	11	212	76	15	0	5	10
乗用旅客(個人)	8	1	9	5	0	0	0	0
特定旅客	1	1	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	28	6	24	27	0	0	0	0
一般貨物	625	233	447	506	0	0	0	0
特定貨物	4	1	3	3	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	934	257	739	805	274	0	129	195

事故種類 事業種類	車 両 故 障				そ の 他			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	0	0	0	0	2	1	0	0
貸切旅客	0	0	0	0	1	0	1	0
乗用旅客(法人)	0	0	0	0	5	0	2	3
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	0	0	0	0	1	0	0	0
一般貨物	0	0	0	0	29	9	9	15
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	38	10	12	18

路外逸脱				火 災				踏 切			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	1	2	2	13	1	2	6	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	1	2	6	13	1	2	6	0	0	0	0

死 傷				健 康 起 因				危 険 物 等			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
52	9	43	4	17	2	1	0	0	0	0	0
11	4	8	1	5	0	1	1	0	0	0	0
214	37	174	12	17	9	6	4	0	0	0	0
14	5	9	0	2	1	1	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	10	11	1	2	0	1	15	0	0	0	0
432	255	191	29	14	13	1	10	0	0	0	0
2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
746	321	437	47	57	25	11	30	0	0	0	0

合 計			
件数	死者	重傷	軽傷
359	17	189	297
54	6	37	126
477	57	404	116
25	7	19	10
1	1	0	0
0	0	0	0
61	17	37	56
1,324	528	675	674
9	2	4	4
0	0	0	0
2,310	635	1,365	1,283

7. 事故種類別の細目別、業態別重大事故件数

(1) 死傷事故(車両の故障に起因するものを除く)

業態	区分	左側通行	右側通行	信号無視	車道通行	歩道通行	横断歩道歩行	車の直前横断	斜横断
	乗務員に起因する	バス	2	0	0	6	1	12	6
ハイ・タク		2	1	5	31	3	65	19	2
トラック		8	1	6	49	7	114	30	8
	合計	12	2	11	86	11	191	55	11
その他	バス	0	0	5	1	0	1	7	0
	ハイ・タク	0	0	21	4	0	5	9	0
	トラック	0	2	12	10	0	5	13	1
	合計	0	2	38	15	0	11	29	1
計	バス	2	0	5	7	1	13	13	1
	ハイ・タク	2	1	26	35	3	70	28	2
	トラック	8	3	18	59	7	119	43	9
	合計	12	4	49	101	11	202	84	12

(2) 転落事故(車両の故障に起因するものを除く)

業態	落差	0.5m以上 ~10m未満	10m以上 ~30m未満	30m以上 ~50m未満	50m以上	計
バス		5	0	0	0	5
ハイ・タク		13	0	0	0	13
トラック		63	7	0	0	70
	合計	81	7	0	0	88

(3) 踏切事故(乗務員に起因するものを除く)

業態	種類	遮断機付	警報機付	その他	計
バス		0	0	0	0
ハイ・タク		0	0	0	0
トラック		5	3	0	8
	合計	5	3	0	8

飛び出し	酩酊	路上作業	路上遊戯	乗降中	安全地帯	自動車運転	その他	計
4	1	0	0	1	0	24	5	63
13	8	1	1	1	0	52	24	228
21	5	14	0	0	0	144	48	455
38	14	15	1	2	0	220	77	746
14	1	0	0	1	0	14	9	53
12	2	0	0	0	0	29	9	91
38	7	1	0	0	0	34	23	146
64	10	1	0	1	0	77	41	290
18	2	0	0	2	0	38	14	116
25	10	1	1	1	0	81	33	319
59	12	15	0	0	0	178	71	601
102	24	16	1	3	0	297	118	1,036

(4) 衝突事故(乗務員に起因するもの)

業態	落差	正面衝突	側面衝突	追突	接触	物件衝突	計
	バス	7	15	24	10	3	59
ハイ・タク	46	97	31	31	13	218	
トラック	106	153	326	41	31	657	
合計	159	265	381	82	47	934	

(5) バス等の車内事故

車内	急ブレーキ	不安定姿勢	バウンド	足をすべらす	カーブ	その他
		114	121	8	7	9
車外	開扉	降車時におされる	その他			
	21	2	18			
合計	384					

第2部 高速道路等における重大事故

1. 高速自動車国道における事故種類別、事業種類別重大事故発生状況

事業種類	事故種類	転 覆			転 落				
		件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客		1	3	4	21	0	0	0	0
貸切旅客		0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(法人)		0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(個人)		0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客		0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客		0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合		4	0	0	4	1	0	0	1
一般貨物		43	2	9	28	4	1	1	3
特定貨物		1	0	0	0	0	0	0	0
特定二種		0	0	0	0	0	0	0	0
計		49	5	13	53	5	1	1	4

事業種類	事故種類	衝 突			車 内				
		件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客		9	9	3	44	5	0	1	4
貸切旅客		10	1	9	71	1	0	0	1
乗用旅客(法人)		4	3	4	4	1	0	1	0
乗用旅客(個人)		1	0	1	0	0	0	0	0
特定旅客		1	0	1	2	0	0	0	0
無償旅客		0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合		17	4	13	27	0	0	0	0
一般貨物		156	83	92	148	0	0	0	0
特定貨物		2	0	1	1	0	0	0	0
特定二種		0	0	0	0	0	0	0	0
計		200	100	124	297	7	0	2	5

事業種類	事故種類	車 両 故 障			そ の 他				
		件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客		210	0	0	0	0	0	0	0
貸切旅客		66	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(法人)		0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(個人)		0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客		1	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客		0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合		16	0	0	0	1	0	0	0
一般貨物		60	1	0	2	6	4	3	4
特定貨物		0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種		0	0	0	0	0	0	0	0
計		353	1	0	2	7	4	3	4

路外逸脱				火 災				踏 切			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
2	0	1	1	43	0	2	2	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	1	1	54	0	2	2	0	0	0	0

死 傷				健康起因				危険物等			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
2	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
19	23	2	6	3	3	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	27	5	6	8	3	2	0	0	0	0	0

合 計			
件数	死者	重傷	軽傷
230	13	9	69
88	3	10	72
7	3	7	4
1	0	1	0
2	0	1	2
0	0	0	0
43	5	14	32
336	117	110	194
3	0	1	1
0	0	0	0
710	141	153	374

2. 高速自動車国道における

事故種類別、事業種類別重大事故発生状況（乗務員に起因するもの）

事業種類	転 覆				転 落			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	1	3	4	21	0	0	0	0
貸切旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(法人)	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	3	0	0	4	1	0	0	1
一般貨物	32	2	4	18	3	1	1	1
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	36	5	8	43	4	1	1	2

事業種類	衝 突				車 内			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	3	0	0	30	4	0	1	3
貸切旅客	8	1	8	46	1	0	0	1
乗用旅客(法人)	1	0	1	2	1	0	1	0
乗用旅客(個人)	1	0	1	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	11	2	8	21	0	0	0	0
一般貨物	100	51	66	116	0	0	0	0
特定貨物	1	0	1	1	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	125	54	85	216	6	0	2	4

事業種類	車 両 故 障				そ の 他			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
貸切旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(法人)	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	0	0	0	0	1	0	0	0
一般貨物	0	0	0	0	4	2	3	3
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	5	2	3	3

路外逸脱				火 災				踏 切			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	1	1	4	0	1	1	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	1	1	4	0	1	1	0	0	0	0

死 傷				健 康 起 因				危 険 物 等			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
14	19	1	5	3	3	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	20	2	5	8	3	2	0	0	0	0	0

合 計			
件数	死者	重傷	軽傷
10	3	5	54
11	2	9	47
3	0	3	2
1	0	1	0
0	0	0	0
0	0	0	0
17	2	9	26
162	78	77	145
1	0	1	1
0	0	0	0
205	85	105	275

3. 自動車専用道路等における

事故種類別、事業種類別、重大事故発生状況

事業種類	転 覆				転 落			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
貸切旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(法人)	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	1	0	0	2	0	0	0	0
一般貨物	21	2	4	12	1	0	0	0
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	22	2	4	14	1	0	0	0

事業種類	衝 突				車 内			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	2	0	0	21	3	0	1	2
貸切旅客	2	0	1	3	3	0	1	2
乗用旅客(法人)	5	2	3	1	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	1	0	1	2	0	0	0	0
一般貨物	59	32	39	77	0	0	0	0
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	69	34	44	104	6	0	2	4

事業種類	車 両 故 障				そ の 他			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	39	0	0	0	0	0	0	0
貸切旅客	7	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(法人)	1	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	1	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	1	0	0	0	0	0	0	0
一般貨物	11	1	1	2	2	0	0	3
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	60	1	1	2	2	0	0	3

路外逸脱				火 災				踏 切			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0

死 傷				健康起因				危険物等			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	5	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	7	2	0	4	2	1	0	0	0	0	0

合 計			
件数	死者	重傷	軽傷
45	1	1	23
14	0	3	5
6	2	3	1
1	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
3	0	1	4
112	42	46	94
1	1	0	0
0	0	0	0
182	46	54	127

4. 自動車専用道路等における

事故種類別、事業種類別、重大事故発生状況（乗務員に起因するもの）

事業種類	転 覆				転 落			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
貸切旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(法人)	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	1	0	0	2	0	0	0	0
一般貨物	19	2	4	9	0	0	0	0
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	2	4	11	0	0	0	0

事業種類	衝 突				車 内			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	2	0	0	21	1	0	0	1
貸切旅客	0	0	0	0	2	0	0	2
乗用旅客(法人)	3	0	3	0	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	1	0	1	2	0	0	0	0
一般貨物	35	13	23	50	0	0	0	0
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	41	13	27	73	3	0	0	3

事業種類	車 両 故 障				そ の 他			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
貸切旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(法人)	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	0	0	0	0	0	0	0	0
一般貨物	0	0	0	0	2	0	0	3
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	2	0	0	3

第3部 危険物等積載車両の重大事故

積載危険物等別、事故原因別、事故種類別、重大事故発生状況

業態	事故種類	積 載 危 険					
		危険物	毒劇物	火薬	高压ガス	可燃物	核
高速自動車国道	転覆	3	1	0	0	0	0
	転落	1	0	0	0	0	0
	路外逸脱	0	0	0	0	0	0
	火災	1	0	0	0	2	0
	踏切	0	0	0	0	0	0
	衝突	0	0	0	1	0	0
	車内	0	0	0	0	0	0
	死傷	0	0	0	0	0	0
	健康起因	0	0	0	0	0	0
	危険物等	0	0	0	0	0	0
	車両故障その他	2	1	0	1	0	0
合計	7	2	0	2	2	0	
自動車専用道路等	転覆	0	0	0	0	0	0
	転落	0	0	0	0	0	0
	路外逸脱	0	0	0	0	0	0
	火災	0	0	0	0	0	0
	踏切	0	0	0	0	0	0
	衝突	0	0	0	1	0	0
	車内	0	0	0	0	0	0
	死傷	0	0	0	0	0	0
	健康起因	0	0	0	0	0	0
	危険物等	0	0	0	0	0	0
	車両故障その他	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	1	0	0	
その他の道路	転覆	3	0	0	0	0	0
	転落	2	1	0	2	0	0
	路外逸脱	0	0	0	0	0	0
	火災	1	1	0	0	0	0
	踏切	1	0	0	0	0	0
	衝突	8	1	0	7	0	0
	車内	0	0	0	0	0	0
	死傷	6	1	0	0	0	0
	健康起因	0	0	0	0	0	0
	危険物等	0	1	0	0	0	0
	車両故障その他	2	0	0	1	0	0
合計	23	5	0	10	0	0	

物 等			事 故 原 因			
R I	その他	計	乗務員	車両故障	その他	計
0	0	4	4	0	0	4
0	0	1	1	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0
0	0	3	1	2	0	3
0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	1	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	4	0	4	0	4
0	0	0	0	0	0	0
0	0	13	7	6	0	13
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	1	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	1	0	0	1
0	0	3	1	0	2	3
0	0	5	5	0	0	5
0	0	0	0	0	0	0
0	0	2	0	2	0	2
0	0	1	1	0	0	1
0	1	17	8	0	9	17
0	0	0	0	0	0	0
0	0	7	6	0	1	7
0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	0	0	1	1
0	0	3	0	3	0	3
0	0	0	0	0	0	0
0	1	39	21	5	13	39

業態	事故種類	積 載 危 険					
		危険物	毒劇物	火薬	高压ガス	可燃物	核
その他の場所	転覆	0	0	0	0	0	0
	転落	0	0	0	0	0	0
	路外逸脱	0	0	0	0	0	0
	火災	0	0	0	0	0	0
	踏切	0	0	0	0	0	0
	衝突	0	0	0	0	0	0
	車内	0	0	0	0	0	0
	死傷	1	0	0	1	0	0
	健康起因	0	0	0	0	0	0
	危険物等	0	0	0	0	0	0
	車両故障	2	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	
	合計	3	0	0	1	0	0
合計	転覆	6	1	0	0	0	0
	転落	3	1	0	2	0	0
	路外逸脱	0	0	0	0	0	0
	火災	2	1	0	0	2	0
	踏切	1	0	0	0	0	0
	衝突	8	1	0	9	0	0
	車内	0	0	0	0	0	0
	死傷	7	1	0	1	0	0
	健康起因	0	0	0	0	0	0
	危険物等	0	1	0	0	0	0
	車両故障	6	1	0	2	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	
	合計	33	7	0	14	2	0
構成比		57.9	12.3	0.0	24.6	3.5	0.0

物 等			事 故 原 因			
R I	その他	計	乗務員	車両故障	その他	計
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	2	2	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	2	0	2	0	2
0	0	0	0	0	0	0
0	0	4	2	2	0	4
0	0	7	5	0	2	7
0	0	6	6	0	0	6
0	0	0	0	0	0	0
0	0	5	1	4	0	5
0	0	1	1	0	0	1
0	1	19	10	0	9	19
0	0	0	0	0	0	0
0	0	9	8	0	1	9
0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	0	0	1	1
0	0	9	0	9	0	9
0	0	0	0	0	0	0
0	1	57	31	13	13	57
0.0	1.8	100.0	54.4	22.8	22.8	100.0

第4部 重大事故に係る諸統計

1. 車両故障の係る事故件数等

(1) 車両故障箇所

業態	区分	車 両 故					
		かじ取り 装 置	制動装置	車 車 車 体	車 軸	車 軸 (タイヤ除)	シャシ ば ね
バ ス		20	69	9	3	9	35
ハイ・タク		0	0	0	0	2	0
トラック		1	23	0	25	68	2
計		21	92	9	28	79	37

(2) 損害状況

業態	区分	損 害 状 況			
		件 数	死 者	重 傷	軽 傷
バ ス		1,648	0	0	7
ハイ・タク		10	0	0	1
トラック		275	2	4	19
計		1,933	2	4	27

障 箇 所					
動 力 伝達装置	電気装置	原 動 機	連結装置	その他	計
332	282	328	0	561	1,648
0	4	1	0	3	10
31	12	31	2	80	275
363	298	360	2	644	1,933

2. 重大事故の発生件数の推移

年	項目 件数 (件)	業 態			死 者 (人)	負傷者 (人)
		バ ス	ハイ・タク	トラック		
昭和24	482	-	-	-	-	-
25	465	-	-	-	-	-
26	693	-	-	-	440	2,020
27	1,114	-	-	-	496	2,275
28	1,118	-	-	-	440	2,579
29	1,101	-	-	-	500	2,862
30	900	427	179	294	408	2,744
31	1,889	663	555	671	722	3,816
32	2,275	798	686	791	735	4,265
33	3,689	1,129	1,606	954	995	5,194
34	4,275	1,327	1,529	1,419	1,217	6,631
35	4,876	1,511	1,581	1,784	1,372	7,204
36	5,362	1,781	1,740	1,841	1,519	8,686
37	5,971	1,936	2,010	2,025	1,559	9,335
38	8,031	2,196	2,773	3,062	1,924	12,131
39	9,982	2,374	3,520	4,088	2,366	13,507
40	10,228	2,353	3,880	3,995	2,254	13,612
41	9,530	2,043	3,717	3,770	2,268	14,270
42	10,934	2,042	4,471	4,421	2,287	17,415
43	11,021	1,860	5,053	4,108	2,307	18,293
44	9,314	1,591	4,326	3,397	2,122	15,965
45	8,058	1,544	3,348	3,166	2,226	15,132
46	7,458	1,389	3,179	2,890	2,024	13,271
47	6,349	1,134	2,573	2,642	1,997	11,437
48	5,628	1,075	2,187	2,366	1,442	9,582
49	5,080	1,022	1,889	2,169	1,422	8,967
50	4,767	920	1,660	2,187	1,439	8,074
51	4,909	902	1,748	2,259	1,325	8,075

年	項目 件数 (件)	業 態			死 者 (人)	負傷者 (人)	
		バ ス	ハイ・タク	トラック			
昭和	52	4,805	876	1,643	2,286	1,322	8,112
	53	4,630	842	1,551	2,237	1,346	7,699
	54	4,941	739	1,732	2,470	1,393	7,586
	55	5,359	756	1,968	2,635	1,286	7,893
	56	5,535	764	2,094	2,677	1,384	8,463
	57	5,595	757	2,082	2,756	1,450	8,643
	58	5,324	710	1,895	2,719	1,390	7,650
	59	5,187	746	1,654	2,787	1,512	7,594
	60	4,872	668	1,510	2,694	1,486	7,101
	61	5,191	642	1,628	2,921	1,572	6,997
	62	4,860	552	1,342	2,966	1,637	6,894
	63	4,736	530	1,265	2,941	1,939	6,311
平成	元	4,668	529	1,204	2,935	1,830	6,135
	2	4,393	473	1,056	2,864	1,848	6,014
	3	4,555	463	1,012	3,080	1,808	5,803
	4	4,712	555	1,055	3,102	1,835	5,888
	5	4,576	494	1,017	3,065	1,795	5,565
	6	4,390	460	954	2,976	1,687	5,450
	7	4,441	492	914	3,035	1,754	5,685
	8	4,254	419	789	3,046	1,677	5,109
	9	4,087	467	760	2,860	1,535	5,323
	10	3,846	420	716	2,710	1,559	4,731
	11	3,847	395	692	2,760	1,537	4,582
	12	3,709	436	661	2,612	1,493	5,031
	13	3,337	530	618	2,189	1,353	4,074
	14	3,382	560	729	2,093	1,323	4,001
	15	3,719	659	803	2,257	1,332	4,631
	16	3,680	667	736	2,277	1,249	4,013
	17	5,689	2,369	757	2,563	1,282	4,482

(注) 負傷者には、重傷者及び軽傷者を含む。

3. 重大事故の原因大別構成の推移

年	項目 件数 (件)	乗務員に起因するもの		車両故障に起因するもの		その他の原因に起因するもの (被害者の不注意、 道路の不良)	
		件数	%	件数	%	件数	%
昭和24	482	190	39.4%	107	22.2%	185	38.4%
25	465	203	43.7%	79	17.0%	183	39.4%
26	693	286	41.3%	105	15.2%	302	43.6%
27	1,114	484	43.4%	123	11.0%	507	45.5%
28	1,118	529	47.3%	132	11.8%	457	40.9%
29	1,101	565	51.3%	104	9.4%	432	39.2%
30	900	574	63.8%	79	8.8%	247	27.4%
31	1,889	1,196	63.3%	119	6.3%	574	30.4%
32	2,275	1,611	70.8%	101	4.4%	563	24.7%
33	3,689	2,755	74.7%	156	4.2%	778	21.1%
34	4,275	2,881	67.4%	113	2.6%	1,281	30.0%
35	4,876	3,552	72.8%	112	2.3%	1,212	24.9%
36	5,362	3,749	69.9%	106	2.0%	1,507	28.1%
37	5,971	4,357	73.0%	115	1.9%	1,499	25.1%
38	8,031	5,339	66.5%	118	1.5%	2,574	32.1%
39	9,982	6,125	61.4%	110	1.1%	3,747	37.5%
40	10,228	6,698	65.5%	146	1.4%	3,384	33.1%
41	9,530	6,141	64.4%	126	1.3%	3,263	34.2%
42	10,934	7,033	64.3%	102	0.9%	3,799	34.7%
43	11,021	6,893	62.5%	91	0.8%	4,037	36.6%
44	9,314	5,539	59.5%	72	0.8%	3,703	39.8%
45	8,058	4,609	57.2%	56	0.7%	3,393	42.1%
46	7,458	4,340	58.2%	45	0.6%	3,073	41.2%
47	6,349	3,536	55.7%	38	0.6%	2,775	43.7%
48	5,628	2,952	52.5%	30	0.5%	2,646	47.0%
49	5,080	2,758	54.3%	22	0.4%	2,300	45.3%
50	4,767	2,580	54.1%	22	0.5%	2,165	45.4%
51	4,909	2,772	56.5%	28	0.6%	2,109	43.0%

年	項目 件数 (件)	乗務員に起因するもの		車両故障に起因するもの		その他の原因に起因するもの (被害者の不注意、道路の不良)	
		件数	%	件数	%	件数	%
昭和52	4,805	2,776	57.8%	33	0.7%	1,996	41.5%
53	4,630	2,698	58.3%	33	0.7%	1,899	41.0%
54	4,941	2,806	56.8%	41	0.8%	2,094	42.4%
55	5,359	2,969	55.4%	40	0.7%	2,350	43.9%
56	5,535	2,983	53.9%	36	0.7%	2,516	45.5%
57	5,595	2,987	53.4%	31	0.6%	2,577	46.1%
58	5,324	2,788	52.4%	26	0.5%	2,510	47.1%
59	5,187	2,759	53.2%	40	0.8%	2,388	46.0%
60	4,872	2,565	52.6%	24	0.5%	2,283	46.9%
61	5,191	2,744	52.9%	32	0.6%	2,415	46.5%
62	4,860	2,635	54.2%	40	0.8%	2,185	45.0%
63	4,736	2,564	54.1%	34	0.7%	2,138	45.1%
平成元	4,668	2,403	51.5%	28	0.6%	2,237	47.9%
2	4,393	2,294	52.2%	21	0.5%	2,078	47.3%
3	4,555	2,407	52.8%	32	0.7%	2,116	46.5%
4	4,712	2,475	52.5%	22	0.5%	2,215	47.0%
5	4,576	2,433	53.2%	16	0.3%	2,127	46.5%
6	4,390	2,360	53.8%	36	0.8%	1,994	45.4%
7	4,441	2,452	55.2%	34	0.8%	1,955	44.0%
8	4,254	2,307	54.2%	40	0.9%	1,907	44.8%
9	4,087	2,306	56.4%	38	0.9%	1,743	42.6%
10	3,846	2,160	56.2%	43	1.1%	1,643	42.7%
11	3,847	2,165	56.3%	38	1.0%	1,644	42.7%
12	3,709	2,070	55.8%	61	1.6%	1,578	42.5%
13	3,337	1,801	54.0%	51	1.5%	1,485	44.5%
14	3,382	1,877	55.5%	79	2.3%	1,426	42.2%
15	3,719	2,283	61.4%	64	1.7%	1,372	36.9%
16	3,680	2,139	58.1%	193	5.2%	1,348	36.6%
17	5,689	2,310	40.6%	1,933	34.0%	1,446	25.4%

第 3 編 その他統計資料

第 1 部 自 動 車 等 の 交 通 事 故

第 2 部 業 態 別 飲 酒 運 転 に よ る 事 故 件 数

第 3 部 運 行 管 理 者

第 1 部 自動車等の交通事故

1. 交通事故及び自動車事故の推移

年	項目	全交通事故			自動車事故件数 (第1当事者)	自動車台数	1,000台当 たりの自 動車事故 件数	自動車事 故の全交 通事故件 数に対す る比率
		件数 (件)	死者数 (人)	傷者数 (人)				
	平成元	661,363	11,086	814,832	555,363	57,592,922	9.6	84.0%
	2	643,097	11,227	790,295	544,699	60,195,336	9.0	84.7%
	3	662,388	11,105	810,245	564,056	62,411,391	9.0	85.2%
	4	695,345	11,451	844,003	592,843	64,140,712	9.2	85.3%
	5	724,675	10,942	878,633	624,737	65,733,026	9.5	86.2%
	6	729,457	10,649	881,723	632,645	67,464,667	9.4	86.7%
	7	761,789	10,679	922,677	665,172	69,290,769	9.6	87.3%
	8	771,084	9,942	942,203	677,775	71,221,801	9.5	87.9%
	9	780,399	9,640	958,925	688,687	72,605,673	9.5	88.2%
	10	803,878	9,211	990,675	713,835	73,402,697	9.7	88.8%
	11	850,363	9,006	1,050,397	757,475	74,283,881	10.2	89.1%
	12	931,934	9,066	1,155,697	822,736	75,186,086	10.9	88.3%
	13	947,169	8,747	1,180,955	838,753	75,902,283	11.1	88.6%
	14	936,721	8,326	1,167,855	826,476	76,460,018	10.8	88.2%
	15	947,993	7,702	1,181,431	839,002	76,664,989	10.9	88.5%
	16	952,191	7,358	1,183,120	840,064	77,085,244	10.9	88.2%
	17	933,828	6,871	1,156,633	840,064	78,092,874	10.8	90.0%

2. 第1当事者別交通事故件数

当事者種別		区分	件数	構成率	対前年比		自動車等 登録台数	自動車等 1万台当 たり件数
					増減数	増減率		
自家用	乗用	バス	92	0.0	29	24.0	24,709	37.2
		マイクロ	755	0.1	13	1.8	101,362	74.5
		普通乗用	467,550	50.1	16,433	3.4	42,617,155	109.7
		軽乗用	145,332	15.6	6,025	4.3	14,201,714	102.3
		計	613,729	65.7	10,424	1.7	56,944,940	107.8
	貨物	政令大型	1,331	0.1	123	8.5	6,092,918	120.5
		大型貨物	1,250	0.1	39	3.0		
		トレーラ	373	0.0	14	3.9		
		普通貨物	70,486	7.5	2,867	3.9		
		軽貨物	68,290	7.3	2,318	3.3		
		計*	141,730	15.2	5,333	3.6	6,092,918	120.5
	計*	755,459	80.9	15,757	2.0	63,037,858	109	
	事業用	乗用	バス	3,283	0.4	110	3.5	85,208
マイクロ			550	0.1	1	0.2	20,454	268.9
普通乗用			27,794	3.0	690	2.5	272,523	1,019.90
計			31,627	3.4	799	2.6	378,185	836.3
貨物		政令大型	6,165	0.7	145	2.3	1,124,539	284.5
		大型貨物	4,176	0.4	165	4.1		
		トレーラ	2,158	0.2	150	6.5		
		普通貨物	19,489	2.1	283	1.4		
		軽貨物	4,794	0.5	11	0.2		
		計*	36,782	3.9	424	1.1	1,124,539	284.5
計*	68,409	7.3	375	0.6	1,502,724	423.3		
ミニカー		53	0.0	16	43.2			
特殊車	農耕作業用	193	0.0	7	3.5			
	大型	320	0.0	3	0.9	2,581,403	2.9	
	小型	223	0.0	37	14.2			
	計	736	0.1	41	5.3			
軽貨物自動車		73,084	7.8	2,329	3.1	9,666,330	75.6	
特種用途車						1,304,559		
白動車計		824,657	88.3	15,407	1.8	78,092,874	105.6	
二輪車	自	小型二輪	6,492	0.7	418	6.0	1,448,030	44.8
		軽二輪	7,154	0.8	50	0.7	1,921,816	37.2
		二種原付	6,234	0.7	87	1.4	1,353,732	46.1
		計	19,880	2.1	455	2.2	4,723,578	42.1
		原付(原付一種)	39,027	4.2	1,693	4.2	8,566,613	45.6
	計	58,907	6.3	2,148	3.5	13,290,191	44.3	
自動車等計		883,564	94.6	17,555	1.9	91,383,065	96.7	
自転車等	自転車		27,814	3.0	316	1.1		
	駆動補助機付自転車		149	0.0	44	41.9		
小計		27,963	3.0	272	1.0			
その他の車両		48	0.0	6	11.1			
歩行者		3,715	0.4	396	9.6			
当事者不明		18,538	2.0	134	0.7			
合計		933,828	100.0	18,363	1.9			

注1 特種用途車の事故件数は、当事者種別毎に乗用、貨物に振り分けて計上している。

2 軽自動車のうち貨物自動車の登録台数は自家用、事業用の区別ができないため、軽貨物自動車欄に計上した。ただし、交通事故件数は再掲である。

また、自家用、事業用及び貨物計欄の自動車等1万台当たりの件数は軽貨物自動車を除いた数値である。(*の欄)

3 自動車等登録台数は、国土交通省統計資料「自動車保有車両数月報(平成17年12月末現在)」による。ただし、原付二種、原付一種、小特及びミニカーは平成17年4月1日現在による。

また、ミニカーは原付車に分類した。

出典：(財)交通事故総合分析センター「交通統計(平成17年版)」

3. 第1当事者別死亡事故件数

当事者種別		区分	件数	構成率	対前年比		自動車等 登録台数	自動車等 1万台当 たり件数
					増減数	増減率		
自家用	乗用	バス	1	0.0	1	50.0	24,709	0.4
		マイクロ	5	0.1	7	58.3	101,362	0.5
		普通乗用	2,481	37.4	216	8.0	42,617,155	0.6
		軽乗用	832	12.6	44	5.6	14,201,714	0.6
		計	3,319	50.1	180	5.1	56,944,940	0.6
	貨物	政令大型	46	0.7	14	43.8	6,092,918	0.9
		大型貨物	16	0.2	10	38.5		
		トレーラ	3	0.0	1	50.0		
		普通貨物	487	7.4	53	9.8		
		軽貨物	738	11.1	69	8.6		
		計*	1,290	19.5	117	8.3		
		計*	4,609	69.6	297	6.1		
	事業用	乗用	バス	18	0.3	4	18.2	85,208
マイクロ			4	0.1	3	42.9	20,454	2
普通乗用			52	0.8	7	15.6	272,523	1.90
計			74	1.1	0	0.0	378,185	2
貨物		政令大型	223	3.4	9	4.2	1,124,539	5.2
		大型貨物	54	0.8	8	12.9		
		トレーラ	62	0.9	8	14.8		
		普通貨物	248	3.7	28	10.1		
		軽貨物	37	0.6	17	85.0		
		計*	624	9.4	2	0.3		
計*	698	10.5	2	0.3	1,502,724	4.4		
ミニカー				1	100.0			
特殊車	農耕作業用	23	0.3	1	4.5	2,581,403	0.1	
	大型	9	0.1	3	50.0			
	小型	2	0.0	3	60.0			
	計	34	0.5	1	3.0			
軽貨物自動車		775	11.7	52	6.3	9,666,330	0.8	
特種用途車						1,304,559		
自動車計		5,341	80.6	299	5.3	78,092,874	0.7	
二輪車	自二輪	小型二輪	190	2.9	52	21.5	1,448,030	1.3
		軽二輪	120	1.8	16	15.4	1,921,816	0.6
		二種原付	79	1.2	8	9.2	1,353,732	0.6
		計	389	5.9	44	10.2	4,723,578	0.8
	原付(原付一種)	380	5.7	50	11.6	8,566,613	0.4	
計	769	11.6	94	10.9	13,290,191	0.6		
自動車等計		6,110	92.2	393	6.0	91,383,065	0.7	
自転車等	自転車	243	3.7	11	4.3			
	駆動補助機付自転車	11	0.2	0	0.0			
小計		254	3.8	11	4.2			
その他の車両		1	0.0	2	67.0			
歩行者		221	3.3	31	12.3			
当事者不明		39	0.6	22	36.1			
合計		6,625	100.0	459	6.5			

注1 特種用途車の事故件数は、当事者種別毎に乗用、貨物に振り分けて計上している。

2 軽自動車のうち貨物自動車の登録台数は自家用、事業用の区別ができないため、軽貨物自動車欄に計上した。ただし、交通事故件数は再掲である。

また、自家用、事業用及び貨物計欄の自動車等1万台当たりの件数は軽貨物自動車を除いた数値である。(*の欄)

3 自動車等登録台数は、国土交通省統計資料「自動車保有車両数月報(平成17年12月末現在)」による。ただし、原付二種、原付一種、小特及びミニカーは平成17年4月1日現在による。また、ミニカーは原付車に分類した。

出典：(財)交通事故総合分析センター「交通統計(平成17年版)」

第2部 業態別飲酒運転による事故件数

1. バス運転者の飲酒運転による事故件数

平成18年3月末現在

		酒酔い	酒気帯び -0.25以上	酒気帯び -0.25未満	基準 以下	検知 不能	飲酒 なし	その他	合計
H8	死亡	0	0	0	0	0	25	0	25
	重傷	0	0	0	0	0	274	1	275
	軽傷	0	1	0	0	0	2,414	2	2,417
	全事故	0	1	0	0	0	2,713	3	2,717
H9	死亡	0	0	0	0	0	31	0	31
	重傷	0	0	0	0	0	285	0	285
	軽傷	0	1	0	1	0	2,404	2	2,408
	全事故	0	1	0	1	0	2,720	2	2,724
H10	死亡	0	0	0	0	0	27	0	27
	重傷	0	0	0	0	0	263	2	265
	軽傷	0	1	0	2	0	2,509	1	2,513
	全事故	0	1	0	2	0	2,799	3	2,805
H11	死亡	0	0	0	0	0	23	0	23
	重傷	0	0	0	0	0	278	1	279
	軽傷	1	0	0	0	0	2,580	3	2,584
	全事故	1	0	0	0	0	2,881	4	2,886
H12	死亡	0	0	0	0	0	20	0	20
	重傷	0	0	0	0	1	328	2	331
	軽傷	0	0	0	1	5	3,088	7	3,101
	全事故	0	0	0	1	6	3,436	9	3,452
H13	死亡	0	0	0	0	0	22	0	22
	重傷	0	0	0	0	0	346	0	346
	軽傷	0	1	0	0	10	3,282	5	3,298
	全事故	0	1	0	0	10	3,650	5	3,666
H14	死亡	0	0	1	0	0	18	0	19
	重傷	0	0	0	0	0	317	0	317
	軽傷	0	1	2	0	4	3,213	3	3,223
	全事故	0	1	3	0	4	3,548	3	3,559
H15	死亡	0	0	0	0	0	23	0	23
	重傷	0	1	1	0	0	328	1	331
	軽傷	1	0	0	0	5	3,397	1	3,404
	全事故	1	1	1	0	5	3,748	2	3,758
H16	死亡	0	0	0	0	0	29	0	29
	重傷	0	0	0	0	0	291	0	291
	軽傷	0	0	1	0	2	3,399	2	3,404
	全事故	0	0	1	0	2	3,719	2	3,724
H17	死亡	0	0	0	0	0	22	0	22
	重傷	0	0	0	0	0	347	2	349
	軽傷	0	0	3	1	4	3,454	0	3,462
	全事故	0	0	3	1	4	3,823	2	3,833

出典：（財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計（平成17年版）」

2. ハイタク運転者の飲酒運転による事故件数

平成18年3月末現在

		酒酔い	酒気帯び -0.25以上	酒気帯び -0.25未満	基準 以下	検知 不能	飲酒 なし	その他	合計
H8	死亡	0	0	0	0	0	44	0	44
	重傷	2	4	0	0	1	1,137	1	1,145
	軽傷	4	18	0	10	2	17,530	10	17,574
	全事故	6	22	0	10	3	18,711	11	18,763
H9	死亡	1	1	0	0	0	58	1	61
	重傷	0	0	0	1	1	1,110	0	1,112
	軽傷	2	8	0	10	3	18,571	9	18,603
	全事故	3	9	0	11	4	19,739	10	19,776
H10	死亡	0	0	0	0	1	54	1	56
	重傷	0	1	0	0	0	1,049	1	1,051
	軽傷	1	9	0	8	1	19,731	15	19,765
	全事故	1	10	0	8	2	20,834	17	20,872
H11	死亡	0	1	0	0	0	56	0	57
	重傷	0	3	0	1	0	1,079	1	1,084
	軽傷	4	11	0	15	6	21,850	15	21,901
	全事故	4	15	0	16	6	22,985	16	23,042
H12	死亡	0	0	0	0	0	43	0	43
	重傷	0	4	0	0	1	1,172	0	1,177
	軽傷	4	19	0	17	141	24,198	25	24,404
	全事故	4	23	0	17	142	25,413	25	25,624
H13	死亡	0	2	0	0	1	54	0	57
	重傷	0	0	0	1	0	1,170	0	1,171
	軽傷	0	6	0	23	186	24,594	15	24,824
	全事故	0	8	0	24	187	25,818	15	26,052
H14	死亡	0	0	0	0	0	55	0	55
	重傷	0	0	0	1	1	1,097	1	1,100
	軽傷	5	16	4	11	113	24,655	11	24,815
	全事故	5	16	4	12	114	25,807	12	25,970
H15	死亡	0	0	0	0	0	68	1	69
	重傷	0	3	0	1	0	1,217	0	1,221
	軽傷	3	12	8	10	119	25,837	6	25,995
	全事故	3	15	8	11	119	27,122	7	27,285
H16	死亡	0	0	0	0	0	45	0	45
	重傷	0	0	0	0	1	1,129	1	1,131
	軽傷	4	12	4	9	86	25,799	14	25,928
	全事故	4	12	4	9	87	26,973	15	27,104
H17	死亡	0	0	0	0	0	52	0	52
	重傷	0	0	0	0	0	1,124	2	1,126
	軽傷	2	9	8	9	59	26,516	13	26,616
	全事故	2	9	8	9	59	27,692	15	27,794

出典：（財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計（平成17年版）」

3.トラック運転者の飲酒運転による事故件数

平成18年3月末現在

		酒酔い	酒気帯び -0.25以上	酒気帯び -0.25未満	基準 以下	検知 不能	飲酒 なし	その他	合計
H8	死亡	1	5	0	4	2	728	6	746
	重傷	0	15	0	13	2	2,808	6	2,844
	軽傷	9	83	0	51	8	27,000	26	27,177
	全事故	10	103	0	68	12	30,536	38	30,767
H9	死亡	4	6	0	1	1	673	8	693
	重傷	1	10	0	6	1	2,807	6	2,831
	軽傷	12	67	0	74	6	27,775	22	27,956
	全事故	17	83	0	81	8	31,255	36	31,480
H10	死亡	2	5	0	1	0	691	7	706
	重傷	1	8	0	13	1	2,679	11	2,713
	軽傷	9	77	0	64	2	27,531	21	27,704
	全事故	12	90	0	78	3	30,901	39	31,123
H11	死亡	3	7	0	2	2	691	10	715
	重傷	1	10	0	10	1	2,801	9	2,832
	軽傷	3	70	0	48	7	29,468	21	29,617
	全事故	7	87	0	60	10	32,960	40	33,164
H12	死亡	3	8	0	7	0	730	11	759
	重傷	0	9	0	8	4	3,029	7	3,057
	軽傷	6	94	0	72	82	32,903	34	33,191
	全事故	9	111	0	87	86	36,662	52	37,007
H13	死亡	4	5	0	1	2	663	5	680
	重傷	2	9	0	11	3	2,876	10	2,911
	軽傷	7	80	0	86	120	33,483	43	33,819
	全事故	13	94	0	98	125	37,022	58	37,410
H14	死亡	3	9	2	3	1	647	6	671
	重傷	0	12	1	8	3	2,868	6	2,898
	軽傷	13	75	20	45	74	32,618	23	32,868
	全事故	16	96	23	56	78	36,133	35	36,437
H15	死亡	1	4	3	0	1	640	5	654
	重傷	0	10	9	5	4	2,692	6	2,726
	軽傷	7	63	18	35	65	33,695	15	33,898
	全事故	8	77	30	40	70	37,027	26	37,278
H16	死亡	0	11	0	3	2	609	1	626
	重傷	0	9	5	10	2	2,560	3	2,589
	軽傷	4	54	34	23	58	33,797	21	33,991
	全事故	4	74	39	36	62	36,966	25	37,206
H17	死亡	3	3	2	4	1	595	16	624
	重傷	1	9	4	1	2	2,447	3	2,467
	軽傷	3	67	28	32	37	33,508	16	33,691
	全事故	7	79	34	37	40	36,550	35	36,782

出典：（財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計（平成17年版）」

4. 全業態運転者の飲酒運転による事故件数

平成18年3月末現在

		酒酔い	酒気帯び -0.25以上	酒気帯び -0.25未満	基準 以下	検知 不能	飲酒なし	その他	合計
H8	死亡	1	5	0	4	2	797	6	815
	重傷	2	19	0	13	3	4,219	8	4,264
	軽傷	13	102	0	61	10	46,944	38	47,168
	全事故	16	126	0	78	15	51,960	52	52,247
H9	死亡	5	7	0	1	1	762	9	785
	重傷	1	10	0	7	2	4,202	6	4,228
	軽傷	14	76	0	85	9	48,750	33	48,967
	全事故	20	93	0	93	12	53,714	48	53,980
H10	死亡	2	5	0	1	1	772	8	789
	重傷	1	9	0	13	1	3,991	14	4,029
	軽傷	10	87	0	74	3	49,771	37	49,982
	全事故	13	101	0	88	5	54,534	59	54,800
H11	死亡	3	8	0	2	2	770	10	795
	重傷	1	13	0	11	1	4,158	11	4,195
	軽傷	8	81	0	63	13	53,898	39	54,102
	全事故	12	102	0	76	16	58,826	60	59,092
H12	死亡	3	8	0	7	0	793	11	822
	重傷	0	13	0	8	6	4,529	9	4,565
	軽傷	10	113	0	90	228	60,189	66	60,696
	全事故	13	134	0	105	234	65,511	86	66,083
H13	死亡	4	7	0	1	3	739	5	759
	重傷	2	9	0	12	3	4,392	10	4,428
	軽傷	7	87	0	109	316	61,359	63	61,941
	全事故	13	103	0	122	322	66,490	78	67,128
H14	死亡	3	9	3	3	1	720	6	745
	重傷	0	12	1	9	4	4,282	7	4,315
	軽傷	18	92	26	56	191	60,486	37	60,906
	全事故	21	113	30	68	196	65,488	50	65,966
H15	死亡	1	4	3	0	1	731	6	746
	重傷	0	14	10	6	4	4,237	7	4,278
	軽傷	11	75	26	45	189	62,929	22	63,297
	全事故	12	93	39	51	194	67,897	35	68,321
H16	死亡	0	11	0	3	2	683	1	700
	重傷	0	9	5	10	3	3,980	4	4,011
	軽傷	8	66	39	32	146	62,995	37	63,323
	全事故	8	86	44	45	151	67,658	42	68,034
H17	死亡	3	3	2	4	1	669	16	698
	重傷	1	9	4	1	2	3,918	7	3,942
	軽傷	5	76	39	42	100	63,478	29	63,769
	全事故	9	88	45	47	103	68,065	52	68,409

出典：（財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計（平成17年版）」

第3部 運行管理者

1. 運行管理者数及び運行管理者の研修受講者数

平成18年3月末現在

		バ ス		ハイ・タク		ト ラ ッ ク		合 計	
		運行管 理者数	研修受 講者数	運行管 理者数	研修受 講者数	運行管 理者数	研修受 講者数	運行管 理者数	研修受 講者数
北海道	札幌	384	445	604	570	2,876	2,541	3,864	3,556
	函館	65	63	76	116	508	387	649	566
	室蘭	96	38	86	52	784	145	966	235
	帯広	45	41	80	57	565	421	690	519
	釧路	53	52	80	75	555	380	688	507
	北見	45	39	46	37	457	269	548	345
	旭川	138	117	124	127	855	726	1,117	970
	計	826	795	1,096	1,034	6,600	4,869	8,522	6,698
東北	青森	178	215	212	245	1,316	1,119	1,706	1,579
	岩手	134	255	301	267	1,193	1,061	1,628	1,583
	宮城	312	366	452	477	2,424	1,821	3,188	2,664
	秋田	141	127	198	144	927	732	1,266	1,003
	山形	88	91	144	137	949	748	1,181	976
	福島	224	220	251	237	2,045	1,422	2,520	1,879
	計	1,077	1,274	1,558	1,507	8,854	6,903	11,489	9,684
北陸信越	新潟	269	205	473	325	1,994	1,856	2,736	2,386
	長野	388	262	361	327	1,635	1,233	2,384	1,822
	富山	90	114	151	127	1,291	892	1,532	1,133
	石川	135	156	142	148	1,630	849	1,907	1,153
	計	882	737	1,127	927	6,550	4,830	8,559	6,494
関東	東京	941	1,839	2,156	3,209	11,174	7,565	14,271	12,613
	神奈川	562	608	699	692	6,130	3,801	7,391	5,101
	埼玉	531	575	551	518	6,210	3,725	7,292	4,818
	群馬	133	188	183	161	2,021	1,402	2,337	1,751
	千葉	704	643	648	721	4,976	3,031	6,328	4,395
	茨城	410	514	356	310	3,535	2,542	4,301	3,366
	栃木	218	333	267	253	2,085	1,419	2,570	2,005
	山梨	140	170	154	139	841	612	1,135	921
	計	3,639	4,870	5,014	6,003	36,972	24,097	45,625	34,970
中部	愛知	322	531	657	519	7,265	4,006	8,244	5,056
	静岡	398	360	439	364	3,737	2,099	4,574	2,823
	岐阜	157	204	190	154	1,666	1,101	2,013	1,459
	三重	135	160	153	122	1,655	1,082	1,943	1,364
	福井	166	104	110	73	806	451	1,082	628
	計	1,178	1,359	1,549	1,232	15,129	8,739	17,856	11,330

		バ ス		ハイ・タク		ト ラ ッ ク		合 計	
		運行管 理者数	研修受 講者数	運行管 理者数	研修受 講者数	運行管 理者数	研修受 講者数	運行管 理者数	研修受 講者数
近 畿	大 阪	622	635	912	898	8,479	4,640	10,013	6,173
	京 都	275	236	398	341	1,736	1,120	2,409	1,697
	兵 庫	403	455	606	419	4,015	2,560	5,024	3,434
	滋 賀	109	86	79	134	1,156	554	1,344	774
	奈 良	104	131	136	72	954	636	1,194	839
	和 歌 山	125	93	137	115	978	510	1,240	718
	計	1,638	1,636	2,268	1,979	17,318	10,020	21,224	13,635
中 国	広 島	460	457	531	325	3,052	1,772	4,043	2,554
	鳥 取	77	109	83	58	635	342	795	509
	島 根	128	69	147	184	719	442	994	695
	岡 山	262	284	235	217	2,327	1,552	2,824	2,053
	山 口	141	178	194	182	1,345	976	1,680	1,336
	計	1,068	1,097	1,190	966	8,078	5,084	10,336	7,147
四 国	徳 島	128	113	129	109	615	408	872	630
	香 川	85	92	189	154	1,062	950	1,336	1,196
	愛 媛	106	109	212	163	1,368	981	1,686	1,253
	高 知	67	74	122	137	649	507	838	718
	計	386	388	652	563	3,694	2,846	4,732	3,797
九 州	福 岡	408	504	1,116	640	4,495	2,830	6,019	3,974
	佐 賀	66	55	145	137	979	705	1,190	897
	長 崎	160	167	291	276	1,060	718	1,511	1,161
	熊 本	154	189	335	271	1,427	986	1,916	1,446
	大 分	94	90	222	159	901	557	1,217	806
	宮 崎	151	138	197	181	991	643	1,339	962
	鹿 児 島	240	212	390	290	1,668	1,097	2,298	1,599
	計	1,273	1,355	2,696	1,954	11,521	7,536	15,490	10,845
沖 縄	179	184	281	354	608	593	1,068	1,131	
合 計	12,146	13,695	17,431	16,519	115,324	75,517	144,901	105,731	

運行管理者数の推移

